



令和8年3月吉日

生徒・保護者各位

学校法人仙台育英学園

理事長 加藤 雄彦

令和7年度 学校評価の結果について（ご報告）

早春の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本学園の学校評価委員会は、昨年10月に学校評価に関するアンケート調査を実施いたしました。その際、生徒並びに保護者の皆様にご協力をたまわり誠にありがとうございました。

そして、この結果及び分析・考察につきまして、生徒対象・保護者対象の代表的な質問項目に絞り、HPに掲載をいたしましたので、是非ご一読をお願いいたします。

今後ともこの学校評価（アンケート調査）を継続して実施いたします。また、今回の評価結果につきましては、全教職員で共有し、本学園の教育活動の改善に有効活用しながら、生徒並びに保護者の皆様のご意向に応えられるよう努力して参ります。

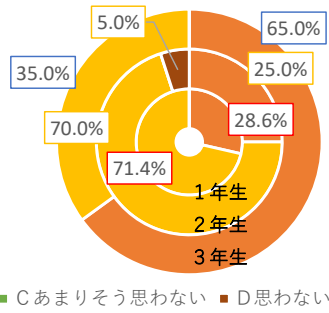
調査結果と考察

1 秀光中学校・秀光コース(生徒対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

(No.11)
先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。

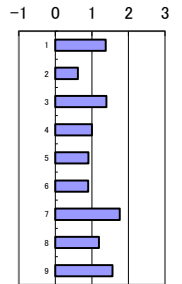


■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

【表A】

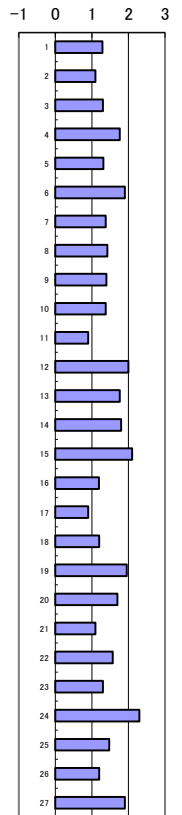
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	23.8%	71.4%	4.8%	0.0%	1.4
		2年生	19.0%	52.4%	19.0%	9.5%	0.6
		3年生	35.0%	55.0%	5.0%	5.0%	1.4
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	1.0
		2年生	23.8%	57.1%	9.5%	9.5%	0.9
		3年生	25.0%	50.0%	20.0%	5.0%	0.9
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	42.9%	52.4%	4.8%	0.0%	1.8
		2年生	33.3%	52.4%	4.8%	9.5%	1.2
		3年生	34.7%	56.5%	4.3%	0.0%	1.6



II 教育課程について

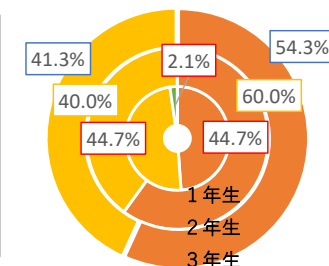
No.	設問	A	B	C	D	評価値	
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	28.6%	61.9%	4.8%	4.8%	1.3
		2年生	35.0%	45.0%	10.0%	10.0%	1.1
		3年生	35.0%	50.0%	10.0%	5.0%	1.3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	38.1%	61.9%	0.0%	0.0%	1.8
		2年生	26.3%	63.2%	10.5%	0.0%	1.3
		3年生	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%	1.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	38.1%	47.6%	9.5%	4.8%	1.4
		2年生	36.8%	52.6%	5.3%	5.3%	1.4
		3年生	40.0%	45.0%	10.0%	5.0%	1.4
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	38.1%	47.6%	9.5%	4.8%	1.4
		2年生	30.0%	45.0%	15.0%	10.0%	0.9
		3年生	55.0%	40.0%	5.0%	0.0%	2.0
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	52.4%	33.3%	14.3%	0.0%	1.8
		2年生	50.0%	45.0%	0.0%	5.0%	1.8
		3年生	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	2.1
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	28.6%	57.1%	9.5%	4.8%	1.2
		2年生	30.0%	45.0%	15.0%	10.0%	0.9
		3年生	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	1.2
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	2.0
		2年生	45.0%	45.0%	10.0%	0.0%	1.7
		3年生	30.0%	45.0%	25.0%	0.0%	1.1
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	1.6
		2年生	25.0%	70.0%	0.0%	5.0%	1.3
		3年生	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	2.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	28.6%	66.7%	4.8%	0.0%	1.5
		2年生	25.0%	65.0%	5.0%	5.0%	1.2
		3年生	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%	1.9



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

(No.16)
育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。



■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値=(A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3)÷(総度数)

【分析・考察】

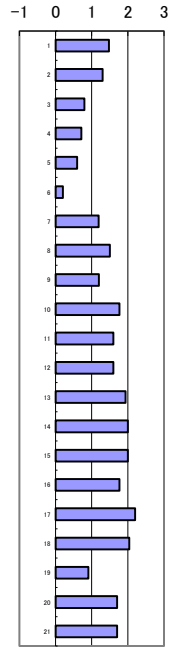
○内部進学を中心とする3Sへの進路選択に関する助言や、3Mに対する大学進学に向けた丁寧な個別受験指導への満足感が、3学年での成果として表れていると考えられる。(No.11)
○各種資格試験への対応に加え、MYPの集大成であるPPやDP取得に向けた学習に取り組む中で、教員が生徒の質問や相談に丁寧に応じている点も、生徒の高い満足度につながっている。(No.8,11)
○留学生を含むELDP生が大幅に増加し、IBDPの大学入試形態は一人ひとりで異なるため、進路指導は一層多様化している。教員が個々の状況に応じてきめ細かく指導を行ってきたことが、その成果として表れているといえる。

【分析・考察】

○秀光祭では、各学年が限られた準備時間の中で、努力を重ね、素晴らしい成果を上げたことが高く評価されている。IBの学習発表の場として好意的に受け止められている。(No.16)
○中学生については、秀光中学校からの内部進学者に加え、2年次から他コースよりトライアルを受講している生徒も含め、IBプログラムが国際理解教育の一環であるという認知が定着してきていると考えられる。(No.18)

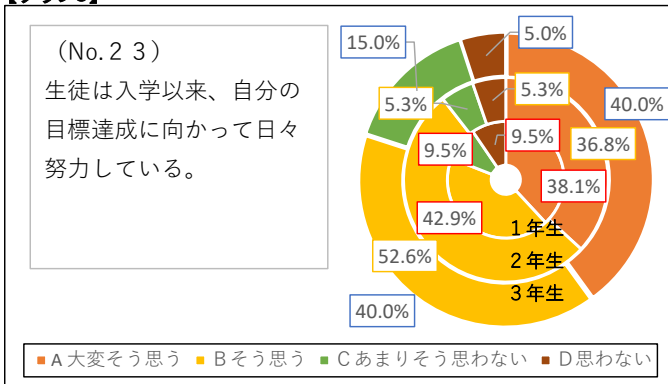
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値	
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	28.6%	66.7%	4.8%	0.0%	1.5
		2年生	35.0%	55.0%	0.0%	10.0%	1.3
		3年生	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	14.3%	61.9%	19.0%	4.8%	0.7
		2年生	20.0%	50.0%	20.0%	10.0%	0.6
		3年生	15.0%	40.0%	35.0%	10.0%	0.2
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	33.3%	47.6%	14.3%	4.8%	1.2
		2年生	40.0%	50.0%	5.0%	5.0%	1.5
		3年生	30.0%	55.0%	10.0%	5.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	46.8%	40.4%	4.3%	0.0%	1.8
		2年生	50.0%	40.0%	0.0%	10.0%	1.6
		3年生	45.0%	40.0%	15.0%	0.0%	1.6
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	55.3%	31.9%	4.3%	0.0%	1.9
		2年生	65.0%	25.0%	5.0%	5.0%	2.0
		3年生	56.5%	34.8%	4.3%	0.0%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	44.7%	44.7%	2.1%	0.0%	1.8
		2年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2
		3年生	54.3%	41.3%	0.0%	0.0%	2.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	23.8%	57.1%	9.5%	9.5%	0.9
		2年生	45.0%	50.0%	0.0%	5.0%	1.7
		3年生	40.0%	54.3%	4.3%	0.0%	1.7



C その他

【グラフC】



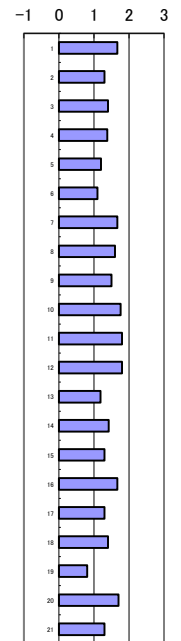
【分析・考察】

○高校2年次から開始されるIBDPでは、進路に応じた科目選択が求められるため、早い段階で目標を設定する必要がある。現状では3学年とも40%台にとどまっているが、今後はさらに割合を伸ばしていきたい。(No.23)

○Aでも述べたように、教員による個別で丁寧な指導に対し、特に3年生の満足度が高い。教員間のアットホームな雰囲気が生徒にも安心感を与えていると考えられる。今後も、より一層満足度を高められるよう努めていきたい。(No.24)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値	
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	38.1%	57.1%	4.8%	0.0%	1.7
		2年生	45.0%	35.0%	10.0%	10.0%	1.3
		3年生	45.0%	35.0%	15.0%	5.0%	1.4
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	28.6%	61.9%	9.5%	0.0%	1.4
		2年生	35.0%	50.0%	5.0%	10.0%	1.2
		3年生	30.0%	50.0%	15.0%	5.0%	1.1
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	42.9%	47.6%	9.5%	0.0%	1.7
		2年生	55.0%	30.0%	5.0%	10.0%	1.6
		3年生	40.0%	50.0%	5.0%	5.0%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	42.9%	52.4%	4.8%	0.0%	1.8
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
		3年生	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%	1.8
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	38.1%	42.9%	9.5%	9.5%	1.2
		2年生	36.8%	52.6%	5.3%	5.3%	1.4
		3年生	40.0%	40.0%	15.0%	5.0%	1.3
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	38.1%	57.1%	4.8%	0.0%	1.7
		2年生	30.0%	60.0%	5.0%	5.0%	1.3
		3年生	45.0%	35.0%	15.0%	5.0%	1.4
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	1年生	19.0%	52.4%	28.6%	0.0%	0.8
		2年生	50.0%	40.0%	5.0%	5.0%	1.7
		3年生	30.0%	55.0%	15.0%	0.0%	1.3



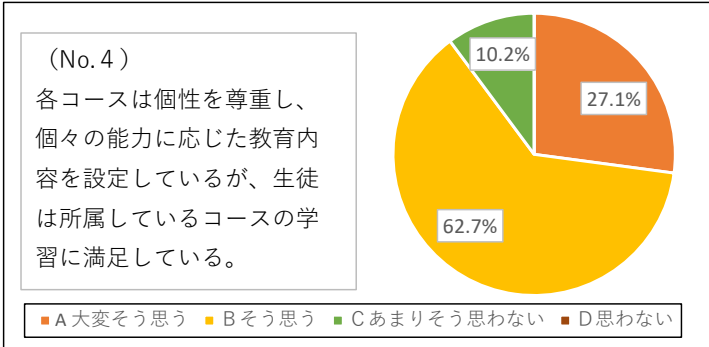
調査結果と考察

1 秀光中学校・秀光コース(保護者対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値=(A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【グラフA】



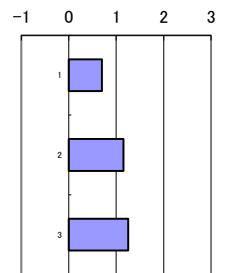
【分析・考察】

○IBプログラムの特性上、論文指導や成果物の作成指導、大学受験に向けた個別の支援が不可欠であり、そのため執務室入りの学習スペースは常に満員の状況が続いている。(No.4)
 ○漢検・数検に加えIB生は大学入試において求められる英検、TOEFL、TOEIC、TEAP、IELTSなどの英語外部試験を高1、2までに取得させる必要がある。現在は、ネイティブスピーカーの教員による指導を受けられる体制も整っている。(No.8)
 ○これらの取組が、保護者の満足感向上につながっていると考えられる。今後も、生徒の進路達成に向けてより一層の充実を図っていきたい。

【表A】

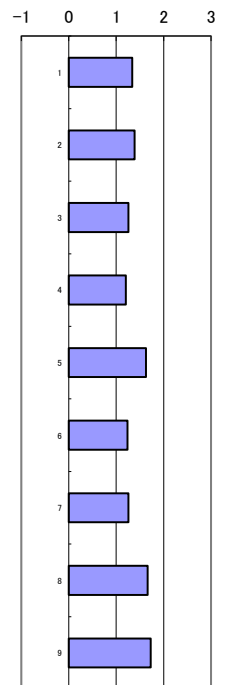
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行き、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	15.8%	33.0%	4.9%	1.9%	0.7
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	22.9%	64.4%	10.2%	2.5%	1.2
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	28.6%	58.0%	10.9%	2.5%	1.3



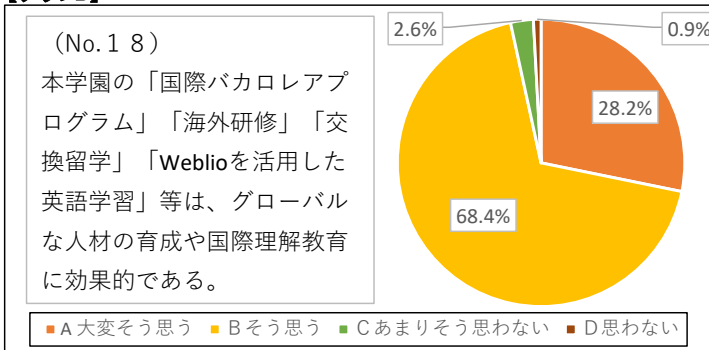
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	27.1%	62.7%	10.2%	0.0%	1.3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	30.5%	60.2%	7.6%	1.7%	1.4
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	23.1%	67.5%	8.5%	0.9%	1.3
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	25.2%	61.3%	11.8%	1.7%	1.2
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	34.7%	61.9%	3.4%	0.0%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	24.8%	62.4%	12.8%	0.0%	1.2
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	23.1%	67.5%	8.5%	0.9%	1.3
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	39.8%	54.2%	5.1%	0.8%	1.7
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	40.7%	55.9%	2.5%	0.8%	1.7



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



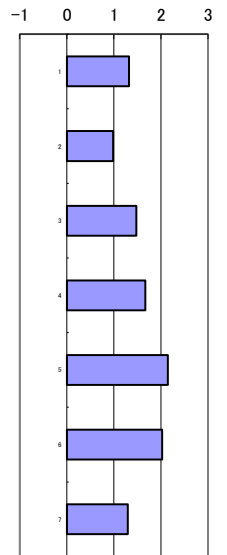
【分析・考察】

○秀光中学校・秀光コースでは、IBを実践し、MYPIに続いてDPのプログラムに沿った指導を行っている。IB教育によって育成されるATLスキル(思考、コミュニケーション、社会性、自己管理、リサーチ)は、グローバルな視点で社会を生き抜くために不可欠な能力である。
 ○2週間にわたる海外研修や、Weblioの活用は、生徒の国際理解を深めるうえで大いに役立っていると考えられる。
 ○今後もIBプログラムを継続して実践するとともに、研修の事前・事後学習の充実を図り、学びの定着をさらに高めていきたい。

【表B】

に

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	27.1%	63.6%	7.6%	1.7%	1.3
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	13.8%	72.4%	12.9%	0.9%	1.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	28.2%	68.4%	2.6%	0.9%	1.5
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	36.8%	59.8%	3.4%	0.0%	1.7
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	59.0%	40.2%	0.0%	0.9%	2.1
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	53.0%	45.3%	1.7%	0.0%	2.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	23.5%	68.7%	7.0%	0.9%	1.3



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

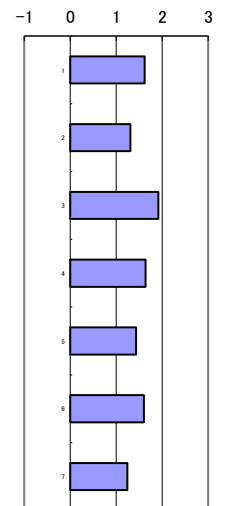
○秀光中学校においても、留学生や帰国生徒など多様な背景をもつ生徒が在籍しており、生徒、保護者、外部団体に対して、きめ細やかな対応が求められている。

○ClassiやSlackは、生徒と教員、保護者と教員をつなぐ有効なツールとして機能しており、信頼関係の構築に大きく寄与している。(No.21,22,24)

○教員が多様な生徒・保護者に対して丁寧に対応していることが、保護者からの高い評価につながっている。一方で、少数でIBプログラムを担当する教員のワークバランスについては、管理職として適切に配慮し、持続可能な体制を整えていく必要がある。(No.24)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	37.6%	56.4%	5.1%	0.9%	1.6
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	28.4%	61.2%	7.8%	2.6%	1.3
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	48.3%	50.0%	0.9%	0.9%	1.9
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	43.1%	47.4%	7.8%	1.7%	1.6
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	32.8%	56.9%	9.5%	0.9%	1.4
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	37.1%	56.9%	5.2%	0.9%	1.6
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	21.4%	70.9%	6.0%	1.7%	1.2



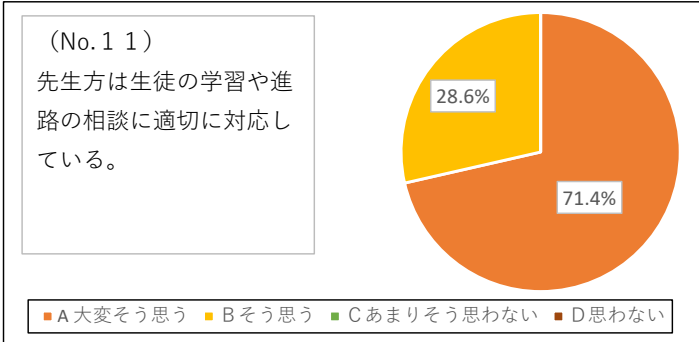
調査結果と考察

1 秀光中学校・秀光コース(教職員対象)

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



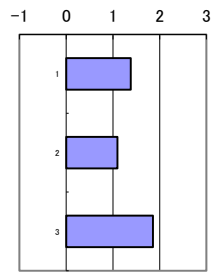
【分析・考察】

○生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導・支援に努めている点が高く評価されている。CPM等の研修を通じてIB教育の理念が浸透し、その理念を実現するための計画的かつ継続的な指導が行われていることの成果といえる。(No.11)
 ○特に、IBDPを履修している生徒は、課題に粘り強く取り組み、日常的に個別指導を受けることで、海外大学を含めた希望進路の実現につなげている。
 ○生徒・保護者・教員の間大きな認識の乖離が見られないことは、秀光中学校・秀光コースの組織としての強みである。また、今後も研鑽を重ね、指導ノウハウを組織として継承・発展させるシステムを、より強固に構築していく必要がある。

【表A】

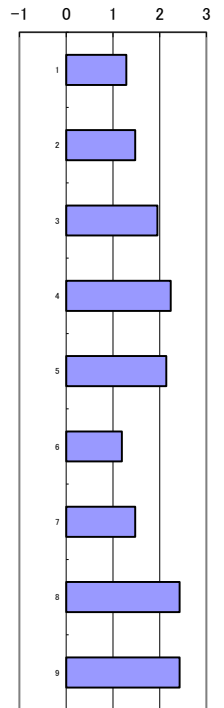
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	28.6%	61.9%	9.5%	0.0%	1.4
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	23.8%	57.1%	19.0%	0.0%	1.1
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	1.9



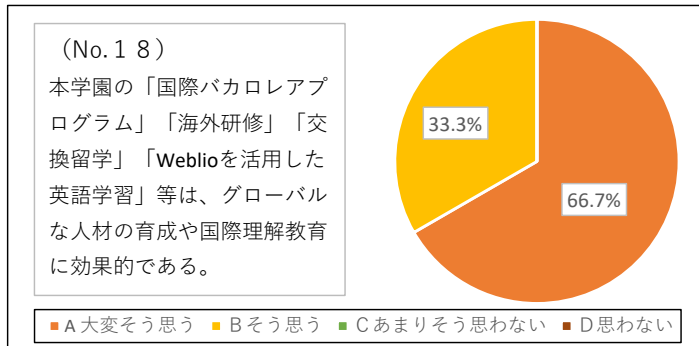
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%	1.3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	23.8%	76.2%	0.0%	0.0%	1.5
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	2.0
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	66.7%	28.6%	4.8%	0.0%	2.2
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	2.1
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	23.8%	61.9%	14.3%	0.0%	1.2
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	33.3%	57.1%	9.5%	0.0%	1.5
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	2.4
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	2.4



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

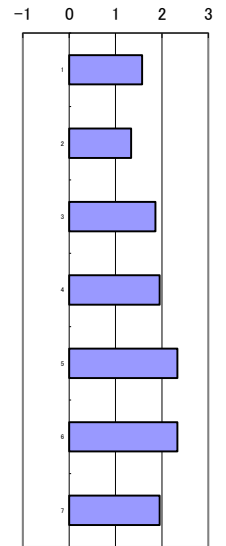


【分析・考察】

○MYPおよびDPの6年間にわたるIB教育プログラムへの取組を通し、多様性に富んだ環境の中で文化や価値観等の違いに触れ、より平和な世界の構築に貢献できる若者の育成に努めている。(No.18)
 ○中学3年生で実施されるカナダGLAでは、海外のIB校の学生との学びやコミュニケーション、各種アクティビティを通して、異文化体験や英語力の向上を図っている。また、現地での奉仕活動を含む実践的な学びを行うことで、持続可能な社会の構築に寄与するグローバルシティズンとして不可欠な知性・感性・国際性を身に付けている。
 ○CPMを有効に活用し、グローバル人材の育成および国際理解教育の推進について組織内で共通理解を深めている。今後も、より強固な組織的体制の構築に努めていく。

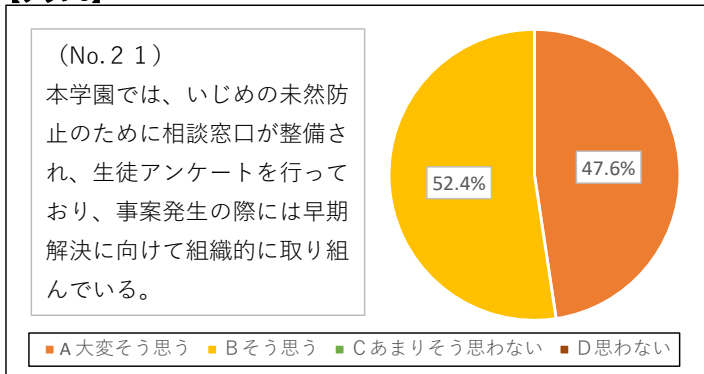
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	38.1%	52.4%	9.5%	0.0%	1.6
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	33.3%	47.6%	14.3%	0.0%	1.3
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	57.1%	33.3%	4.8%	4.8%	1.9
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	2.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	2.0



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

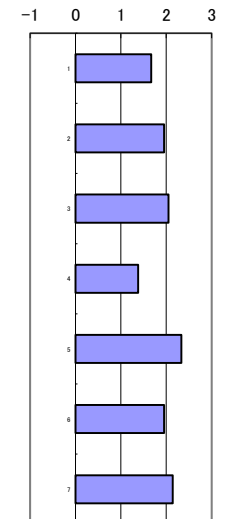
○いじめ問題については、定期的なアンケートに加え、教師による日常的な見取り、生徒や保護者からの相談など、さまざまな場面で早期発見に努めている。教員間で観察や気付きの情報を共有し、打合せや学年会等を通して迅速に対応できる体制を整えている。(No.21)

○各学年においても、保護者や関係機関と連携し、迅速かつ組織的な対応を図っている。また、授業担当者間で頻繁に観察を行い、複数の視点から生徒の言動や人間関係などについて情報共有することで、いじめの早期発見・早期解決・再発防止に努めている。

○中学校段階では、道徳科の授業時数の確保に取り組むとともに、生徒の心に響く授業を通して道徳的実践力をさらに高めていく必要がある。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	2.0
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	57.1%	38.1%	4.8%	0.0%	2.0
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	23.8%	71.4%	4.8%	0.0%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	2.0
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	2.1

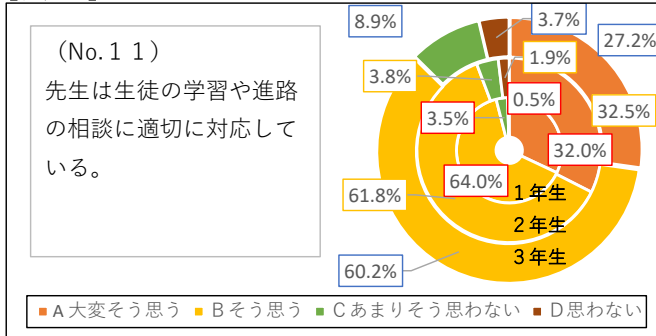


調査結果と考察

2 特別進学コース（生徒対象）

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

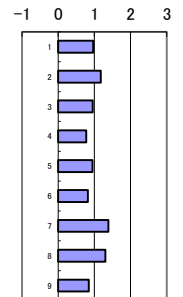
【グラフA】



【表A】

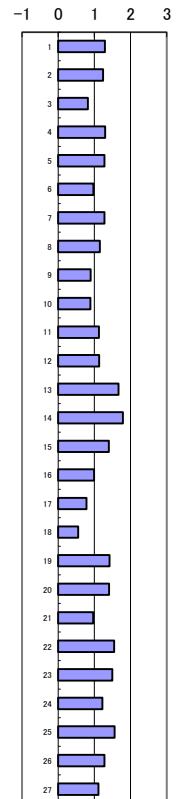
I 授業について

No.	設問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	23.1%	56.3%	16.6%	4.0%	1.0
		2年生	26.1%	61.1%	8.3%	4.5%	1.2
		3年生	20.3%	61.4%	13.8%	4.5%	1.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	19.1%	55.3%	21.1%	4.5%	0.8
		2年生	21.8%	59.0%	14.1%	5.1%	0.9
		3年生	18.3%	59.8%	16.7%	5.3%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	32.0%	57.5%	8.5%	2.0%	1.4
		2年生	29.3%	58.6%	10.2%	1.9%	1.3
		3年生	19.5%	60.6%	12.6%	7.3%	0.8



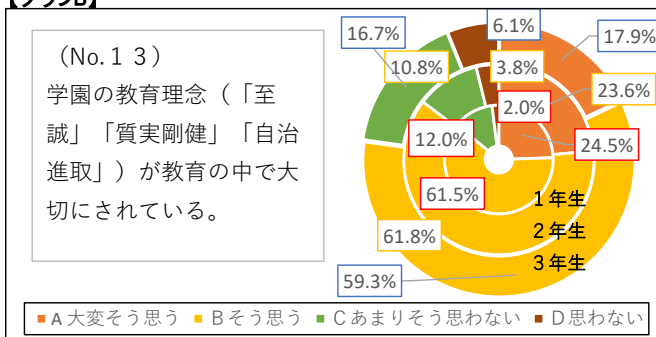
II 教育課程について

No.	設問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	27.0%	62.5%	8.5%	2.0%	1.3
		2年生	28.2%	59.6%	8.3%	3.8%	1.2
		3年生	17.9%	61.0%	15.4%	5.7%	0.8
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	29.0%	59.5%	9.0%	2.5%	1.3
		2年生	26.8%	62.4%	8.9%	1.9%	1.3
		3年生	21.5%	61.8%	10.6%	6.1%	1.0
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	26.5%	62.5%	9.5%	1.5%	1.3
		2年生	26.8%	58.6%	10.2%	4.5%	1.2
		3年生	18.7%	62.6%	13.4%	5.3%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	24.0%	52.5%	17.5%	6.0%	0.9
		2年生	27.4%	56.7%	10.8%	5.1%	1.1
		3年生	28.0%	54.9%	12.6%	4.5%	1.1
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	39.0%	56.0%	4.5%	0.5%	1.7
		2年生	45.2%	49.7%	4.5%	0.6%	1.8
		3年生	31.3%	59.8%	6.5%	2.4%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	23.0%	58.5%	13.5%	5.0%	1.0
		2年生	25.0%	51.3%	11.5%	12.2%	0.8
		3年生	18.3%	52.8%	17.1%	11.8%	0.6
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	27.5%	66.5%	5.5%	0.5%	1.4
		2年生	29.9%	62.4%	5.7%	1.9%	1.4
		3年生	23.3%	59.2%	10.2%	7.3%	1.0
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	32.0%	64.0%	3.5%	0.5%	1.6
		2年生	32.5%	61.8%	3.8%	1.9%	1.5
		3年生	27.2%	60.2%	8.9%	3.7%	1.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	32.5%	63.0%	4.5%	0.0%	1.6
		2年生	26.8%	63.7%	6.4%	3.2%	1.3
		3年生	22.0%	65.3%	9.0%	3.7%	1.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 2 + C度数 × 1 + D度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○「I 授業について」に関して、主に3年生の数値が改善している。これは3年生がオンライン授業の受け方に慣れたことが一因と考えられる。引き続きオンライン授業の効果的な活用方法を工夫していきたい。

○「II 教育課程について」は、ほとんどの項目で昨年度より数値が改善している。特にNo.6の項目は、全学年で数値が上昇している。この流れを絶やすことなく、生徒一人ひとりの能力や個性に応じた授業について、教材研究をより一層進めていきたい。

○No.11については、全学年とも高評価である。生徒の学習や進路相談について、教員が面談だけでなく、日常的に丁寧なコミュニケーションを心がけていることの証と考えられる。今後も引き続き、適切な対応を行ってきたい。

【分析・考察】

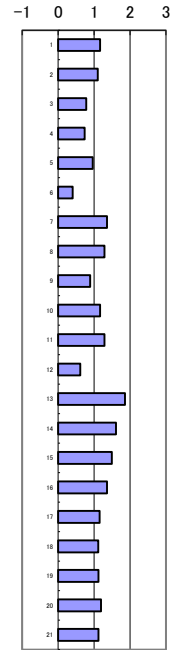
○No.13については、すべての学年で昨年度より数値が改善している。毎朝の放送による生活信条朗読や東和堂雪校舎研修により本学園の教育理念が確実に浸透しているものと考えられる。

○No.17については、すべての学年で昨年度より数値が上昇し、90%を超える生徒が肯定的に捉えている。痛ましい事故を二度と繰り返さないという本学園の強い意志が、生徒の心にしっかりと根づいていることがうかがわれる。

○No.19については、1、2年生で昨年度と比較し数値が低下した。新型コロナウイルス感染が一段落し、新しい生活様式が薄れつつあることが要因と考えられる。再び流行の際にはあらためて引き締めていきたい。

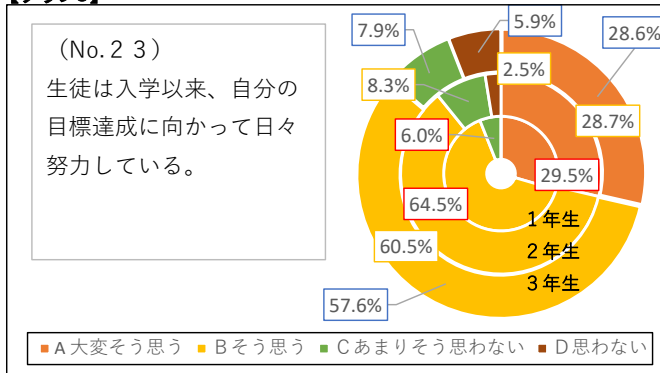
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	24.5%	61.5%	12.0%	2.0%	1.2
		2年生	23.6%	61.8%	10.8%	3.8%	1.1
		3年生	17.9%	59.3%	16.7%	6.1%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	18.0%	59.0%	15.0%	8.0%	0.7
		2年生	22.3%	58.6%	14.0%	5.1%	1.0
		3年生	13.1%	54.3%	22.4%	10.2%	0.4
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	29.5%	62.0%	5.5%	3.0%	1.4
		2年生	26.8%	65.0%	4.5%	3.8%	1.3
		3年生	19.1%	62.2%	13.0%	5.7%	0.9
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	30.0%	53.5%	11.5%	5.0%	1.2
		2年生	32.5%	55.4%	6.4%	5.7%	1.3
		3年生	19.9%	53.7%	13.8%	12.6%	0.6
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	49.5%	44.5%	5.5%	0.5%	1.9
		2年生	36.9%	58.6%	2.5%	1.9%	1.6
		3年生	35.4%	56.5%	5.7%	2.4%	1.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	34.5%	52.5%	9.5%	3.5%	1.4
		2年生	25.2%	60.6%	11.0%	3.2%	1.2
		3年生	25.2%	60.2%	9.8%	4.9%	1.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	25.0%	59.0%	13.0%	3.0%	1.1
		2年生	25.5%	61.8%	9.6%	3.2%	1.2
		3年生	24.0%	62.2%	9.8%	4.1%	1.1



C その他

【グラフC】

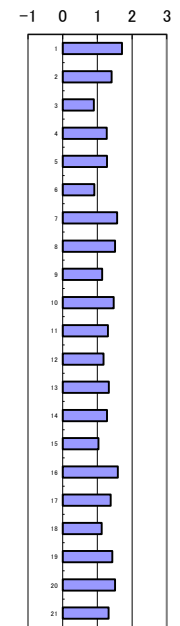


【分析・考察】

○No.20、21とも昨年と比較し、1、2年生で数値が上昇、特に1年生は本学園のハード面、ソフト面の両方で満足度が向上している。
○生徒の安全・安心な学校づくりには、「迅速かつ丁寧な」対応が不可欠であり、いじめ問題への対応については特に重要である。No.21を見ると、各学年で「C」と評価した生徒の割合が2桁となっているため、少しでも改善するよう、相談窓口の活用方法を工夫していきたい。
○No.23については、数値が高い水準で続いていることは、本コースにとって非常に嬉しい。学習活動を側面から支える教育環境のさらなる充実を促進していきたい。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	48.2%	42.2%	6.5%	3.0%	1.7
		2年生	34.0%	55.1%	8.3%	2.6%	1.4
		3年生	26.2%	52.0%	12.4%	9.4%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	28.5%	59.0%	10.0%	2.5%	1.3
		2年生	27.4%	63.1%	5.7%	3.8%	1.3
		3年生	20.2%	61.6%	11.8%	6.4%	0.9
22	本学園はClassyやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	38.5%	52.5%	8.0%	1.0%	1.6
		2年生	34.4%	59.2%	3.8%	2.5%	1.5
		3年生	32.0%	51.2%	8.4%	8.4%	1.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	29.5%	64.5%	6.0%	0.0%	1.5
		2年生	28.7%	60.5%	8.3%	2.5%	1.3
		3年生	28.6%	57.6%	7.9%	5.9%	1.2
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	28.0%	62.5%	7.5%	2.0%	1.3
		2年生	24.2%	67.5%	6.4%	1.9%	1.3
		3年生	23.6%	60.1%	10.3%	5.9%	1.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	35.0%	60.0%	4.5%	0.5%	1.6
		2年生	29.3%	63.1%	5.1%	2.5%	1.4
		3年生	27.6%	57.1%	9.4%	5.9%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	1年生	32.5%	57.5%	9.0%	1.0%	1.4
		2年生	33.1%	60.5%	5.1%	1.3%	1.5
		3年生	30.5%	60.1%	4.4%	4.9%	1.3

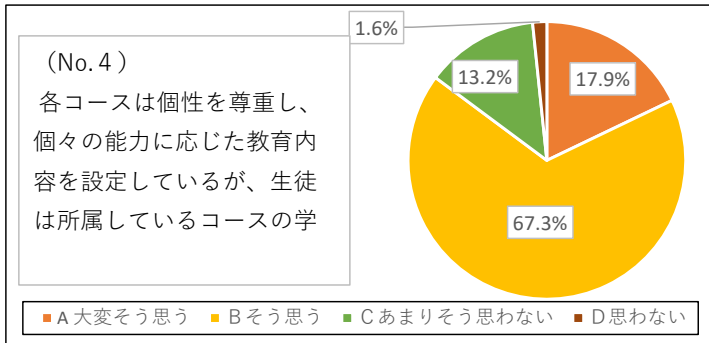


調査結果と考察

2 特別進学コース(保護者対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

(グラフA)



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

(分析・考察)

○No.4、7、10、11については、昨年度と比較して好意的な評価が増加している。No.4に関しては生徒がコースの学習に満足している様子を保護者の立場からも評価していただいた結果であると考えられる。一方、No.7については依然として評価が低いため、進路講演会や在卒懇などの取組について保護者への周知・認知度を一層高めていく必要がある。
○No.10、11については、計画的に実施・配置された試験や模試結果のフィードバックを各家庭でも活用していただくとともに、進路相談を適切にご利用いただいていることが、評価の向上につながっているものと考えられる。今後も、進路情報の提供や面談の活用を通して、家庭との情報共有をより一層密に行っていきたい。
○一方で、No.12については、昨年度と同程度の評価にとどまっている。今後は、三者面談や二者面談それぞれの趣旨を踏まえ、よりきめ細かな対応を心がけ、面談の充実を図っていきたい。

(表A)

I 授業について

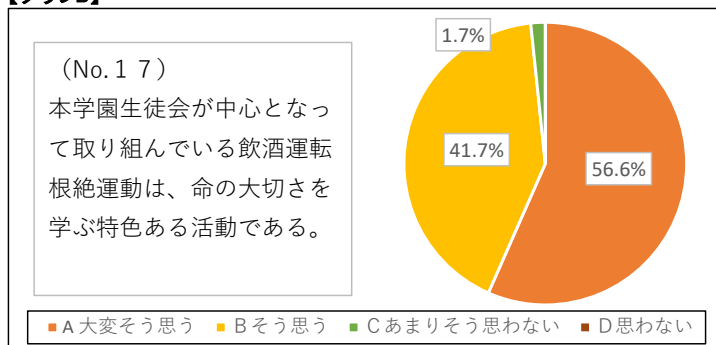
No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	15.6%	72.9%	10.6%	0.9%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	11.1%	71.5%	16.3%	1.2%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	15.5%	71.8%	12.0%	0.7%	1.0

II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	17.9%	67.3%	13.2%	1.6%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	18.1%	67.5%	13.2%	1.2%	1.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	11.5%	70.4%	16.2%	1.9%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	11.6%	58.5%	26.9%	3.1%	0.6
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	24.0%	67.1%	8.0%	0.9%	1.3
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	22.6%	62.6%	12.5%	2.4%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	18.8%	68.0%	11.8%	1.4%	1.1
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	22.6%	62.4%	13.2%	1.9%	1.1
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	19.3%	69.9%	9.6%	1.2%	1.1

B 心豊かな人間性の育成に関すること

(グラフB)

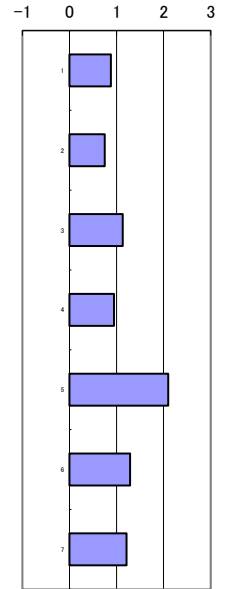


(分析・考察)

○昨年度と比較して、No.13、14では数値が上昇している。生徒を通して、本校の取組について保護者にも一定の理解を得られているものと考えられる。ただし、No.14のゼロディフェクト(学校生活正常化運動)については、運動の趣旨や意義も含め、今後さらに丁寧な周知を図っていく必要があると感じている。
○No.17については、「A」「B」評価を合わせると98.3%に達しており、毎年実施している追悼行事について、生徒を通して保護者にも十分に認識していただき、その重要性を理解していただいている結果であると考えられる。
○No.19については、昨年度と比較して数値が低下している。これは、新型コロナウイルス感染が一段落し、新しい生活様式への意識が次第に薄れてきていることが一因であると考えられる。今後、再び感染が拡大する状況が生じた際には、あらためて注意喚起を行い、取組を徹底していきたい。

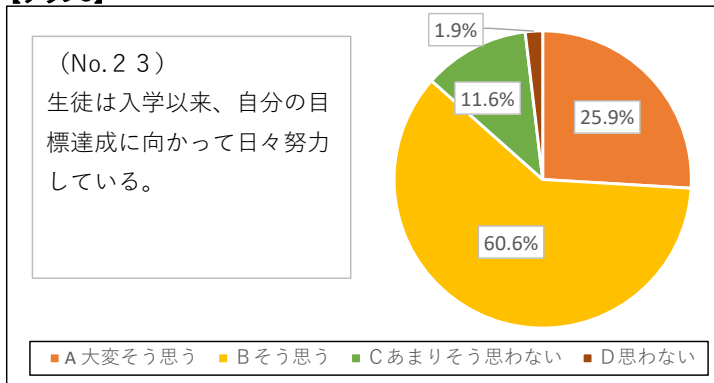
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。					
		12.8%	69.7%	16.3%	1.2%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。					
		8.7%	71.7%	17.9%	1.7%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。					
		18.9%	70.4%	9.0%	1.7%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。					
		16.1%	66.7%	15.6%	1.7%	0.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。					
		56.6%	41.7%	1.7%	0.0%	2.1
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。					
		22.6%	69.3%	7.8%	0.2%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。					
		19.8%	71.9%	7.3%	0.9%	1.2



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

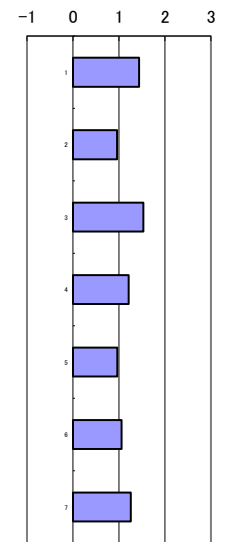
○4つの項目で数値が上昇しており、特にNo.20、24ではそれぞれ0.2ポイントの増加が見られた。施設・設備等のハード面の充実に加え、教員が情報を共有しながら、きめ細かな指導を行っている点についても高く評価していただいた結果であると考えられる。また、No.22ではICTを活用した教育活動の推進が高い評価を得ており、本学園の強みでもあるこの分野について、今後もさらなる充実に努めていきたい。

○No.23については、保護者の立場から好意的に評価している割合が86.5%であった。これは高い水準であるものの、生徒自身の割合と比較するとやや低い結果となっている。

○No.26については、昨年度と比較して0.1ポイント低下した。これは、感染状況が落ち着いてきたことにより、危機意識がやや薄れてきていることが要因であると考えられる。今後の再流行に備え、引き続き気を引き締めて対応していきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。					
		33.0%	57.1%	8.7%	1.2%	1.4
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。					
		11.3%	76.8%	10.2%	1.7%	1.0
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。					
		30.7%	65.6%	3.5%	0.2%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。					
		25.9%	60.6%	11.6%	1.9%	1.2
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。					
		16.8%	67.8%	12.3%	3.1%	1.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。					
		16.3%	72.3%	9.2%	2.1%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。					
		21.5%	70.8%	7.1%	0.7%	1.3

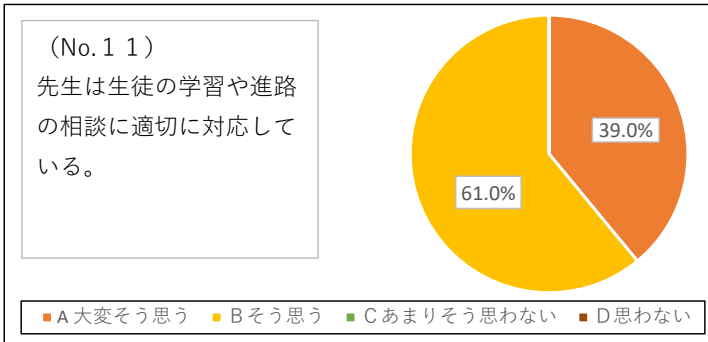


調査結果と考察

2 特別進学コース(教職員対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
評価平均値=(A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

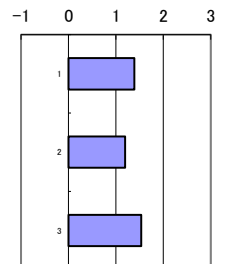
【分析・考察】

○No.5、7を除くすべての項目で数値が低下したものの、No.2以外の項目はいずれも90%を超える評価を維持しており、全体としては比較的高い評価水準の中での変動であると考えられる。ただし、No.7の進路関係のガイダンスについては保護者の評価と大きく乖離している。
○No.11については、昨年度は生徒と教員の評価の乖離が認められたが、今年度は全職員が肯定的に評価しているうえ、生徒側の評価も特に1、2年生で大きく改善した。その結果、両者の評価の差は縮まりつつある。
○No.12については、その機会が減少しているものの、教授法や学習支援の方法の在り方については、今後も継続的に検討・改善していく必要がある。

【表A】

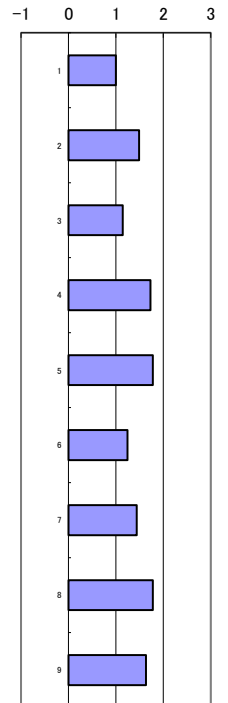
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	26.8%	65.9%	7.3%	0.0%	1.4
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	22.0%	65.9%	12.2%	0.0%	1.2
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	29.3%	68.3%	2.4%	0.0%	1.5



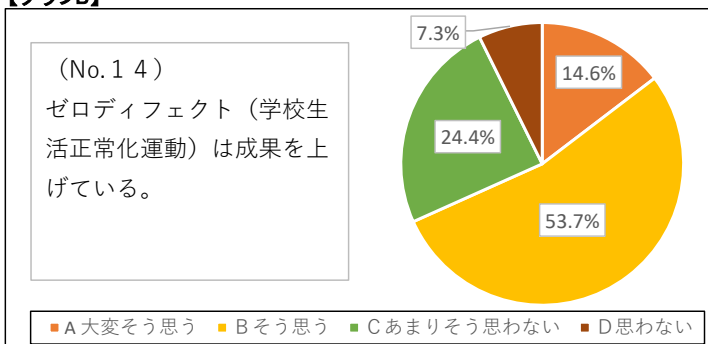
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	9.8%	80.5%	9.8%	0.0%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	26.8%	70.7%	2.4%	0.0%	1.5
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	12.2%	82.9%	4.9%	0.0%	1.1
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	41.5%	53.7%	4.9%	0.0%	1.7
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	51.2%	39.0%	7.3%	2.4%	1.8
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	17.1%	78.0%	4.9%	0.0%	1.2
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	24.4%	73.2%	2.4%	0.0%	1.4
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	39.0%	61.0%	0.0%	0.0%	1.8
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	36.6%	58.5%	4.9%	0.0%	1.6



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

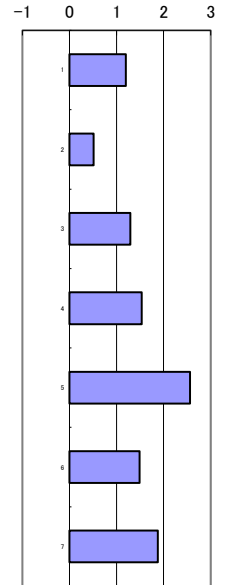


【分析・考察】

○No.14については、全項目の中で最も低い評価となっており、加えて昨年度から大きく数値を下げている状況にある。ただし、生徒・保護者はいずれも昨年度より改善していることから、教職員が自らの教育活動をより厳しく捉えて評価している結果とも考えられる。本項目は、落ち着いた学校生活を継続する上で極めて重要であるため、今後も取組の改善状況を丁寧に見極めていきたい。
○No.15、16については、昨年度と比較して数値はやや低下してはいるものの、引き続き高い評価を得ている。
○No.17については、昨年度よりさらに数値が改善しており、生徒・保護者の双方から高評価を受けている。

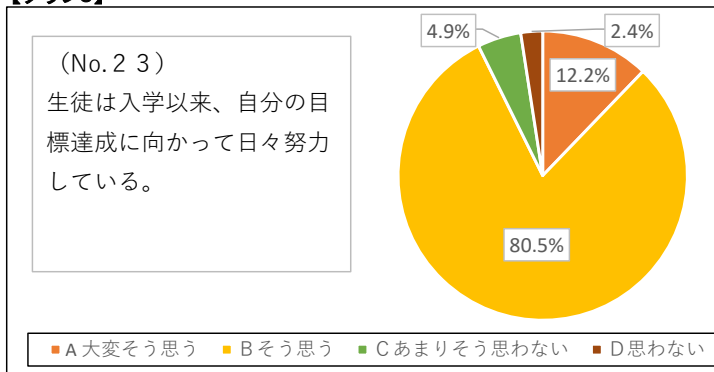
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。					
		22.0%	65.9%	12.2%	0.0%	1.2
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。					
		14.6%	53.7%	24.4%	7.3%	0.5
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。					
		24.4%	68.3%	4.9%	2.4%	1.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。					
		29.3%	68.3%	2.4%	0.0%	1.5
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。					
		78.0%	22.0%	0.0%	0.0%	2.6
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。					
		36.6%	56.1%	2.4%	4.9%	1.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。					
		48.8%	46.3%	4.9%	0.0%	1.9



C その他

【グラフC】



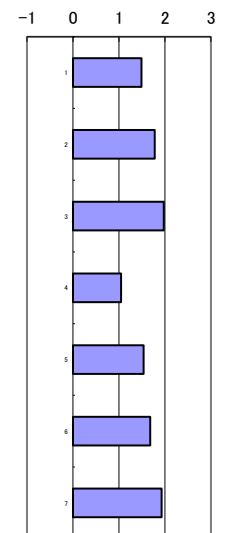
【分析・考察】

○5つの項目において、肯定的評価が95%を超えており、全体として概ね高い評価を得ている。一方で、No.21、25については、保護者の肯定的評価が80%台にとどまっていることから、学校側からの情報発信の在り方について、さらなる工夫が必要である。

○No.23については、昨年度と同様に、他の項目と比較して厳しい評価となっている。特に「A」の割合は10%台前半にとどまっている。ただし、生徒・保護者ともに昨年度より評価の改善が見られる。今後は、生徒が学校生活に意欲的に取り組んでいる様子を教員が的確に捉えるとともに、生徒一人ひとりに対して小さな目標を設定し、助言を行っていききたい。また、学年職員集団を基盤として、生徒の変化をより一層把握できる体制づくりを進めていきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。					
		31.7%	61.0%	7.3%	0.0%	1.5
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。					
		41.5%	56.1%	2.4%	0.0%	1.8
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。					
		53.7%	41.5%	4.9%	0.0%	2.0
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。					
		12.2%	80.5%	4.9%	2.4%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。					
		31.7%	63.4%	4.9%	0.0%	1.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。					
		34.1%	65.9%	0.0%	0.0%	1.7
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。					
		48.8%	48.8%	2.4%	0.0%	1.9

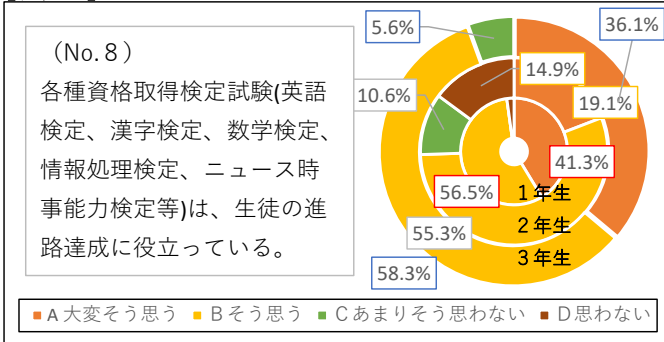


調査結果と考察

3 外国語コース(生徒対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

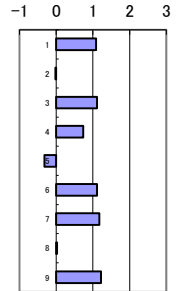
【グラフA】



【表A】

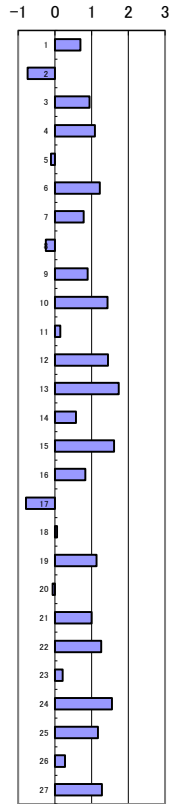
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	26.1%	56.5%	13.0%	4.3%	1.1
		2年生	10.6%	48.9%	19.1%	21.3%	0.0
		3年生	16.7%	72.2%	11.1%	0.0%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	19.6%	54.3%	19.6%	6.5%	0.7
		2年生	12.8%	29.8%	36.2%	21.3%	-0.3
		3年生	19.4%	69.4%	8.3%	2.8%	1.1
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	32.6%	50.0%	10.9%	6.5%	1.2
		2年生	12.8%	46.8%	19.1%	21.3%	0.0
		3年生	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	1.2



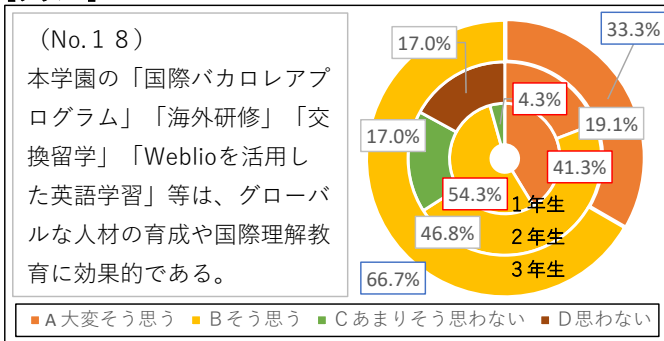
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	21.7%	54.3%	10.9%	13.0%	0.7
		2年生	10.6%	25.5%	29.8%	34.0%	-0.7
		3年生	13.9%	69.4%	16.7%	0.0%	0.9
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	23.9%	60.9%	10.9%	4.3%	1.1
		2年生	10.6%	44.7%	23.4%	21.3%	-0.1
		3年生	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	1.2
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	19.6%	60.9%	8.7%	10.9%	0.8
		2年生	14.6%	35.4%	22.9%	27.1%	-0.3
		3年生	16.7%	66.7%	11.1%	5.6%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	34.8%	54.3%	8.7%	2.2%	1.4
		2年生	21.3%	34.0%	25.5%	19.1%	0.1
		3年生	30.6%	61.1%	8.3%	0.0%	1.4
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	41.3%	56.5%	0.0%	2.2%	1.7
		2年生	19.1%	55.3%	10.6%	14.9%	0.6
		3年生	36.1%	58.3%	5.6%	0.0%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	21.7%	56.5%	13.0%	8.7%	0.8
		2年生	8.5%	27.7%	29.8%	34.0%	-0.8
		3年生	16.7%	36.1%	30.6%	16.7%	0.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	21.7%	67.4%	6.5%	4.3%	1.1
		2年生	17.0%	36.2%	23.4%	23.4%	-0.1
		3年生	19.4%	61.1%	19.4%	0.0%	1.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	28.3%	58.7%	10.9%	2.2%	1.3
		2年生	12.5%	52.1%	18.8%	16.7%	0.2
		3年生	33.3%	61.1%	5.6%	0.0%	1.6
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	23.9%	67.4%	2.2%	6.5%	1.2
		2年生	14.9%	51.1%	17.0%	17.0%	0.3
		3年生	19.4%	75.0%	5.6%	0.0%	1.3



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値=(A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【分析・考察】

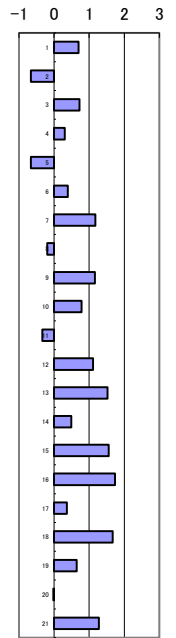
○進路達成と語学検定資格取得との関連性は、生徒にも浸透しているといえる。今後も、1年次から、国内外の大学進学やキャリア形成における語学検定資格・スコア取得の重要性を継続して周知・徹底する必要がある。(No.8)
○国際交流、海外研修、留学など、コースの特色を活かした多様なイベントを通じて、生徒のモチベーションや学習意欲を喚起し、能力・スキルの向上につなげることで、学力の伸長および進路選択の幅の拡大・向上を図りたい。
○ケンブリッジ国際教育、多言語教育、国際理解教育といった特色ある教育内容や学習機会の充実を図り、生徒一人ひとりの資質・学力の向上と満足度の向上を両立させたい。

【分析・考察】

○グローバル人材育成および国際理解教育に関する「海外研修」や「交換留学」などの各種取組みは、コースの特色と方向性がよく一致している。今後も、コースならではの教育活動や学習機会のさらなる充実を図り、参加生徒の増加につなげたい。(No. 18)
○「ゼロディフェクト」への取組をはじめ、日々の学校生活におけるさまざまな活動が、個々の資質向上や社会性の育成につながるよう引き続き丁寧な指導を行いたい。また、課題解決に向けて生徒が主体的に取り組める活動の充実を目指したい。
○海外大学進学を含む生徒の多様な進路志望に資する海外交流や研修、各種イベントについて、生徒主体で企画・運営できる体制づくりに取り組みたい。

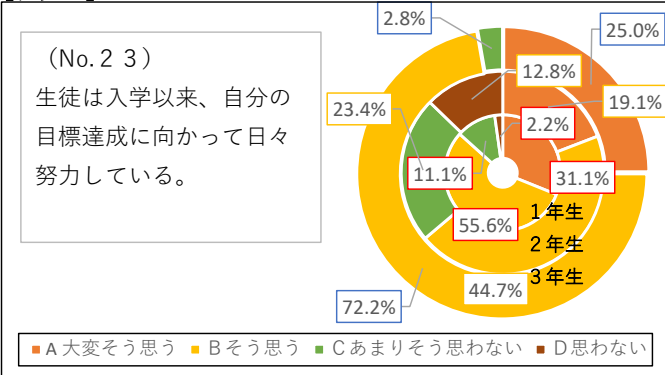
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	19.6%	54.3%	17.4%	8.7%	0.7
		2年生	8.5%	31.9%	27.7%	31.9%	-0.7
		3年生	8.3%	72.2%	16.7%	2.8%	0.7
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	13.0%	54.3%	17.4%	15.2%	0.3
		2年生	8.5%	34.0%	23.4%	34.0%	-0.7
		3年生	11.1%	55.6%	25.0%	8.3%	0.4
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	23.9%	63.0%	10.9%	2.2%	1.2
		2年生	12.8%	42.6%	17.0%	27.7%	-0.2
		3年生	19.4%	69.4%	11.1%	0.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	26.1%	47.8%	15.2%	10.9%	0.8
		2年生	12.5%	33.3%	29.2%	25.0%	-0.3
		3年生	27.8%	55.6%	11.1%	5.6%	1.1
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	32.6%	60.9%	6.5%	0.0%	1.5
		2年生	23.4%	44.7%	14.9%	17.0%	0.5
		3年生	27.8%	72.2%	0.0%	0.0%	1.6
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	41.3%	54.3%	4.3%	0.0%	1.7
		2年生	19.1%	46.8%	17.0%	17.0%	0.4
		3年生	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	22.2%	48.9%	17.8%	11.1%	0.6
		2年生	14.9%	44.7%	14.9%	25.5%	0.0
		3年生	16.7%	80.6%	2.8%	0.0%	1.3



C その他

【グラフC】

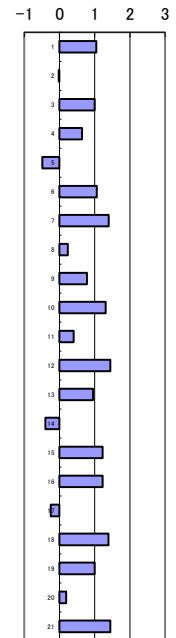


【分析・考察】

○目標達成に向けて日々努力している点について、生徒・保護者・教員のいずれも肯定的に評価している。これは、各生徒が進路達成を意識し、日々の学校生活に主体的に取り組んでいる成果であるといえる。(No.23)
○学校の施設整備については、ハード・ソフトの両面において肯定的な評価が得られている。緊急連絡システム、Classi、Slackをはじめとする整備されたICT環境の活用も高く評価されている。
○整備されたICT環境を適切に活用しながら、生徒と教員とのより良好なコミュニケーション関係の構築を一層推進していきたい。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	31.1%	48.9%	11.1%	8.9%	1.0
		2年生	19.1%	34.0%	23.4%	23.4%	0.0
		3年生	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	20.0%	53.3%	15.6%	11.1%	0.6
		2年生	8.5%	36.2%	27.7%	27.7%	-0.5
		3年生	20.0%	65.7%	11.4%	2.9%	1.1
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	35.6%	53.3%	6.7%	4.4%	1.4
		2年生	21.3%	38.3%	21.3%	19.1%	0.2
		3年生	11.1%	69.4%	16.7%	2.8%	0.8
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	31.1%	55.6%	11.1%	2.2%	1.3
		2年生	19.1%	44.7%	23.4%	12.8%	0.4
		3年生	25.0%	72.2%	2.8%	0.0%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	18.2%	68.2%	6.8%	6.8%	1.0
		2年生	8.5%	40.4%	23.4%	27.7%	-0.4
		3年生	25.0%	63.9%	8.3%	2.8%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	29.5%	54.5%	13.6%	2.3%	1.2
		2年生	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	-0.3
		3年生	25.0%	69.4%	5.6%	0.0%	1.4
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	1年生	24.4%	60.0%	6.7%	8.9%	1.0
		2年生	17.0%	42.6%	23.4%	17.0%	0.2
		3年生	27.8%	66.7%	5.6%	0.0%	1.4

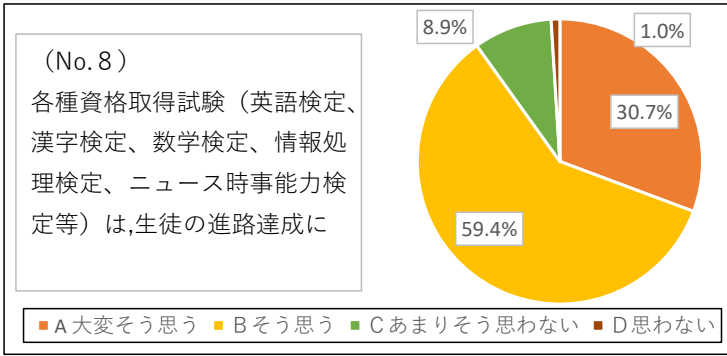


調査結果と考察

3 外国語コース(保護者対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

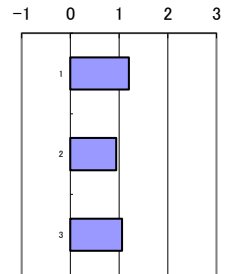
【分析・考察】

○特に外国語検定資格取得の取組とその成果は、進路達成に非常に有効であることが理解され、評価されている。今後も、生徒・保護者・教員の間で共通認識の形成を図り、さらなる充実を目指していきたい。(No.8)
○海外研修や留学の実施が、コロナ以前と同様に再開された。今後も、ケンブリッジ国際教育、多言語教育、国際理解教育をはじめ、スピーチコンテストや交流イベントなど、本コースの特色を活かした多様な教育活動の充実を図りたい。また、適切な情報提供を通して、生徒のグローバルなキャリア意識と意欲の向上につながる計画の検討・実施を進めていきたい。

【表A】

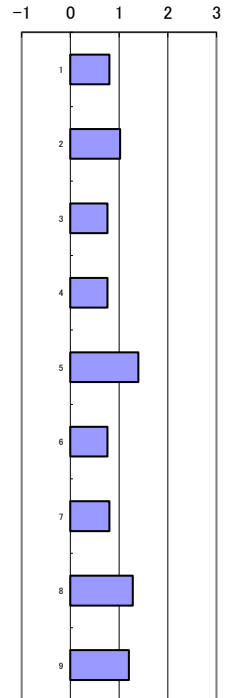
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	21.0%	71.0%	5.0%	3.0%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	15.2%	68.7%	14.1%	2.0%	0.9
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	23.0%	59.0%	16.0%	2.0%	1.1



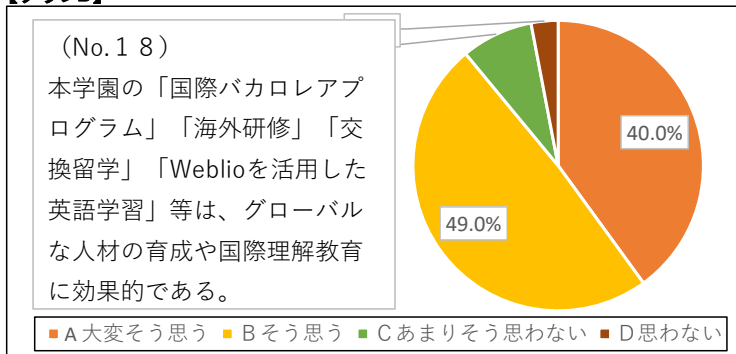
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	17.8%	60.4%	15.8%	5.9%	0.8
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	15.0%	71.0%	14.0%	0.0%	1.0
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	10.9%	69.3%	16.8%	3.0%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	16.0%	61.0%	18.0%	5.0%	0.8
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	30.7%	59.4%	8.9%	1.0%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	15.0%	61.0%	21.0%	3.0%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	15.0%	63.0%	19.0%	3.0%	0.8
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	29.3%	58.6%	9.1%	3.0%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	24.0%	65.0%	8.0%	3.0%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

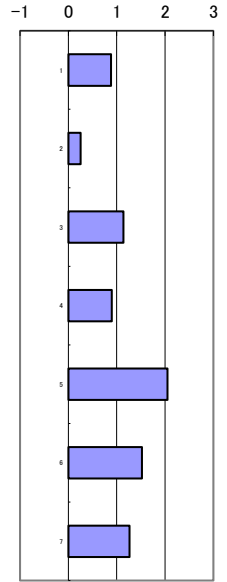


【分析・考察】

○コースの特色であるケンブリッジ国際教育、海外研修、交換留学などの取組は、グローバル人材育成および国際理解教育に有効であると評価されている。また、「飲酒運転根絶運動」や「シジュウカラガン復活プロジェクト」など、社会的意義のある活動・取組についても高い評価が得られている。(No. 17,18)
○「ゼロディフェクト」への取組や、日々の学校生活・学校行事を通じた建学の精神の実践、社会課題への主体的な姿勢の育成に向けて、生徒・保護者・教員の三者間で目的・意義の共有をさらに進めていきたい。
○各種感染症対策や環境整備における適切な取組みについて、今後も継続的に共有し、取組みを進めていきたい。

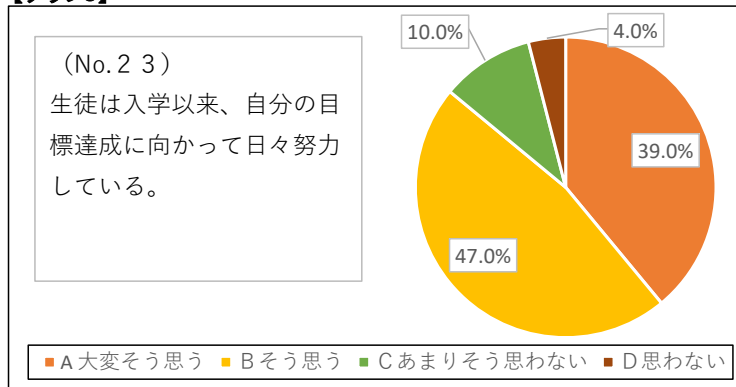
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	15.0%	67.0%	15.0%	3.0%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	7.1%	54.5%	32.3%	6.1%	0.3
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	21.0%	68.0%	8.0%	3.0%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	24.2%	52.5%	17.2%	6.1%	0.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	57.6%	37.4%	5.1%	0.0%	2.1
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	40.0%	49.0%	8.0%	3.0%	1.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	27.3%	59.6%	12.1%	1.0%	1.3



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

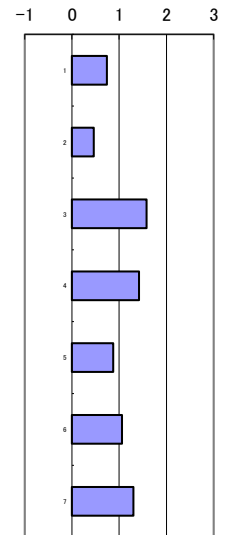
○生徒は学校生活において進路達成に向け日々努力しており、その姿勢は肯定的に評価されている。生徒と教員の評価も一致している。また、学校の施設・設備面では、特にICT環境や各種プラットフォームの整備とその活用が高く評価された。(No.23)

○各生徒の希望進路達成に向けて、今後も生徒の実態把握に努めるとともに、生徒・保護者・教員の三者間における良好なコミュニケーションと信頼関係の構築を一層推進していきたい。

○学校全体のハード・ソフト両面の強みに加え、さまざまな国籍の生徒・保護者、教員・スタッフが所属する外国語コース・国際部の教育環境を活かし、多様化するグローバル社会で求められる資質・能力の育成をさらに図っていきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	21.0%	51.0%	22.0%	6.0%	0.7
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	10.0%	61.0%	21.0%	8.0%	0.5
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	36.0%	59.0%	3.0%	2.0%	1.6
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	39.0%	47.0%	10.0%	4.0%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	18.6%	62.9%	12.4%	6.2%	0.9
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	23.0%	58.0%	18.0%	1.0%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	29.3%	57.6%	12.1%	1.0%	1.3

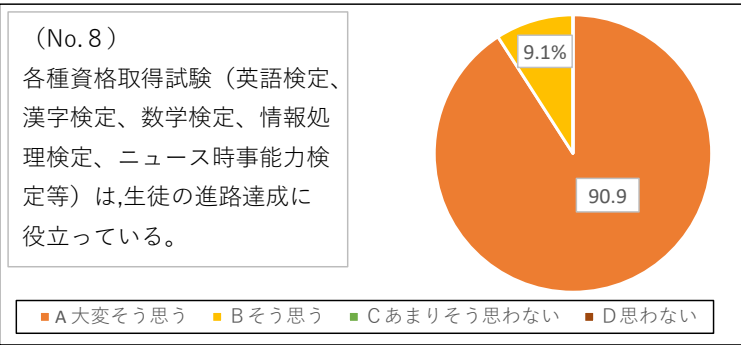


調査結果と考察

3 外国語コース(教職員対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 2 + C度数 × 1 + D度数 × 0) ÷ (総度数)

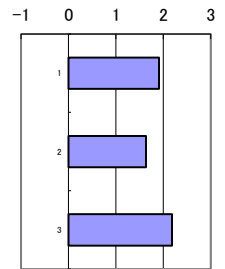
【分析・考察】

○コースの特色である語学検定取得の取組みが、コース目標および進路達成に直結しているという認識は、教員間で共通理解として共有されている。(No.8)
○特に長期休業中の課外講習については、レギュラークラスおよび留学生に対応した、より効果的な内容を引き続き検討し、生徒が成果と達成感を得られるプログラムの実施を目指したい。(No.9)
○コースの特色である多言語教育、ケンブリッジ国際教育、国際理解教育の一層の充実を図り、各学年および各生徒の全体的・個別的な実態把握に努めることで、コース生徒の資質向上と進路達成に継続して取り組んでいきたい。

【表A】

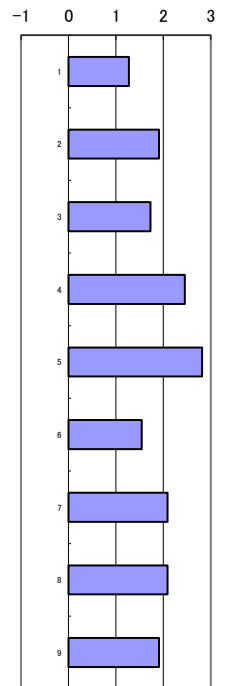
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	31.8%	68.2%	0.0%	0.0%	1.6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%	2.2



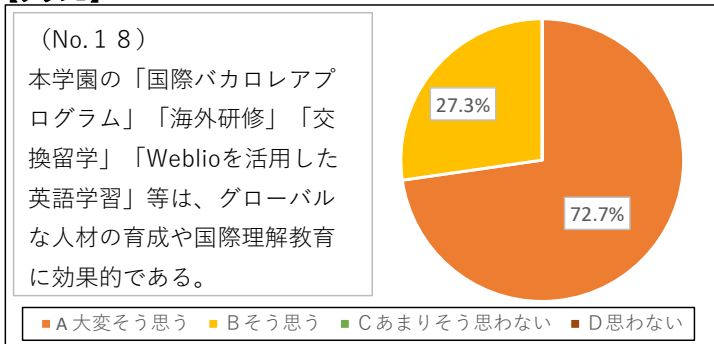
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	22.7%	68.2%	9.1%	0.0%	1.3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	50.0%	45.5%	4.5%	0.0%	1.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	1.7
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	2.5
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	2.8
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	40.9%	50.0%	4.5%	4.5%	1.5
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	2.1
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	2.1
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

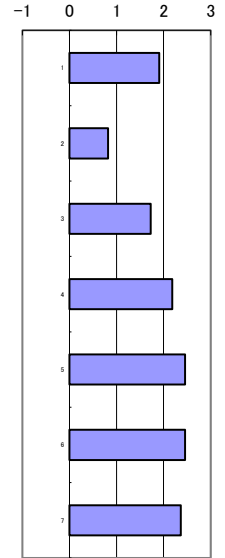


【分析・考察】

○コースの特色である教育活動、海外研修、交換留学などの取組みは、グローバル人材育成および国際理解教育に効果的であると評価されている。今後も、海外研修、短期・長期留学、姉妹校からの訪問、講演会などを通して、生徒の教育的効果を一層高める内容を実施していきたい。(No.18)
○No.14「ゼロディフェクト」への取組みや、日々の学校生活・学校行事を通じて、生徒が建学の精神や社会課題に主体的に向き合う姿勢を育成できるよう、活動の目的や意義を教職員・生徒間で共有していく必要がある。
○学校生活や行事の様々な機会を通して、個々の資質や社会性の向上を図り、社会に貢献できる人材を育成するという目的を共有しながら、生徒指導の充実につなげていきたい。

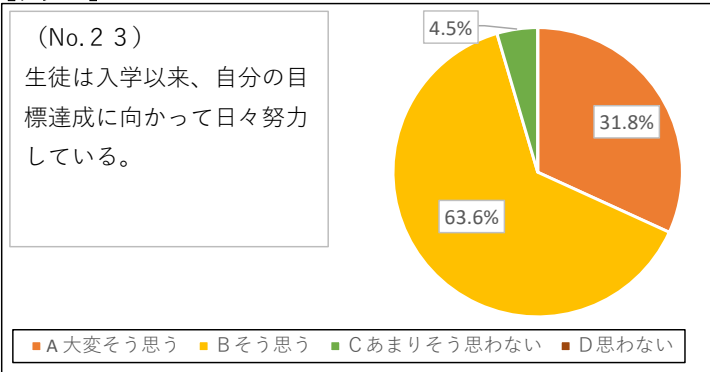
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	18.2%	54.5%	27.3%	0.0%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	45.5%	45.5%	9.1%	0.0%	1.7
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	63.6%	31.8%	4.5%	0.0%	2.2
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	77.3%	18.2%	4.5%	0.0%	2.5
18	本学園の「国際パカロレプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	2.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	2.4



C その他

【グラフC】

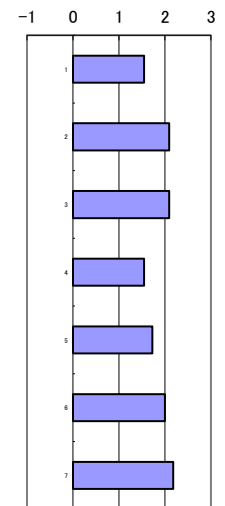


【分析・考察】

○生徒は学校生活において進路達成に向けて努力しており、その姿勢については生徒・保護者と同様に、教員からも肯定的な評価が得られている。今後も、生徒の学校生活の充実と成長につながる諸環境の整備に努めていきたい。(No.23)
○生徒の実態把握と情報共有については、引き続き適切なICTの活用を図りながら、効果的な指導の実践へとつなげていきたい。(No.24)
○これまでの経験から、生徒の感染症対策に対する意識は非常に高いといえる。今後も、さまざまな場面に応じて適切な対応を継続していきたい。(No.26)
○学校全体のハード・ソフトの両面における強みを、より効果的に生徒の資質・能力の育成に活用していきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	40.9%	45.5%	13.6%	0.0%	1.5
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	2.1
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	59.1%	36.4%	4.5%	0.0%	2.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	31.8%	63.6%	4.5%	0.0%	1.5
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	1.7
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	63.6%	31.8%	4.5%	0.0%	2.2

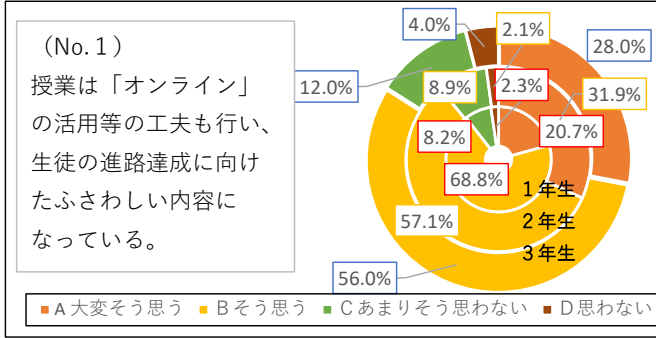


調査結果と考察

4 英進進学コース(生徒対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

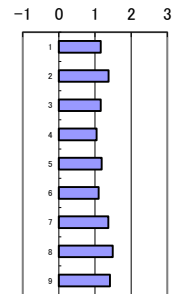
【分析・考察】

○「I 授業について」では、いずれの項目も概ね肯定的評価となっている。特に、No.1については、各学年において概ね肯定的な数値が見られる。今年度から、「Zoom」に代わり「Google Meet」を使用することとなったが、教員が事前に十分な研修を行った上でオンライン授業を実施したことが、評価につながった要因であると考えられる。
○No.8については、昨年度に引き続き、各学年ともに高評価を得ている。各種資格の取得が進路決定に有効であることが、1年生にも十分に浸透していることがうかがえ、非常に良好な評価であるといえる。
○いずれの項目についても現状に満足することなく、さらなる工夫を重ねながら取り組んでいきたい。

【表A】

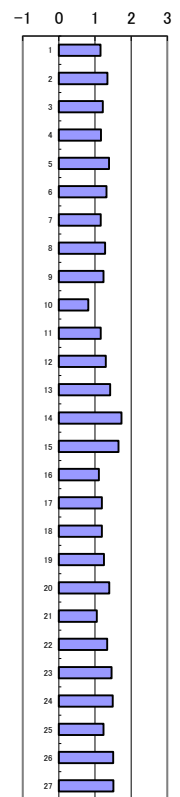
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	20.7%	68.8%	8.2%	2.3%	1.2
		2年生	31.9%	57.1%	8.9%	2.1%	1.4
		3年生	28.0%	56.0%	12.0%	4.0%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	18.8%	67.2%	11.7%	2.3%	1.0
		2年生	26.6%	58.9%	11.7%	2.8%	1.2
		3年生	26.8%	56.0%	12.8%	4.4%	1.1
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	26.6%	67.6%	3.5%	2.3%	1.4
		2年生	33.7%	58.9%	5.7%	1.8%	1.5
		3年生	30.4%	61.6%	6.4%	1.6%	1.4



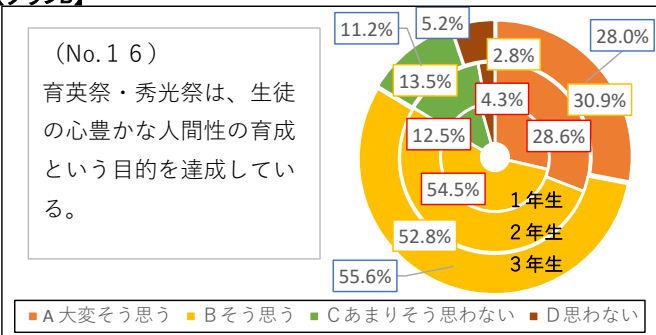
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値	
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	22.0%	65.9%	9.8%	2.4%	1.1
		2年生	30.9%	57.4%	9.6%	2.1%	1.3
		3年生	27.6%	58.8%	10.4%	3.2%	1.2
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	19.1%	72.3%	6.3%	2.3%	1.2
		2年生	30.1%	61.7%	5.7%	2.5%	1.4
		3年生	29.2%	60.4%	7.6%	2.8%	1.3
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	21.9%	67.2%	7.8%	3.1%	1.2
		2年生	28.0%	59.9%	9.9%	2.1%	1.3
		3年生	28.0%	58.0%	11.6%	2.4%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	18.4%	60.2%	15.2%	6.3%	0.8
		2年生	28.0%	55.0%	13.8%	3.2%	1.2
		3年生	31.0%	56.0%	9.7%	3.2%	1.3
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	32.0%	59.4%	6.3%	2.3%	1.4
		2年生	41.3%	55.5%	1.8%	1.4%	1.7
		3年生	38.8%	55.6%	4.8%	0.8%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	23.8%	62.1%	9.8%	4.3%	1.1
		2年生	29.8%	54.6%	11.0%	4.6%	1.2
		3年生	27.2%	58.4%	11.2%	3.2%	1.2
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	23.0%	68.8%	5.9%	2.3%	1.3
		2年生	31.2%	59.2%	7.8%	1.8%	1.4
		3年生	26.5%	55.8%	11.5%	6.2%	1.1
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	26.3%	65.5%	7.1%	1.2%	1.3
		2年生	34.0%	57.8%	5.3%	2.8%	1.5
		3年生	34.1%	57.0%	8.0%	0.8%	1.5
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	21.9%	70.3%	5.5%	2.3%	1.2
		2年生	33.1%	60.5%	5.0%	1.4%	1.5
		3年生	34.4%	58.0%	6.4%	1.2%	1.5



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

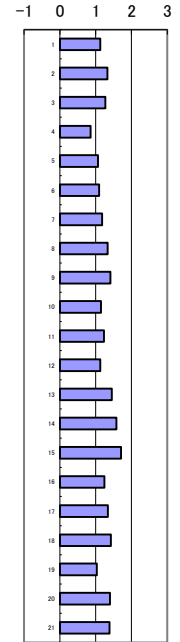


【分析・考察】

○No.16については、今年度も一定の評価を得ている。昨年度は2年生の数値が低かったが、今年度は学年によるばらつきが少なかった結果となった。これは、各団体の取組が生徒に良い印象を与えたことによるものと考えられる。
○例年どおり高評価を得ているのが、No.17の生徒会が中心となって取り組んでいる「飲運連転根絶運動」であり、いずれの学年においても非常に高い評価となっている。本学園が長期にわたり継続的に取り組んできた成果が、生徒の意識として定着していることがうかがえる。
○No.14については、1年生の「A」の割合が低い結果となった。入学後、当該運動の趣旨や内容について理解を深める機会が十分でなかったことが一因であると考えられる。

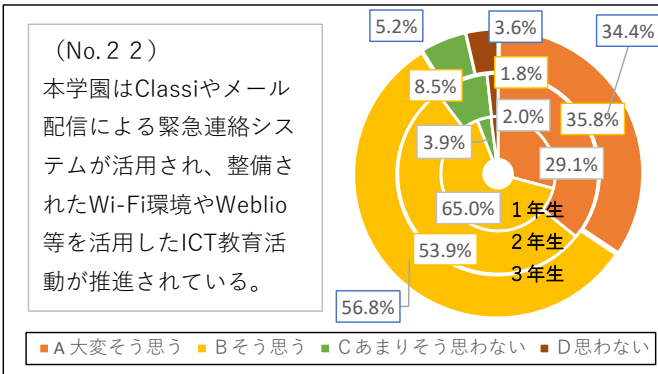
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	23.8%	62.1%	10.5%	3.5%	1.1
		2年生	29.4%	60.6%	6.7%	3.2%	1.3
		3年生	29.6%	56.4%	12.0%	2.0%	1.3
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	16.8%	64.5%	13.7%	5.1%	0.9
		2年生	27.0%	53.2%	16.0%	3.9%	1.1
		3年生	26.4%	55.6%	14.4%	3.6%	1.1
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	22.8%	65.4%	9.8%	2.0%	1.2
		2年生	29.4%	59.2%	9.9%	1.4%	1.3
		3年生	30.8%	61.6%	4.8%	2.8%	1.4
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	28.6%	54.5%	12.5%	4.3%	1.1
		2年生	30.9%	52.8%	13.5%	2.8%	1.2
		3年生	28.0%	55.6%	11.2%	5.2%	1.1
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	31.0%	62.0%	5.5%	1.6%	1.4
		2年生	37.2%	56.7%	3.9%	2.1%	1.6
		3年生	40.4%	55.6%	2.8%	1.2%	1.7
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	25.1%	64.3%	8.2%	2.4%	1.2
		2年生	29.8%	59.6%	8.5%	2.1%	1.3
		3年生	31.2%	60.4%	6.8%	1.6%	1.4
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	21.2%	63.1%	11.8%	3.9%	1.0
		2年生	32.3%	57.1%	8.9%	1.8%	1.4
		3年生	30.8%	59.6%	7.6%	2.0%	1.4



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

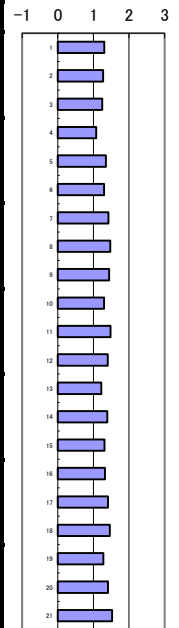
○No.22については、昨年度に続き非常に高い評価を得ている。特に1年生においては中学校には見られなかったICTシステムの活用が印象に残り、評価につながっているものと考えられる。

○No.25についても、高い評価を得ている。これは、教員の日頃からの丁寧な生徒対応が肯定的な評価につながっていると推察される。

○全体的に見れば、多くの項目で高い評価が得られている。しかし、一部の項目においては、1年生の評価が比較的低い傾向も見られる。近年、中学校では非常に丁寧な指導が行われていることもあり、高等学校の指導との違いを理解するまでに時間を要していることが、評価の差につながっている可能性がある。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	31.6%	53.5%	13.3%	1.6%	1.3
		2年生	31.9%	53.9%	10.3%	3.9%	1.3
		3年生	31.2%	54.4%	10.0%	4.4%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	19.1%	67.6%	11.3%	2.0%	1.1
		2年生	30.1%	59.6%	8.2%	2.1%	1.4
		3年生	29.7%	58.2%	9.2%	2.8%	1.3
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	29.1%	65.0%	3.9%	2.0%	1.4
		2年生	35.8%	53.9%	8.5%	1.8%	1.5
		3年生	34.4%	56.8%	5.2%	3.6%	1.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	25.0%	66.4%	7.0%	1.6%	1.3
		2年生	32.3%	60.6%	6.0%	1.1%	1.5
		3年生	28.5%	64.7%	5.2%	1.6%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	21.9%	69.5%	6.3%	2.3%	1.2
		2年生	29.1%	62.4%	7.4%	1.1%	1.4
		3年生	28.0%	62.0%	7.6%	2.4%	1.3
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	25.4%	68.0%	4.3%	2.3%	1.3
		2年生	31.9%	58.9%	7.1%	2.1%	1.4
		3年生	31.2%	62.8%	4.0%	2.0%	1.5
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	1年生	26.6%	62.5%	9.4%	1.6%	1.3
		2年生	32.3%	58.2%	7.4%	2.1%	1.4
		3年生	35.6%	56.4%	6.8%	1.2%	1.5

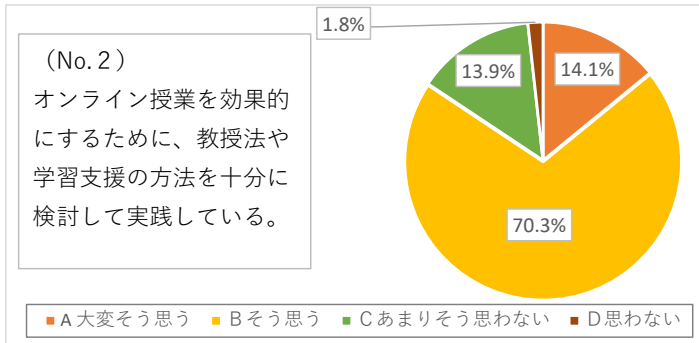


調査結果と考察

4 英進進学コース(保護者対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

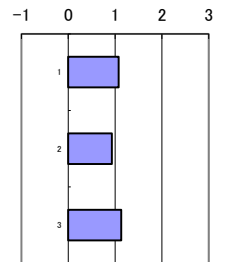
【分析・考察】

○いずれの項目においても「A」、「B」評価が多数を占め、全体として肯定的な評価となっている。一方で、No.2およびNo.7については、「A」の割合がやや低い結果となっている。しかしながら、両項目とも生徒のアンケートでは高い評価が得られていることから、生徒と保護者の受け止め方に一定の差が見られる。今後は、保護者面談等の機会を活用し、教育活動の目的・内容について丁寧に共有することで、この認識の差を縮めていく必要がある。

【表A】

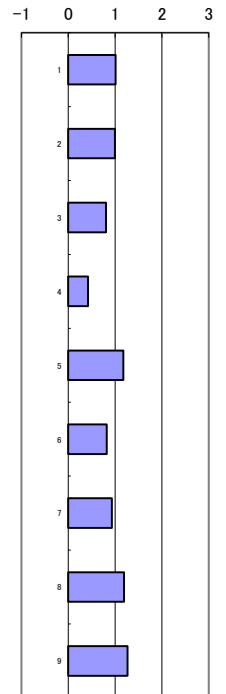
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	17.6%	70.7%	9.8%	2.0%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	14.1%	70.3%	13.9%	1.8%	0.9
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	20.0%	68.3%	10.0%	1.8%	1.1



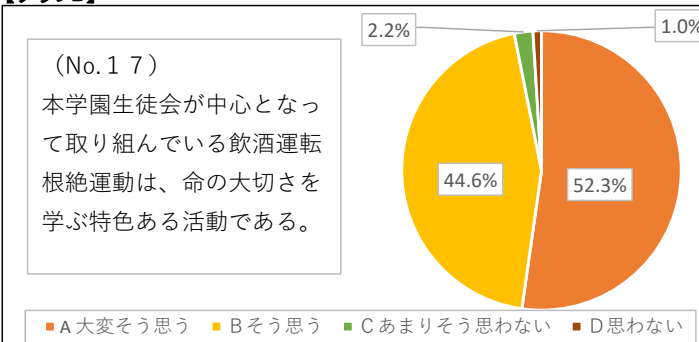
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	16.1%	69.8%	12.7%	1.4%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	13.1%	75.3%	9.8%	1.8%	1.0
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	11.8%	68.8%	17.5%	2.0%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	8.1%	59.6%	27.6%	4.7%	0.4
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	21.6%	67.8%	8.4%	2.2%	1.2
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	15.9%	62.8%	17.8%	3.5%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	13.1%	72.2%	12.9%	1.8%	0.9
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	25.2%	62.2%	9.4%	3.1%	1.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	24.6%	66.0%	7.4%	2.0%	1.3



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



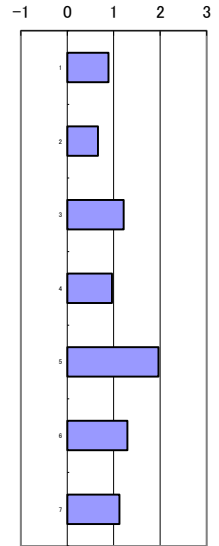
【分析・考察】

○No.17については、96.9%と、昨年度とほぼ同水準であり、引き続き非常に高い評価を得ている。本学園が長期にわたり継続的に取り組んできた成果が、生徒のみならず保護者にも浸透し、この活動の意義が広く共有されていることがうかがえる。

○No.14については、「A」評価が8.6%と、他の項目と比較して低い割合となっている。一方で、「B」評価は67.8%と高く、全体としては一定の評価を得ているものと考えられる。

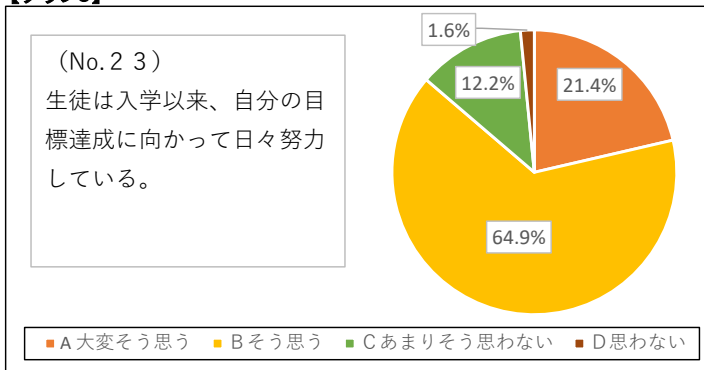
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	12.9%	70.3%	15.1%	1.8%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	8.6%	67.8%	21.6%	2.0%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	20.6%	70.8%	7.5%	1.2%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	20.0%	61.4%	15.5%	3.1%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	52.3%	44.6%	2.2%	1.0%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	24.3%	68.0%	5.9%	1.8%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	21.0%	66.5%	10.4%	2.2%	1.1



C その他

【グラフC】



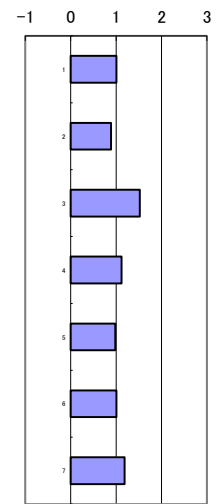
【分析・考察】

○No.23については、86.3%と、昨年比で2.2ポイントの向上が見られた。学園における生徒の活躍や、充実した学校生活の様子が、保護者にも実感をもって受け止められている結果であると考えられる。

○各項目とも概ね高い評価を得ているが、No.21「いじめの未然防止・早期解決」については、「A」の評価がやや低い傾向が見られる。学校現場では適切に対応していると認識しているものの、保護者からは見えにくい取組も多いことから、今後はその内容や対応体制について、より分かりやすく周知していくことが課題である。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	23.7%	57.3%	14.7%	4.3%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	12.8%	71.7%	12.8%	2.8%	0.9
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	32.2%	63.3%	2.9%	1.6%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	21.4%	64.9%	12.2%	1.6%	1.1
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	17.9%	66.5%	12.2%	3.4%	1.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	18.0%	68.6%	9.3%	4.2%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	23.2%	65.8%	8.3%	2.8%	1.2

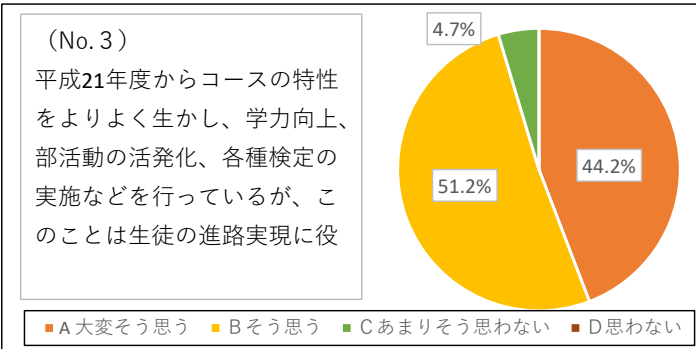


調査結果と考察

4 英進進学コース(教職員対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

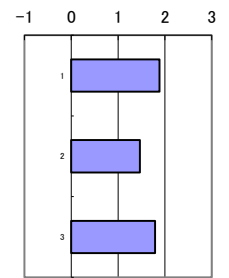
【グラフA】



【表A】

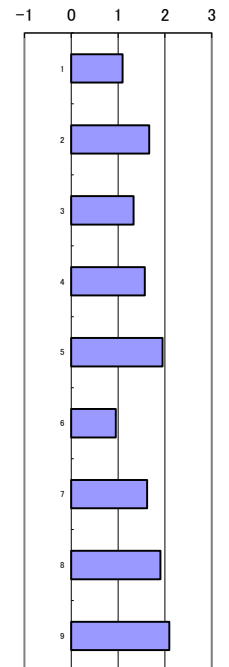
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	48.8%	46.5%	4.7%	0.0%	1.9
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	34.9%	53.5%	11.6%	0.0%	1.5
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	44.2%	51.2%	4.7%	0.0%	1.8



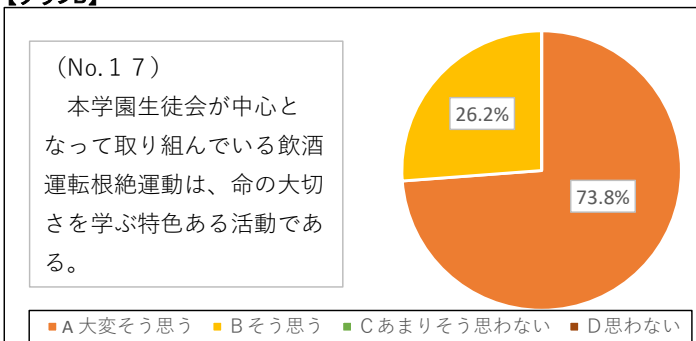
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	16.7%	71.4%	11.9%	0.0%	1.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	35.7%	61.9%	2.4%	0.0%	1.7
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	23.8%	69.0%	7.1%	0.0%	1.3
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	38.1%	52.4%	9.5%	0.0%	1.6
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	50.0%	47.6%	2.4%	0.0%	2.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	16.7%	64.3%	19.0%	0.0%	1.0
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	42.9%	45.2%	11.9%	0.0%	1.6
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	47.6%	50.0%	2.4%	0.0%	1.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	54.8%	45.2%	0.0%	0.0%	2.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○いずれの項目も肯定的評価となっており、全体として良好な評価を得ている。中でも、No.3が95.4%と非常に高い数値を示している。これは、長期にわたる学校改革の取組が着実に成果を上げているものと考えられる。

○昨年度に引き続き、No.8、No.11、No.12について高い評価を得ている。これらの結果から、日常的な教育活動や丁寧な対応が成果として表れており、教職員がその手応えを感じているものと見受けられる。

【分析・考察】

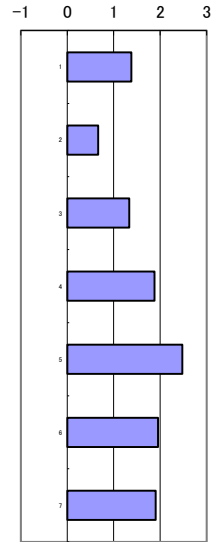
○No.17については、職員間にも十分に定着しており、本学園の重要な取組として、今後も継続して大切にしていきたい。

○No.14については、昨年と同様の評価であった。学園内の学校生活は落ち着いた雰囲気定着しており、その成果が徐々に数値として認識していただいているものと考えられる。

○No.19については、昨年度と同じく97.7%と高評価を得ている。これらの結果から、学園としての継続的な取組が評価されているものと見受けられる。

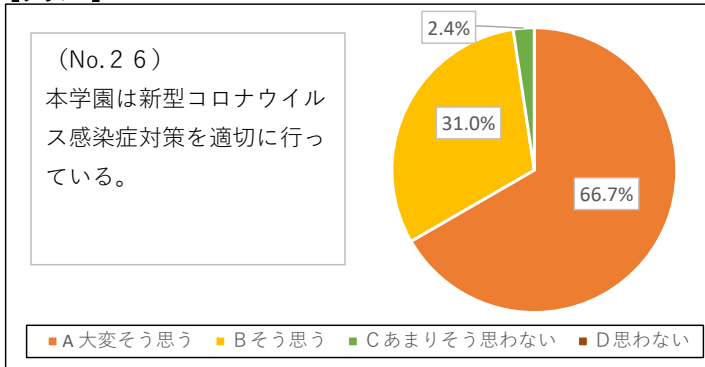
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	35.7%	47.6%	16.7%	0.0%	1.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	11.9%	61.9%	23.8%	2.4%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	26.2%	64.3%	9.5%	0.0%	1.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	51.2%	43.9%	2.4%	2.4%	1.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	73.8%	26.2%	0.0%	0.0%	2.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	2.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	47.6%	50.0%	2.4%	0.0%	1.9



C その他

【グラフC】



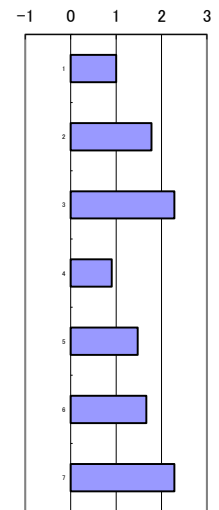
【分析・考察】

○No.26については、昨年度より2.4ポイント低下したものの、97.6%の高い評価を得ている。前述のとおり、学園としての継続的な取組が評価されているものと考えられる。

○No.22については、100%という非常に高い評価を得ている。オンライン授業等を含むICT教育において、教授法の習熟が進み、教職員間においても取組に対する心理的なハードルが低くなってきているものではないかと考えられる。今後も引き続き、ICTを活用した教授法についてさらなる研究と実践を進めていきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	23.8%	57.1%	14.3%	4.8%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	41.5%	56.1%	2.4%	0.0%	1.8
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	2.3
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	14.3%	66.7%	19.0%	0.0%	0.9
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	35.7%	52.4%	11.9%	0.0%	1.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	38.1%	57.1%	4.8%	0.0%	1.7
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	66.7%	31.0%	2.4%	0.0%	2.3



調査結果と考察

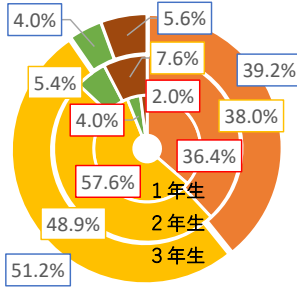
5 情報科学コース(生徒対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

(No. 8)

各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路



■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

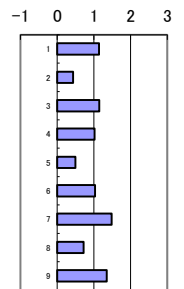
【分析・考察】

○授業に関する3項目でも、約80%の生徒が肯定的な評価を示している。特にNo.3では肯定的評価が85%に達しており、近年の大学合格者数の増加を反映した結果といえる。(No.1・2・3)
 ○各種資格検定試験への取組を中心に高い水準を維持している。肯定的評価は90%と昨年を上回り、検定合格やICT活用などの本コースの特徴が多く生徒に支持されていると考えられる。(No.8)
 ○進路相談や保護者面談についても、いずれも全体の肯定的評価が87%にのぼり、丁寧な進路指導が生徒に十分理解されていると考えられる。(No.11・12)
 ○一方で、No.2やNo.7については、否定的評価が微増しており、内容面での改善が今後必要である。

【表A】

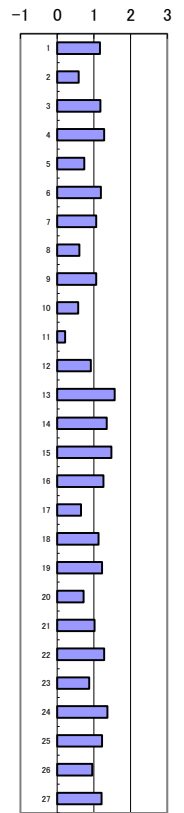
I 授業について

No.	設問	1年生	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	23.2%	63.6%	10.1%	3.0%	1.1
		2年生	22.8%	38.0%	27.2%	12.0%	0.4
		3年生	24.8%	60.0%	12.8%	2.4%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	21.2%	62.6%	12.1%	4.0%	1.0
		2年生	20.9%	45.1%	22.0%	12.1%	0.5
		3年生	23.4%	58.9%	13.7%	4.0%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	34.3%	57.6%	6.1%	2.0%	1.5
		2年生	23.9%	48.9%	16.3%	10.9%	0.7
		3年生	30.4%	60.0%	6.4%	3.2%	1.4



II 教育課程について

No.	設問	1年生	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	29.6%	53.1%	13.3%	4.1%	1.2
		2年生	21.7%	50.0%	14.1%	14.1%	0.6
		3年生	23.2%	66.4%	6.4%	4.0%	1.2
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	24.2%	67.7%	6.1%	2.0%	1.3
		2年生	24.2%	50.5%	13.2%	12.1%	0.7
		3年生	25.6%	62.4%	8.0%	4.0%	1.2
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	20.2%	65.7%	11.1%	3.0%	1.1
		2年生	22.0%	49.5%	15.4%	13.2%	0.6
		3年生	23.4%	61.3%	10.5%	4.8%	1.1
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	18.2%	53.5%	17.2%	11.1%	0.6
		2年生	14.1%	50.0%	18.5%	17.4%	0.2
		3年生	25.0%	54.0%	12.9%	8.1%	0.9
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	36.4%	57.6%	4.0%	2.0%	1.6
		2年生	38.0%	48.9%	5.4%	7.6%	1.3
		3年生	39.2%	51.2%	4.0%	5.6%	1.5
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	26.3%	63.6%	7.1%	3.0%	1.3
		2年生	18.5%	57.6%	12.0%	12.0%	0.7
		3年生	24.2%	62.1%	9.7%	4.0%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	24.2%	64.6%	9.1%	2.0%	1.2
		2年生	21.7%	54.3%	12.0%	12.0%	0.7
		3年生	23.2%	58.4%	14.4%	4.0%	1.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	26.3%	63.6%	8.1%	2.0%	1.3
		2年生	25.0%	54.3%	9.8%	10.9%	0.9
		3年生	32.8%	57.6%	4.8%	4.8%	1.4
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	24.2%	64.6%	9.1%	2.0%	1.2
		2年生	22.8%	60.9%	7.6%	8.7%	1.0
		3年生	27.2%	61.6%	5.6%	5.6%	1.2

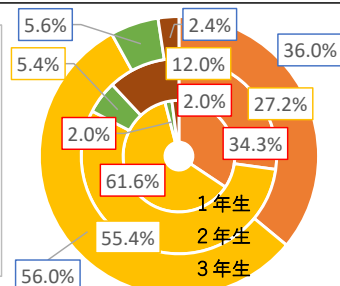


B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

(No. 17)

本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。



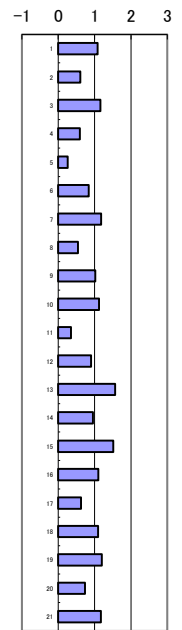
■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

【分析・考察】

○本学園が重視している「飲酒運転根絶への取組」は、90%という非常に高い肯定的評価が得られており、この活動が確実に定着し、生徒にも十分浸透していることがうかがえる。(No.17)
 ○また、本校独自の国際理解教育についても83%と高い評価が示されており、本校の大きな特色として生徒に認識されている。(No.18)
 ○一方、No.14については、他の項目と比較して評価が低く、服装・頭髪指導自体は浸透しているものの、その指導内容や方法については見直しの時期が来ていると考えられる。

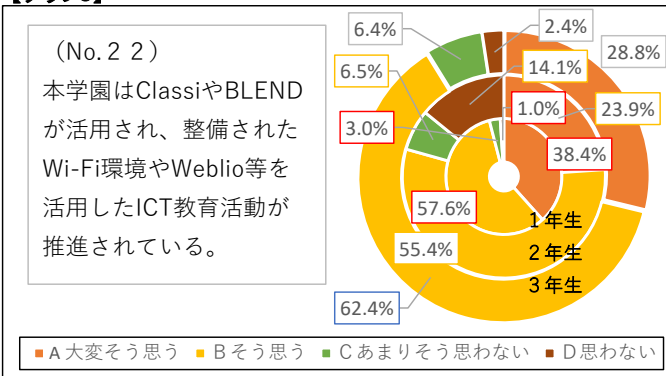
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	26.3%	55.6%	14.1%	4.0%	1.1
		2年生	21.7%	54.3%	6.5%	17.4%	0.6
		3年生	24.0%	63.2%	9.6%	3.2%	1.2
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	18.2%	49.5%	26.3%	6.1%	0.6
		2年生	15.2%	50.0%	17.4%	17.4%	0.3
		3年生	17.6%	61.6%	16.0%	4.8%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	24.2%	64.6%	7.1%	4.0%	1.2
		2年生	18.5%	54.3%	13.0%	14.1%	0.5
		3年生	20.8%	64.0%	10.4%	4.8%	1.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	30.3%	53.5%	8.1%	8.1%	1.1
		2年生	18.5%	48.9%	14.1%	18.5%	0.3
		3年生	26.4%	49.6%	16.8%	7.2%	0.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	34.3%	61.6%	2.0%	2.0%	1.6
		2年生	27.2%	55.4%	5.4%	12.0%	1.0
		3年生	36.0%	56.0%	5.6%	2.4%	1.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	20.2%	66.7%	11.1%	2.0%	1.1
		2年生	18.7%	57.1%	11.0%	13.2%	0.6
		3年生	22.4%	63.2%	11.2%	3.2%	1.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	27.3%	57.6%	13.1%	2.0%	1.2
		2年生	26.1%	50.0%	8.7%	15.2%	0.7
		3年生	28.0%	56.0%	12.8%	3.2%	1.2



C その他

【グラフC】



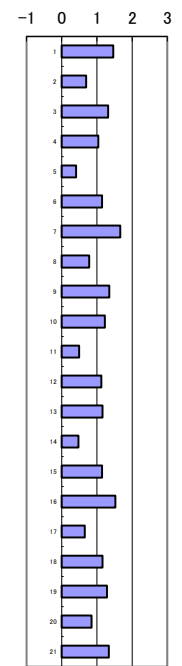
【分析・考察】

○全体として、いずれの項目も80%前後の肯定的評価を得ることができた。特にNo.22については、89%と非常に高い評価が示されており、ClassiやSlackを活用した教員との円滑で細やかなコミュニケーションが、生徒から高く評価されているものと考えられる。

○No.24・25における教員への評価についても、いずれも80%を超える「A」「B」評価となった。特にNo.25については、昨年に続き85%という高い評価を得ており、社会的関心が高まる中で、本学園の取組が生徒にも確実に伝わっていることがうかがわれる。今後も生徒の納得感をさらに高められるよう、より良い環境づくりに努めていきたい。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	37.4%	52.5%	6.1%	4.0%	1.5
		2年生	28.3%	43.5%	13.0%	15.2%	0.7
		3年生	33.6%	53.6%	8.0%	4.8%	1.3
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	20.4%	63.3%	14.3%	2.0%	1.0
		2年生	23.1%	44.0%	13.2%	19.8%	0.4
		3年生	25.6%	60.8%	8.8%	4.8%	1.1
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	38.4%	57.6%	3.0%	1.0%	1.7
		2年生	23.9%	55.4%	6.5%	14.1%	0.8
		3年生	28.8%	62.4%	6.4%	2.4%	1.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	27.3%	60.6%	8.1%	4.0%	1.2
		2年生	17.6%	52.7%	16.5%	13.2%	0.5
		3年生	24.0%	63.2%	8.0%	4.8%	1.1
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	22.2%	65.7%	10.1%	2.0%	1.2
		2年生	19.6%	51.1%	13.0%	16.3%	0.5
		3年生	22.4%	65.6%	8.8%	3.2%	1.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	38.4%	53.5%	4.0%	4.0%	1.5
		2年生	22.8%	51.1%	12.0%	14.1%	0.7
		3年生	22.6%	66.1%	8.1%	3.2%	1.2
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	1年生	30.3%	55.6%	12.1%	2.0%	1.3
		2年生	28.3%	51.1%	5.4%	15.2%	0.8
		3年生	28.8%	62.4%	5.6%	3.2%	1.3

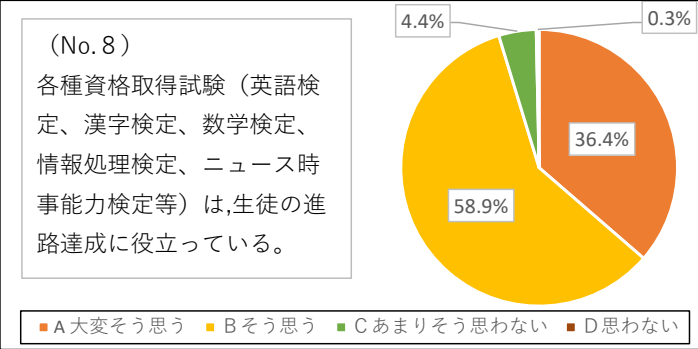


調査結果と考察

5 情報科学コース(保護者対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値=(A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【分析・考察】

○全項目で、ほぼ昨年並みの高い評価を得られている。特にNo. 8については、昨年からさらに肯定的評価が上昇し95.3%に達した。本コースの強みが十分に理解されているといえる。

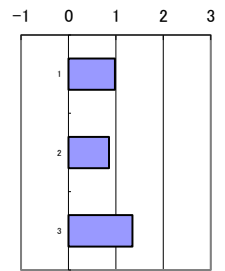
○No.11やNo.12の2項目でも、「A」・「B」評価の合計が昨年同様90%前後と、引き続き高い評価を得ている。本コースの手厚いサポート体制が保護者にも浸透していることがうかがえる。

○No.1～3の授業についても、ほぼ昨年並みの数値を維持している。中でもNo.3の肯定評価が92%と最も高く、生徒と同様に、資格取得等が大学合格実績につながっていることを保護者も理解しているものと思われる。

【表A】

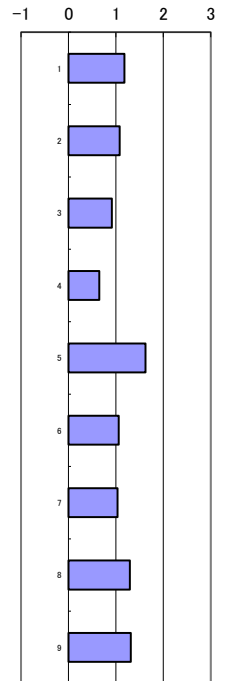
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	16.4%	68.6%	12.7%	2.3%	1.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	11.7%	70.9%	15.7%	1.7%	0.9
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	26.3%	65.7%	7.4%	0.7%	1.4



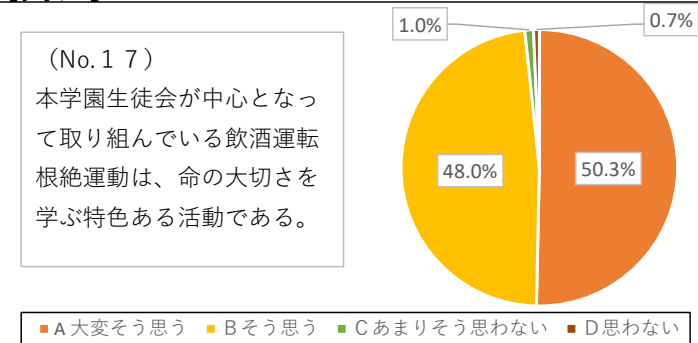
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	23.7%	62.9%	12.0%	1.3%	1.2
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	16.7%	71.6%	10.7%	1.0%	1.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	12.1%	72.8%	13.8%	1.3%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	12.8%	60.3%	23.6%	3.4%	0.6
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	36.4%	58.9%	4.4%	0.3%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	17.4%	69.5%	11.7%	1.3%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	16.4%	71.6%	9.4%	2.7%	1.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	29.5%	58.4%	9.4%	2.7%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	24.7%	67.2%	7.0%	1.0%	1.3



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



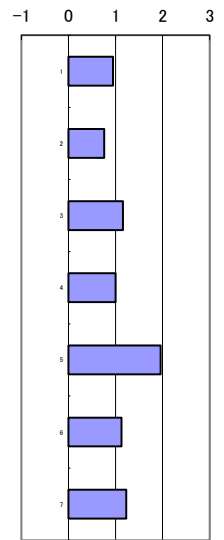
【分析・考察】

○Bの全項目にわたって、昨年同様に高い評価値を示した。特に飲酒運転根絶への取組については生徒に加えて保護者からも大変高い評価を受けており、98.3%という非常に高い肯定評価となった。本学園が大切にしているこの運動が、十分に浸透していることがうかがえる。(No.17)

○No.14の数値は比較的低いままであるものの、肯定的評価は80%を超えている。今後も保護者との連絡・連携を綿密にしながら、生徒指導に丁寧に取り組んでいきたい。

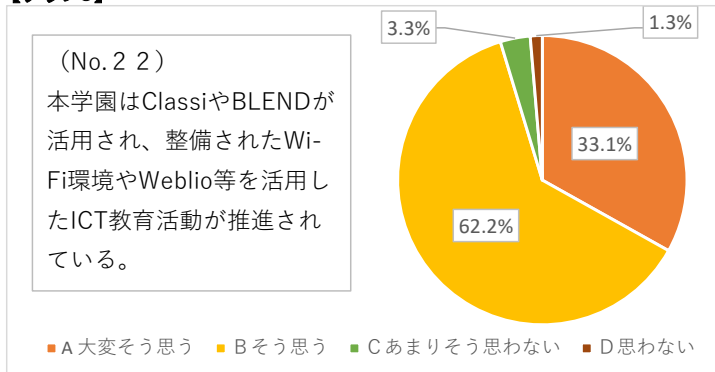
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	15.5%	68.7%	13.5%	2.4%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	9.1%	72.1%	16.5%	2.4%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	19.9%	69.4%	9.4%	1.3%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	18.5%	65.0%	14.5%	2.0%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	50.3%	48.0%	1.0%	0.7%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	18.1%	71.8%	8.4%	1.7%	1.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	22.7%	66.6%	10.0%	0.7%	1.2



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

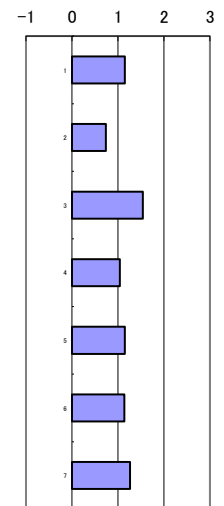
○学校の施設設備に対する保護者満足度は高く、前年同様、ICT環境の整備およびその活用について、「A」「B」評価の合計は95.4%と、きわめて高い評価を維持している。情報科学コースとしては心強い結果であり、今後も方向性を持ってぶれずに進めていきたい。(No.22)

○No.26 についても評価は高く、「A」「B」評価が91.2%に達していることから、その対策が保護者にも明確に評価されていることがわかる。

○No.24・25についても、それぞれ87%前後の評価となっており、しっかりと保護者の理解と信頼を得ている。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	27.9%	55.0%	13.8%	3.4%	1.1
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	11.5%	67.8%	16.6%	4.1%	0.7
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	33.1%	62.2%	3.3%	1.3%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	23.4%	58.2%	15.4%	3.0%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	22.6%	64.3%	11.1%	2.0%	1.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	22.0%	65.5%	10.1%	2.4%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	22.6%	68.6%	8.1%	0.7%	1.3



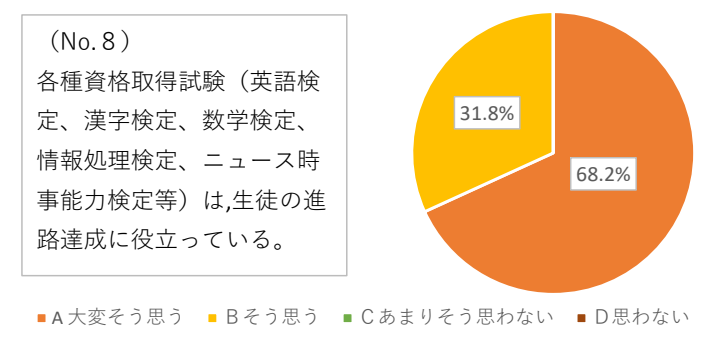
調査結果と考察

5 情報科学コース(教職員対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【グラフA】



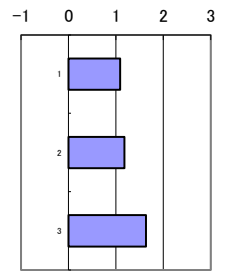
【分析・考察】

○授業に関する3項目のうち、すべての項目でかなりの高評価を維持している。オンライン授業については連続で下がっているものの、肯定評価は86.4%と高い水準である。今後も授業を含めた教育活動の内容をさらに改善していきたい。(No.1~3)
 ○II教育課程については、昨年同様、肯定的評価が80%以上を占めており、総じて高い評価が得られている。特にNo.8については、全員が肯定的評価であった。目標に向けて、情報科をサポートしつつコースとして取り組んできた成果が表れていると感じられる。
 ○No.6についても、95.4%と高い評価である。ただし、生徒の評価(81%)との若干の乖離が見られる点が気になる。

【表A】

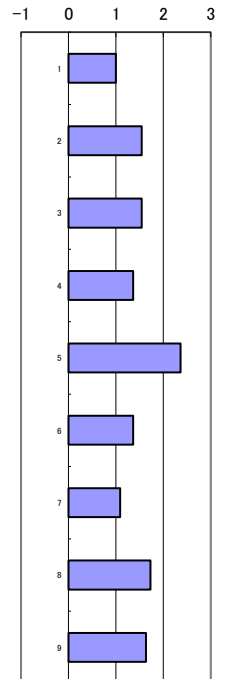
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	27.3%	59.1%	4.5%	9.1%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	27.3%	59.1%	9.1%	4.5%	1.2
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	36.4%	59.1%	4.5%	0.0%	1.6



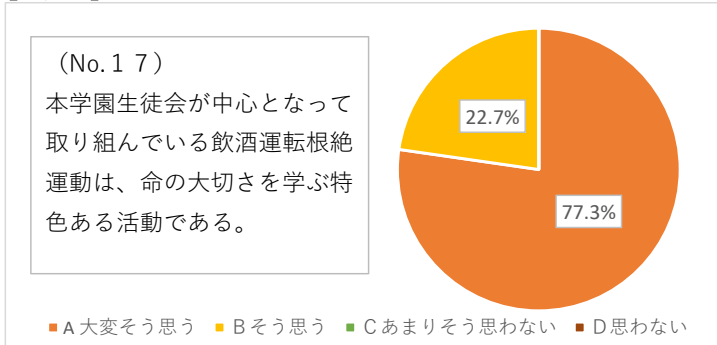
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	22.7%	63.6%	4.5%	9.1%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	36.4%	59.1%	0.0%	4.5%	1.5
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	31.8%	63.6%	4.5%	0.0%	1.5
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	31.8%	59.1%	4.5%	4.5%	1.4
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	2.4
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	1.4
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	27.3%	54.5%	13.6%	4.5%	1.1
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	1.7
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	36.4%	59.1%	4.5%	0.0%	1.6



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

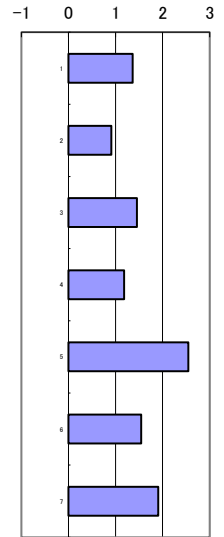


【分析・考察】

○Bについても全体に高い評価を維持しているが、昨年の数値をやや下回っている。(No.14・18)
 ○本校生徒会が中心となって取り組む「飲酒運転根絶運動」については、全員が肯定的に評価しており、スタッフ間でもこの活動の重要性がしっかりと理解されていることがうかがえる。(No.17)
 ○No.19についても、100%の肯定的評価となっており、教員の危機意識が十分に浸透していると言える。

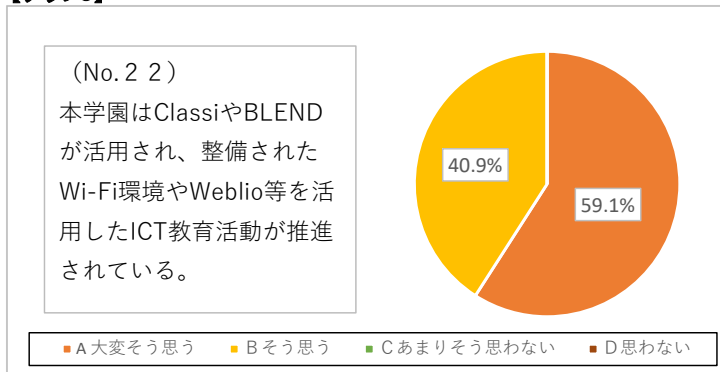
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	22.7%	72.7%	4.5%	0.0%	1.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	27.3%	54.5%	4.5%	13.6%	0.9
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	31.8%	59.1%	9.1%	0.0%	1.5
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	27.3%	59.1%	9.1%	4.5%	1.2
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	77.3%	22.7%	0.0%	0.0%	2.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	40.9%	50.0%	4.5%	4.5%	1.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

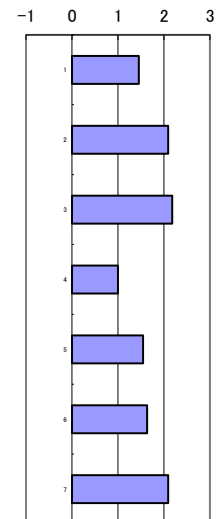
○このカテゴリーはほとんどが肯定的な評価となっており、学園におけるリスク管理のためのさまざまな対応が、教員にも理解されているものといえる。

○表Cの中で最も高い評価を得たのはNo.22であり、「A」評価が最も高い割合を占める結果となった。まさに本コースの定着を実感できる数値である。

○一方で、最も否定的な評価が増加したのは、No.23で、昨年よりも否定的な評価が若干増えている。面談等を通して、乗り切れない生徒を早期に見つけ、適切に対応していく必要がある。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	27.3%	68.2%	4.5%	0.0%	1.5
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	2.1
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%	2.2
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	22.7%	54.5%	22.7%	0.0%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	1.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	36.4%	59.1%	4.5%	0.0%	1.6
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	2.1

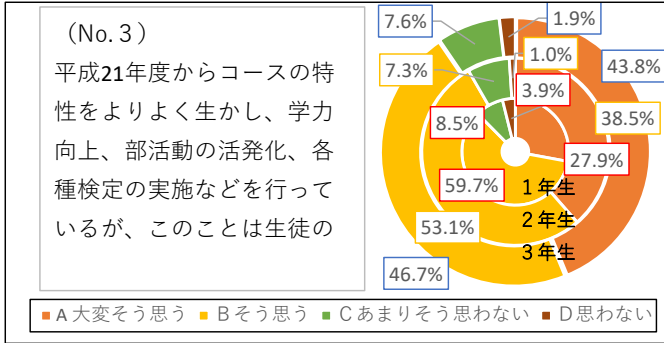


調査結果と考察

6 フレックスコース(生徒対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値=(A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【分析・考察】

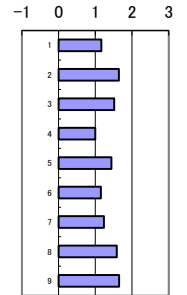
○本校フレックスコースの特長である部活動や各種検定試験の取組が、進路希望達成に役立っていると評価されている。今後もこれからの活動のさらなる充実を図っていききたい。(No.3)

○教職員は、定期的な面談に加え、日頃から生徒の様子を丁寧に観察し、きめ細かな声かけや相談対応を行っている。(No.11)

【表A】

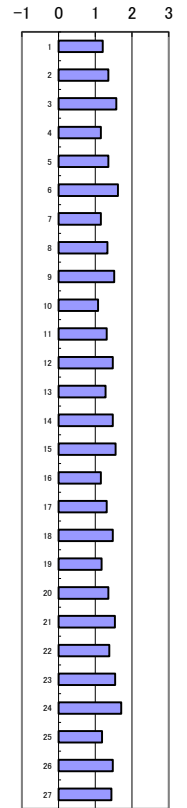
I 授業について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	27.5%	58.8%	8.4%	5.3%	1.2
		2年生	41.7%	49.0%	9.4%	0.0%	1.6
		3年生	41.0%	44.8%	13.3%	1.0%	1.5
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	22.7%	59.8%	12.1%	5.3%	1.0
		2年生	34.4%	53.1%	12.5%	0.0%	1.4
		3年生	35.2%	41.0%	20.0%	3.8%	1.2
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	27.9%	59.7%	8.5%	3.9%	1.2
		2年生	38.5%	53.1%	7.3%	1.0%	1.6
		3年生	43.8%	46.7%	7.6%	1.9%	1.6



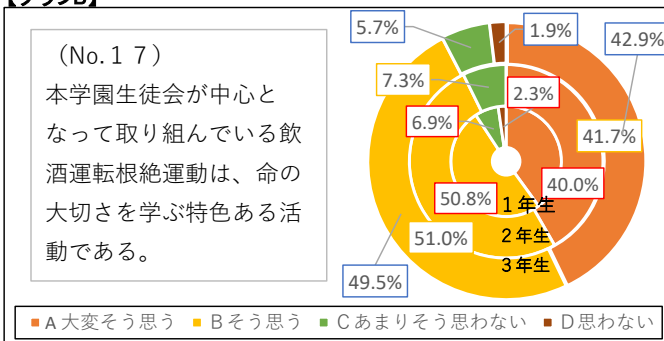
II 教育課程について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	27.9%	59.7%	7.0%	5.4%	1.2
		2年生	30.2%	59.4%	8.3%	2.1%	1.4
		3年生	41.9%	48.6%	5.7%	3.8%	1.6
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	23.1%	65.4%	7.7%	3.8%	1.2
		2年生	29.2%	60.4%	9.4%	1.0%	1.4
		3年生	42.3%	48.1%	7.7%	1.9%	1.6
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	23.1%	66.2%	6.2%	4.6%	1.2
		2年生	29.2%	59.4%	10.4%	1.0%	1.3
		3年生	39.0%	50.5%	7.6%	2.9%	1.5
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	21.9%	64.1%	10.2%	3.9%	1.1
		2年生	26.0%	63.5%	10.4%	0.0%	1.3
		3年生	39.0%	49.5%	7.6%	3.8%	1.5
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	26.2%	65.4%	4.6%	3.8%	1.3
		2年生	30.2%	63.5%	6.3%	0.0%	1.5
		3年生	41.0%	48.6%	7.6%	2.9%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	22.3%	67.7%	5.4%	4.6%	1.2
		2年生	28.1%	61.5%	8.3%	2.1%	1.3
		3年生	37.1%	52.4%	7.6%	2.9%	1.5
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	21.5%	68.5%	6.9%	3.1%	1.2
		2年生	29.2%	61.5%	7.3%	2.1%	1.4
		3年生	39.0%	52.4%	4.8%	3.8%	1.5
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	30.8%	60.0%	6.9%	2.3%	1.4
		2年生	35.4%	56.3%	8.3%	0.0%	1.5
		3年生	46.7%	44.8%	5.7%	2.9%	1.7
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	24.6%	64.6%	6.2%	4.6%	1.2
		2年生	32.3%	60.4%	6.3%	1.0%	1.5
		3年生	38.1%	48.6%	10.5%	2.9%	1.4



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



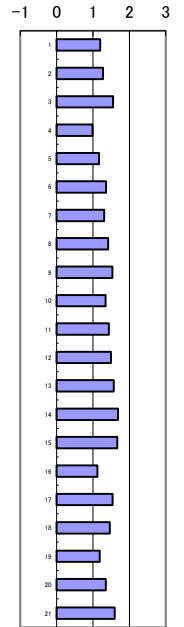
【分析・考察】

○本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動について、命の大切さを深く認識する学びの機会として、生徒がしっかりと受け止めていることが示されている。I-Lion dayの取組の成果である。(No.17)

○ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)については、他の項目と比較して評価が低い。基本的な生活習慣が十分に身につけていない生徒において、問題行動や服装・頭髪等の乱れが見受けられるため、家庭の協力を得ながら、ルールを守る重要性が生徒の心に届くよう、今後も指導に努めたい。(No.14)

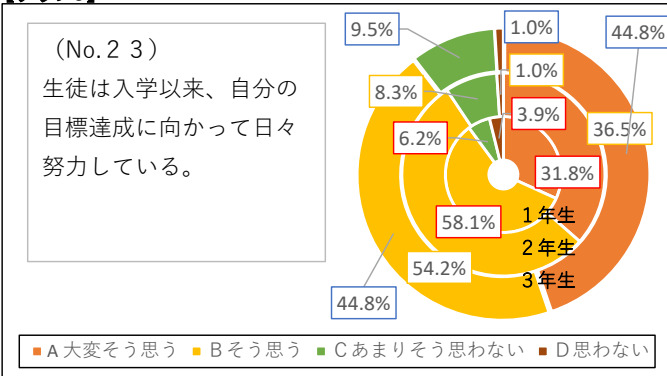
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	29.2%	55.4%	11.5%	3.8%	1.2
		2年生	28.4%	58.9%	10.5%	2.1%	1.3
		3年生	41.0%	48.6%	7.6%	2.9%	1.6
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	20.8%	63.1%	10.8%	5.4%	1.0
		2年生	28.1%	56.3%	11.5%	4.2%	1.2
		3年生	34.3%	54.3%	6.7%	4.8%	1.4
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	29.5%	60.5%	6.2%	3.9%	1.3
		2年生	30.2%	60.4%	9.4%	0.0%	1.4
		3年生	37.1%	53.3%	8.6%	1.0%	1.5
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	32.8%	56.3%	6.3%	4.7%	1.3
		2年生	35.4%	51.0%	13.5%	0.0%	1.4
		3年生	39.0%	48.6%	10.5%	1.9%	1.5
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	40.0%	50.8%	6.9%	2.3%	1.6
		2年生	41.7%	51.0%	7.3%	0.0%	1.7
		3年生	42.9%	49.5%	5.7%	1.9%	1.7
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	22.3%	65.4%	8.5%	3.8%	1.1
		2年生	34.4%	58.3%	7.3%	0.0%	1.5
		3年生	36.5%	51.9%	9.6%	1.9%	1.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	26.2%	60.8%	9.2%	3.8%	1.2
		2年生	33.3%	54.2%	9.4%	3.1%	1.4
		3年生	40.4%	49.0%	9.6%	1.0%	1.6



C その他

【グラフC】



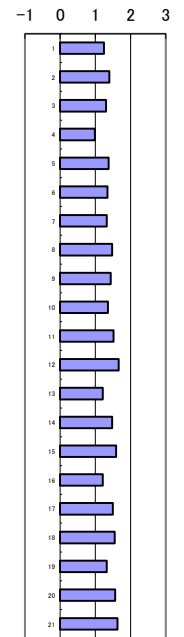
【分析・考察】

○学習と部活動の両立を図りながら、高い目標に向けて日々努力している様子が数値として表れている。今後も、生徒一人ひとりの目標達成に向けた支援をより一層充実させていきたい。(No.23)

○新型コロナウイルス感染症対策については、予防策の実施や感染者への迅速な対応などを適切に行っていることが、今回の結果につながっている。(No.26)

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	28.5%	60.0%	6.9%	4.6%	1.2
		2年生	37.5%	50.0%	7.3%	5.2%	1.4
		3年生	36.2%	48.6%	9.5%	5.7%	1.3
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	23.1%	57.7%	14.6%	4.6%	1.0
		2年生	31.3%	58.3%	8.3%	2.1%	1.4
		3年生	37.1%	48.6%	8.6%	5.7%	1.3
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	30.0%	60.0%	6.2%	3.8%	1.3
		2年生	35.4%	55.2%	7.3%	2.1%	1.5
		3年生	39.0%	47.6%	9.5%	3.8%	1.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	31.8%	58.1%	6.2%	3.9%	1.4
		2年生	36.5%	54.2%	8.3%	1.0%	1.5
		3年生	44.8%	44.8%	9.5%	1.0%	1.7
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	24.6%	66.2%	4.6%	4.6%	1.2
		2年生	33.3%	59.4%	5.2%	2.1%	1.5
		3年生	42.9%	46.7%	7.6%	2.9%	1.6
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	30.0%	56.2%	8.5%	5.4%	1.2
		2年生	35.4%	54.2%	10.4%	0.0%	1.5
		3年生	41.0%	49.5%	5.7%	3.8%	1.6
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	1年生	30.0%	59.2%	7.7%	3.1%	1.3
		2年生	37.5%	54.2%	7.3%	1.0%	1.6
		3年生	44.8%	43.8%	9.5%	1.9%	1.6



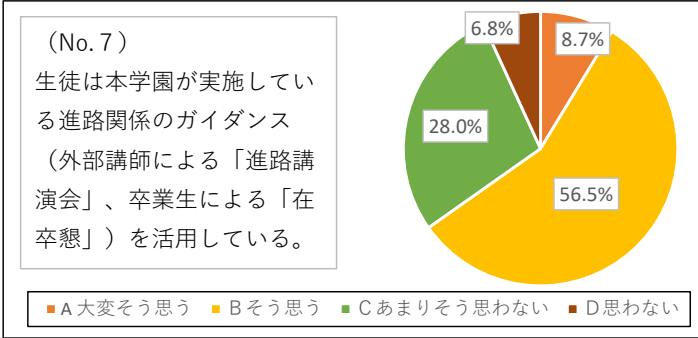
調査結果と考察

6 フレックスコース(保護者対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3)÷(総度数)

【グラフA】



【分析・考察】

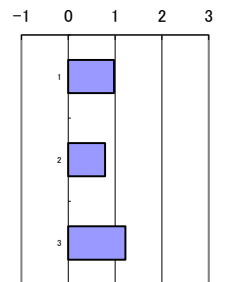
○「進路ガイダンス」や「在卒懇」について、生徒からの評価は高く、有意義な取組であると受け止められている。しかし、保護者に対する詳細な報告が十分に伝わっていないため、保護者評価が低くなっていると推察される。保護者参加型の形式を検討する、または事後のお知らせを充実させ内容をわかりやすく伝えるなどの工夫により、理解度の向上が期待できる。(No.7)

○本コースの特長について理解していただいており、進路実現に役立っているとの評価を得ている。(No.3)

【表A】

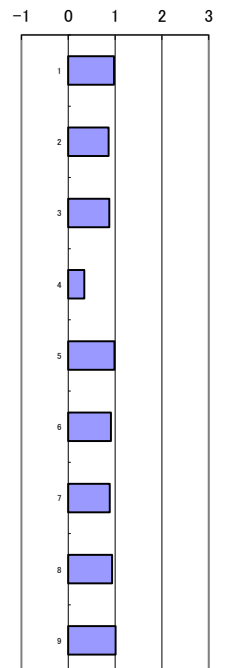
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	13.7%	72.0%	13.7%	0.6%	1.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	9.9%	70.2%	19.3%	0.6%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	24.8%	63.4%	9.9%	1.9%	1.2



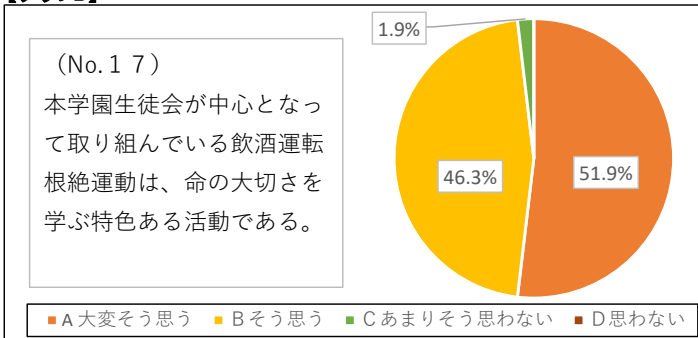
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	17.4%	66.5%	13.7%	2.5%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	11.9%	72.5%	12.5%	3.1%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	13.8%	66.3%	20.0%	0.0%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	8.7%	56.5%	28.0%	6.8%	0.3
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	17.4%	67.1%	13.0%	2.5%	1.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	14.3%	68.9%	14.9%	1.9%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	13.7%	70.2%	13.0%	3.1%	0.9
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	19.4%	60.6%	17.5%	2.5%	0.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	21.3%	59.4%	18.1%	1.3%	1.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



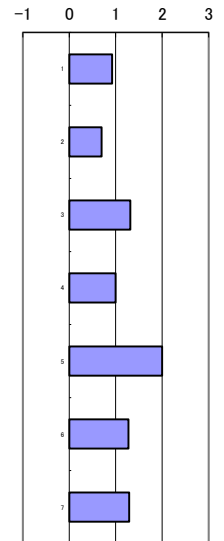
【分析・考察】

○生徒・教職員と同様に、学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動が高く評価されていることが示されている。命の大切さを学ぶ貴重な機会として、今後も継続して取り組んでいく必要がある。(No.17)

○保護者の皆様の中にも、ゼロディフェクト運動の成果が十分に上がっていないと感じられている方が少なくない。基本的な生活習慣や服装指導などについて、より効果的な方法を工夫しながら取り組んでいきたい。(No.14)

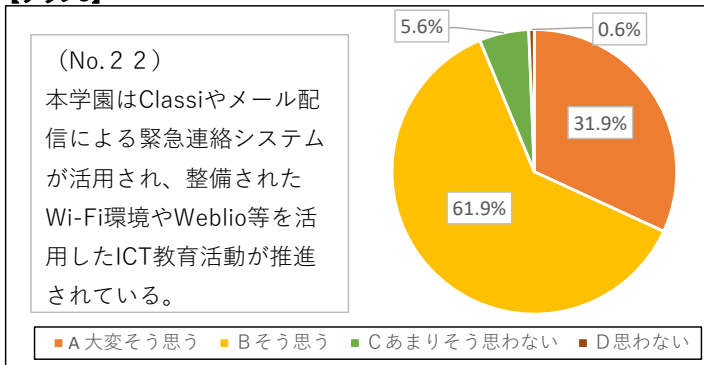
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	13.2%	71.1%	14.5%	1.3%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	9.4%	67.9%	20.8%	1.9%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	23.9%	68.6%	6.9%	0.6%	1.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	19.4%	63.8%	14.4%	2.5%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	51.9%	46.3%	1.9%	0.0%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	20.6%	73.1%	5.6%	0.6%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	23.3%	67.9%	8.8%	0.0%	1.3



C その他

【グラフC】



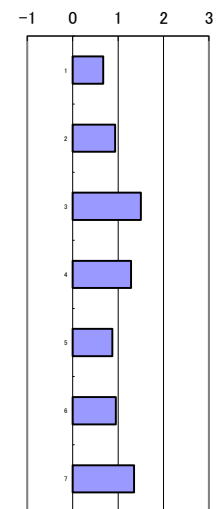
【分析・考察】

○Classiやメール配信における情報伝達の迅速さや内容の充実度が評価されているものと考えられる。1年次生全員がOwnPCを導入して4年目となり、クラスごとの連絡や教科からの課題配信などは充実してきた。一方で、授業でのICT活用については、さらに工夫を重ねていきたい。(No.22)

○施設・設備については概ね高い満足度が得られている。しかし、北辰館の教室から食堂・売店までの距離があることや、寮生の一部において食事に関する要望が十分に満たされていない面も指摘されている。(No.20)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	16.9%	55.0%	23.1%	5.0%	0.7
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	13.9%	71.5%	12.0%	2.5%	0.9
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	31.9%	61.9%	5.6%	0.6%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	33.1%	50.0%	15.0%	1.9%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	17.6%	60.4%	20.1%	1.9%	0.9
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	16.4%	67.3%	13.8%	2.5%	0.9
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	26.3%	65.0%	8.8%	0.0%	1.4

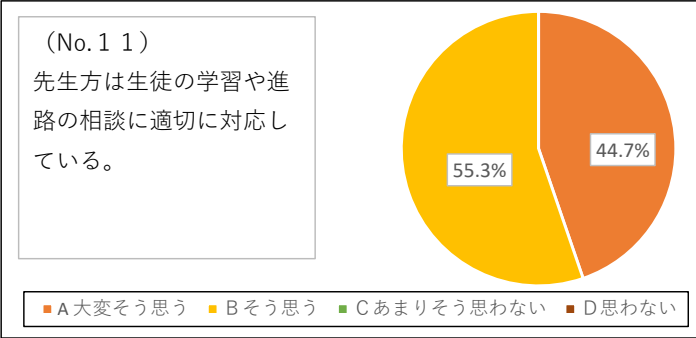


調査結果と考察

6 フレックスコース(教職員対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【分析・考察】

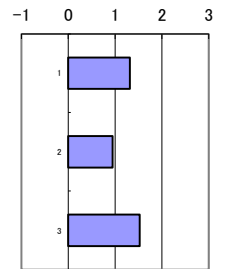
○フレックスコースでは、担任と部活動顧問を兼ねる教員が多く、朝から放課後、さらには寮生活にまで関わり、生徒と密接に接している。このような日常的な関りを通して、きめ細かな教育活動が実践できているという自負がうかがえる。(No.11)

○定期的に面談週間が設定されているほか、日常的にも生徒の学習や進路に関する悩みに、教員が適切に対応していると評価されている。多様な課題を抱える生徒一人ひとりに寄り添い、丁寧な支援・指導が行われていることが示されている。(No.12)

【表A】

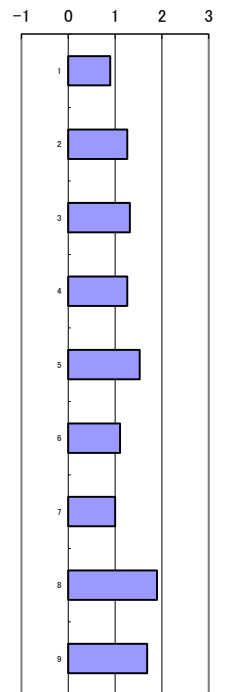
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	23.7%	68.4%	7.9%	0.0%	1.3
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	15.8%	65.8%	18.4%	0.0%	0.9
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	36.8%	52.6%	10.5%	0.0%	1.5



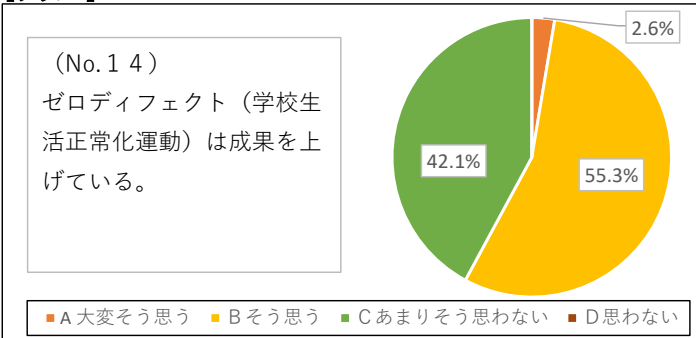
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	7.9%	78.9%	13.2%	0.0%	0.9
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	21.1%	71.1%	7.9%	0.0%	1.3
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	23.7%	68.4%	7.9%	0.0%	1.3
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	21.1%	71.1%	7.9%	0.0%	1.3
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	34.2%	57.9%	7.9%	0.0%	1.5
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	26.3%	52.6%	21.1%	0.0%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	18.4%	68.4%	7.9%	5.3%	1.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	44.7%	55.3%	0.0%	0.0%	1.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	34.2%	65.8%	0.0%	0.0%	1.7



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



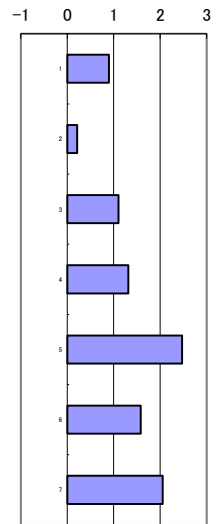
【分析・考察】

○数値としては低い傾向が見られるものの、教員が日常的に声かけを行い、継続的に指導している点は高く評価できる。今後も、教員と生徒との信頼関係を深めながら、仙台育英学園生として望ましい姿を実現できるよう、粘り強く指導と支援を続けていく。(No.14)

○i-Lion Dayの取組により、命の大切さや安全に対する意識が高まったものと考えられる。(No.17)

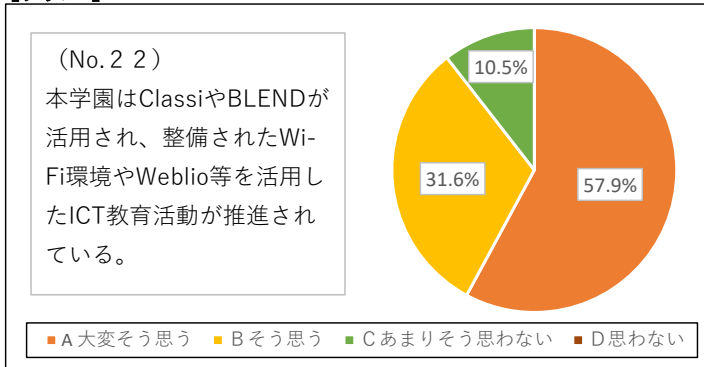
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	18.4%	63.2%	13.2%	5.3%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	2.6%	55.3%	42.1%	0.0%	0.2
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	23.7%	63.2%	7.9%	5.3%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	23.7%	68.4%	7.9%	0.0%	1.3
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	73.7%	26.3%	0.0%	0.0%	2.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	39.5%	52.6%	5.3%	2.6%	1.6
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	2.1



C その他

【グラフC】



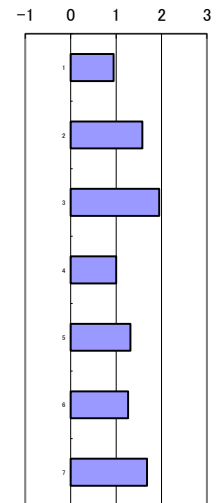
【分析・考察】

○Classiやメール配信における情報伝達の迅速さや伝達内容が精選されている点が評価されているものと考えられる。1年次生全員がOwnPCを導入して4年目となり、クラスごとの連絡や教科からの課題配信などは着実に充実してきた。今後は、授業でのICT活用についても、さらに工夫を進めていきたい。(No.22)

○予防策の徹底に加え、感染発生時の迅速かつ適切な対応が、各クラス担任や部活動顧問によって確実に実施されていることが評価につながっている。(No.26)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	23.7%	55.3%	15.8%	5.3%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	36.8%	57.9%	2.6%	2.6%	1.6
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	57.9%	31.6%	10.5%	0.0%	1.9
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	15.8%	71.1%	10.5%	2.6%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	23.7%	68.4%	7.9%	0.0%	1.3
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	21.1%	73.7%	2.6%	2.6%	1.3
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	39.5%	57.9%	0.0%	2.6%	1.7

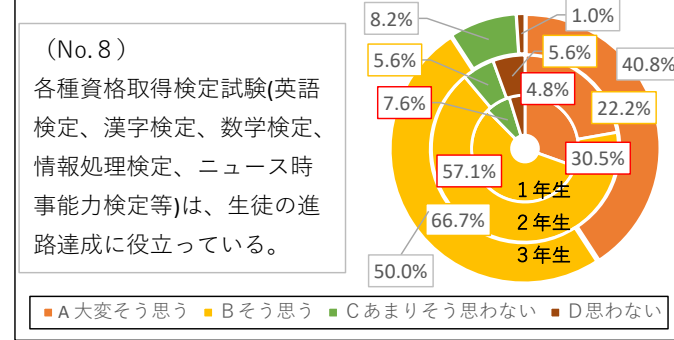


調査結果と考察

7 技能開発コース(生徒対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【分析・考察】

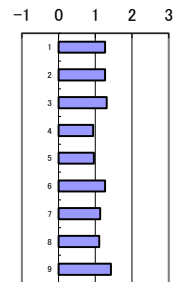
○高校時代の努力の証として、各種資格取得や検定試験に高い価値を見いだしている生徒が多い。取得した資格が自信となり、就職試験や入学試験に前向きな姿勢で臨む生徒の姿がうかがえる。(No.8)

○本校技能開発コースの特長である部活動や各種検定試験への積極的な取組を教員が励ましており、加えて、学業・生活面、友人関係においても相談できる教員が多い点が評価されている。今後もさらなる充実を図っていきたい。(No.11)

【表A】

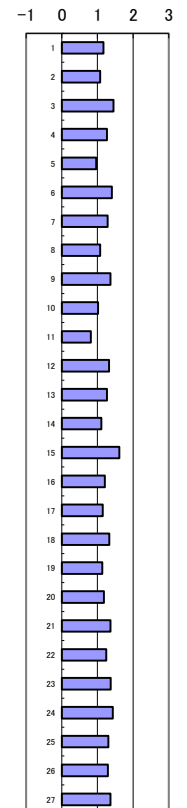
I 授業について

No.	設問	1年生	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	32.7%	51.9%	11.5%	3.8%	1.3
		2年生	24.1%	53.7%	16.7%	5.6%	1.3
		3年生	33.0%	52.6%	11.3%	3.1%	1.3
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	23.8%	55.2%	15.2%	5.7%	0.9
		2年生	22.2%	59.3%	13.0%	5.6%	1.0
		3年生	28.6%	58.2%	11.2%	2.0%	1.3
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	29.5%	55.2%	7.6%	7.6%	1.1
		2年生	25.9%	59.3%	9.3%	5.6%	1.1
		3年生	33.7%	55.1%	10.2%	1.0%	1.4



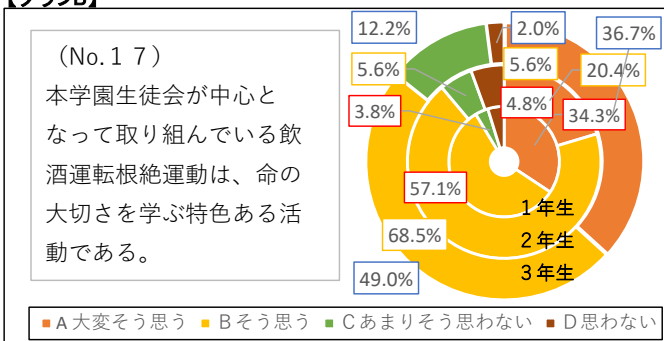
II 教育課程について

No.	設問	1年生	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	28.6%	58.1%	6.7%	6.7%	1.2
		2年生	25.9%	57.4%	11.1%	5.6%	1.1
		3年生	35.7%	53.1%	9.2%	2.0%	1.4
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	26.7%	63.8%	5.7%	3.8%	1.3
		2年生	24.1%	55.6%	14.8%	5.6%	1.0
		3年生	32.7%	56.1%	10.2%	1.0%	1.4
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	30.5%	58.1%	6.7%	4.8%	1.3
		2年生	20.4%	66.7%	9.3%	3.7%	1.1
		3年生	30.6%	58.2%	10.2%	1.0%	1.4
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	25.7%	57.1%	9.5%	7.6%	1.0
		2年生	16.7%	61.1%	18.5%	3.7%	0.8
		3年生	32.7%	53.1%	12.2%	2.0%	1.3
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	30.5%	57.1%	7.6%	4.8%	1.3
		2年生	22.2%	66.7%	5.6%	5.6%	1.1
		3年生	40.8%	50.0%	8.2%	1.0%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	27.6%	61.0%	5.7%	5.7%	1.2
		2年生	22.2%	64.8%	11.1%	1.9%	1.1
		3年生	32.0%	54.6%	11.3%	2.1%	1.3
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	29.5%	53.3%	11.4%	5.7%	1.1
		2年生	25.9%	61.1%	9.3%	3.7%	1.2
		3年生	32.7%	55.1%	10.2%	2.0%	1.4
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	29.5%	58.1%	7.6%	4.8%	1.2
		2年生	29.6%	61.1%	7.4%	1.9%	1.4
		3年生	36.7%	50.0%	11.2%	2.0%	1.4
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	30.5%	58.1%	7.6%	3.8%	1.3
		2年生	24.1%	68.5%	5.6%	1.9%	1.3
		3年生	32.7%	55.1%	10.2%	2.0%	1.4



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



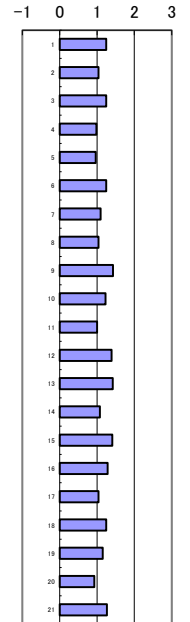
【分析・考察】

○本学園生徒会が中心となって実施している飲酒運転根絶運動について、多くの生徒が「命の大切さを学ぶ貴重な機会」として認識していることが示された。これは、I-Lion dayの取組による成果である。(No.17)

○ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)に関して、2学年および3学年の数値が低い状況が見られる。社会人として活躍するためにも、学校生活のルールを守ることの重要性を一人ひとりの心に響くよう、今後も指導に努めていきたい。(No.14)

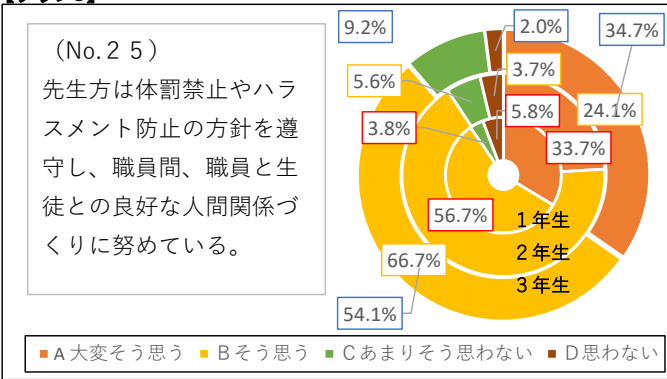
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	32.4%	53.3%	8.6%	5.7%	1.2
		2年生	22.2%	61.1%	13.0%	3.7%	1.0
		3年生	30.6%	53.1%	14.3%	2.0%	1.2
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	25.7%	54.3%	13.3%	6.7%	1.0
		2年生	18.5%	64.8%	13.0%	3.7%	1.0
		3年生	28.6%	55.1%	16.3%	0.0%	1.2
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	24.8%	61.0%	8.6%	5.7%	1.1
		2年生	18.5%	70.4%	5.6%	5.6%	1.0
		3年生	35.7%	50.0%	14.3%	0.0%	1.4
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	31.4%	54.3%	8.6%	5.7%	1.2
		2年生	22.2%	63.0%	7.4%	7.4%	1.0
		3年生	35.1%	51.5%	11.3%	2.1%	1.4
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	34.3%	57.1%	3.8%	4.8%	1.4
		2年生	20.4%	68.5%	5.6%	5.6%	1.1
		3年生	36.7%	49.0%	12.2%	2.0%	1.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	29.5%	60.0%	5.7%	4.8%	1.3
		2年生	24.1%	59.3%	11.1%	5.6%	1.0
		3年生	30.6%	53.1%	14.3%	2.0%	1.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	28.6%	55.2%	11.4%	4.8%	1.2
		2年生	20.4%	61.1%	13.0%	5.6%	0.9
		3年生	32.7%	51.0%	13.3%	3.1%	1.3



C その他

【グラフC】



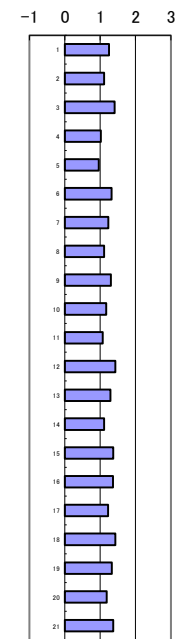
【分析・考察】

○技能開発コースは教員数こそ多くはないものの、生徒一人ひとりの人格を尊重し、丁寧な言動・指導を心がけている、その結果、生徒と協力しながら良好な体制づくりに努めていることがうかがえる。(No.25)

○校舎・設備に対して大きな不満の声は見られない。しかし、食堂・売店については学年によって評価が分かれており、生徒の要望やニーズに十分応えきれていない部分があるのかもしれない。(No.20)

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	32.7%	53.8%	6.7%	6.7%	1.3
		2年生	27.8%	57.4%	7.4%	7.4%	1.1
		3年生	36.7%	49.0%	12.2%	2.0%	1.4
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	27.9%	54.8%	7.7%	9.6%	1.0
		2年生	24.1%	57.4%	11.1%	7.4%	1.0
		3年生	31.6%	55.1%	11.2%	2.0%	1.3
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	27.9%	61.5%	4.8%	5.8%	1.2
		2年生	24.1%	64.8%	3.7%	7.4%	1.1
		3年生	31.6%	55.1%	10.2%	3.1%	1.3
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	29.8%	55.8%	7.7%	6.7%	1.2
		2年生	25.9%	59.3%	7.4%	7.4%	1.1
		3年生	35.7%	52.0%	10.2%	2.0%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	28.8%	61.5%	4.8%	4.8%	1.3
		2年生	22.2%	64.8%	9.3%	3.7%	1.1
		3年生	32.7%	54.1%	12.2%	1.0%	1.4
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	33.7%	56.7%	3.8%	5.8%	1.4
		2年生	24.1%	66.7%	5.6%	3.7%	1.2
		3年生	34.7%	54.1%	9.2%	2.0%	1.4
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	1年生	31.7%	58.7%	3.8%	5.8%	1.3
		2年生	24.1%	64.8%	7.4%	3.7%	1.2
		3年生	33.7%	54.1%	9.2%	3.1%	1.4



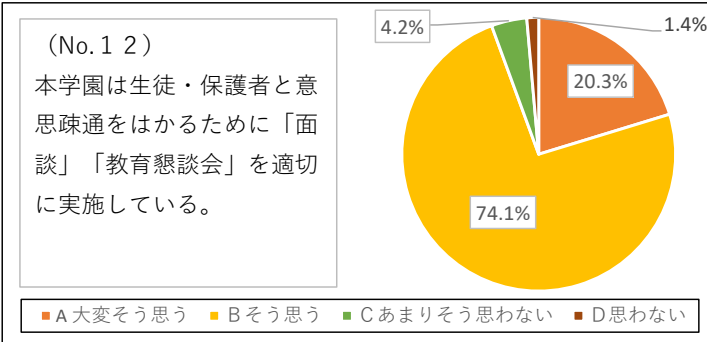
調査結果と考察

7 技能開発コース(保護者対象)

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



【分析・考察】

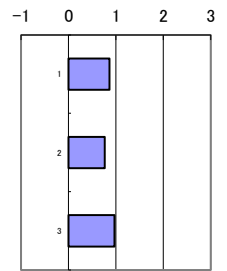
○夏季・冬季に定期的な面談週間を設定しているほか、担任と家庭が綿密に連絡を取り合い、意思疎通を欠かさぬよう努めている。(No.12)

○就職や専門学校を希望する生徒が多く、コース職員全体で面接指導などに取り組むことで、生徒が自信をつけて受験に臨める体制が整ってきた。その点が評価されているものと考えられる。(No.11)

【表A】

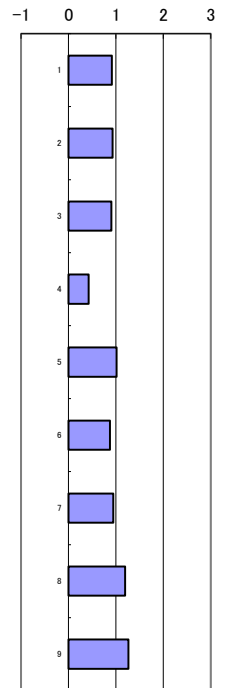
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	12.3%	70.5%	15.1%	2.1%	0.9
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	9.7%	71.5%	16.0%	2.8%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	15.3%	70.8%	11.1%	2.8%	1.0



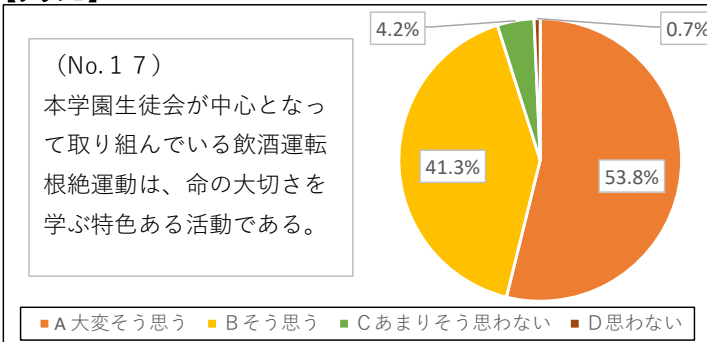
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	16.0%	69.4%	9.0%	5.6%	0.9
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	13.9%	72.9%	9.0%	4.2%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	11.8%	75.0%	9.7%	3.5%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	7.7%	62.9%	22.4%	7.0%	0.4
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	14.7%	73.4%	9.8%	2.1%	1.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	11.2%	74.1%	11.9%	2.8%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	9.8%	79.7%	8.4%	2.1%	0.9
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	28.0%	57.3%	11.2%	3.5%	1.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」「教育懇談会」を適切に実施している。	20.3%	74.1%	4.2%	1.4%	1.3



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



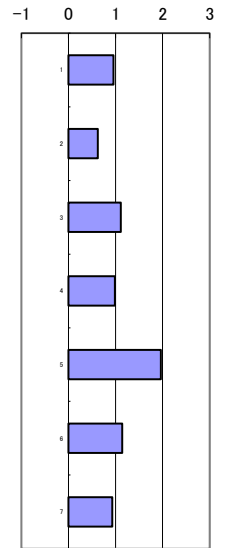
【分析・考察】

○生徒・教職員と同様に、学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動について、高い評価をいただいていることが示されている。命の大切さを学ぶ貴重な機会であるため、今後も継続して取り組んでいく必要がある。(No.17)

○保護者の皆さまの中にも、ゼロディフェクト運動(学校生活正常化運動)の成果が十分に上がっていないと感じている方が少なくない。基本的な生活習慣や服装指導などについて、保護者の皆さまの協力を得ながら、より効果的な取組を進めていきたい。(No.14)

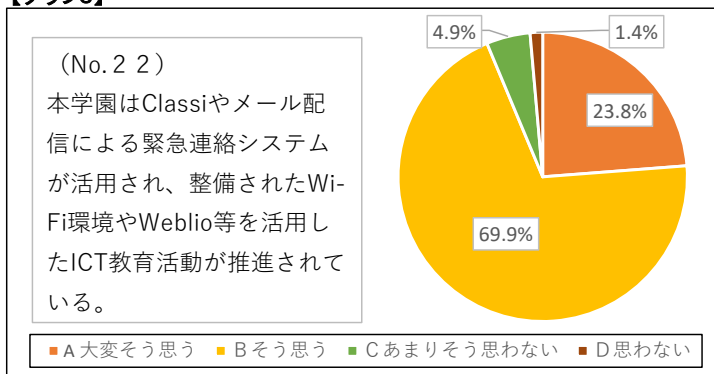
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	13.3%	71.3%	15.4%	0.0%	1.0
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	4.9%	72.7%	21.0%	1.4%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	18.2%	70.6%	9.8%	1.4%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	22.4%	58.7%	14.7%	4.2%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	53.8%	41.3%	4.2%	0.7%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	18.3%	71.8%	8.5%	1.4%	1.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	15.4%	65.7%	18.9%	0.0%	0.9



C その他

【グラフC】

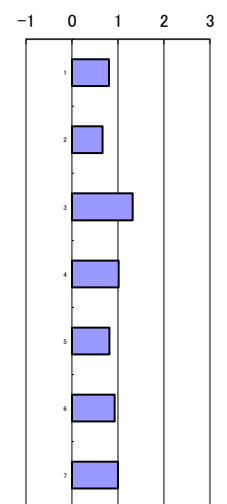


【分析・考察】

Classiやメール配信の迅速さ、伝達内容の充実度が評価されているものと思われる。1年次生全員がOwnPCを導入した体制になって4年が経ち、その成果が現れつつある。今後は授業でのICT活用についてさらに工夫を重ねていきたい。(No. 22)
○新型コロナウイルス感染症対策を適切に実施している点について、高い評価をいただいている。保護者の皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。(No.26)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	20.3%	54.5%	20.3%	4.9%	0.8
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	9.1%	69.2%	17.5%	4.2%	0.7
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	23.8%	69.9%	4.9%	1.4%	1.3
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	16.8%	67.8%	14.7%	0.7%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	13.4%	68.3%	14.1%	4.2%	0.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	15.4%	69.2%	11.9%	3.5%	0.9
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%	1.0

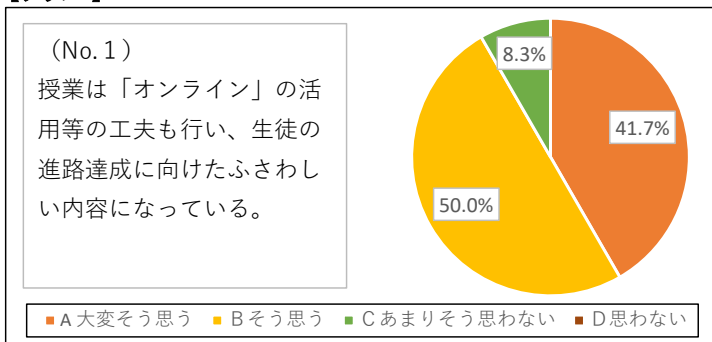


調査結果と考察

7 技能開発コース(教職員対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

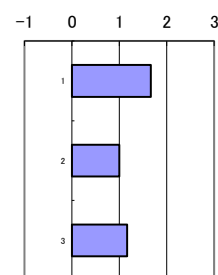
【グラフA】



【表A】

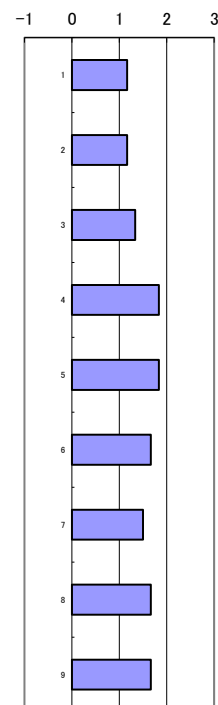
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	1.7
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	8.3%	83.3%	8.3%	0.0%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	8.3%	91.7%	0.0%	0.0%	1.2



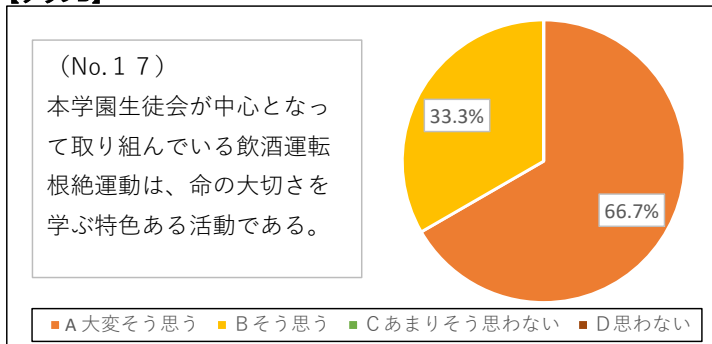
II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	8.3%	91.7%	0.0%	0.0%	1.2
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	1.2
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	1.3
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	1.8
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	1.8
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%	1.5
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○今年度、ZoomからGoogle Meetへ切り替えたが、大きな混乱もなくスムーズな運用されている。生徒・教員ともにPCの操作やオンライン授業そのものに慣れてきたことが、高い評価につながっていると考えられる。(No.1)

○生徒の学習や進路に関する悩みに対して、教員が適切に対応していると評価された結果である。様々な問題を抱える生徒一人ひとりに寄り添い、支援や指導に取り組んできたことの結果が現れている。(No.11)

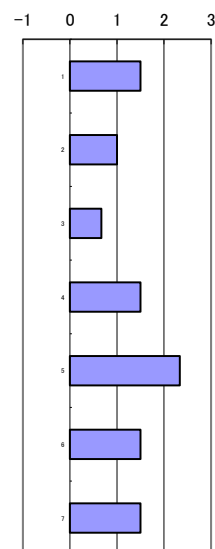
【分析・考察】

○本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動について、生徒たちが「命の大切さを学ぶ貴重な機会」であるとしっかり認識していることが示されている。これはI-Lion dayにおける継続的な取組の成果である。(No.17)

○評価値としては低い結果となったが、日常的な声掛けや指導に努めている点は高く評価したい。教員と生徒の信頼関係を築きながら、仙台育英学園生としてのあるべき姿へ近づけるよう、粘り強く指導と支援を継続していく。(No.14)

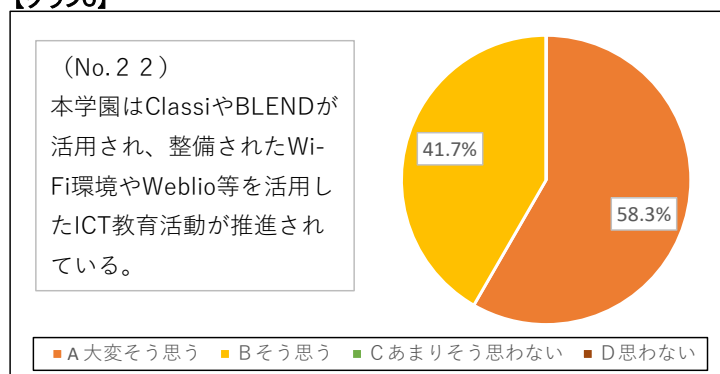
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%	1.5
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	1.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.7
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%	1.5
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%	1.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%	1.5



C その他

【グラフC】



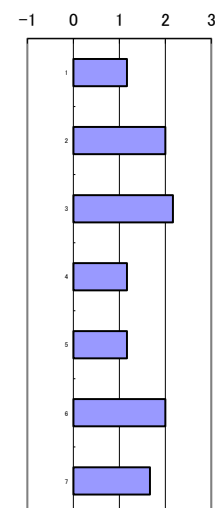
【分析・考察】

○Classiやメール配信の迅速さ、伝達内容の充実度が評価されているものと思われる。1年次生全員がOwnPCを導入して4年目となり、クラスごとの連絡や教科からの課題配信などは着実に充実してきた。今後は、授業におけるICT活用について、より一層の工夫を図っていきたい。(No.22)

○技能開発コースは教員数こそ多くないものの、生徒への言動や指導においては生徒の人格を尊重し、丁寧な対応を心がけている。生徒と協力しながら、より良い体制づくりに努めている姿勢がうかがえる。(No.25)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	25.0%	58.3%	16.7%	0.0%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
22	本学園はClassiやBLENDが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	2.2
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	1.2
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	8.3%	91.7%	0.0%	0.0%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7

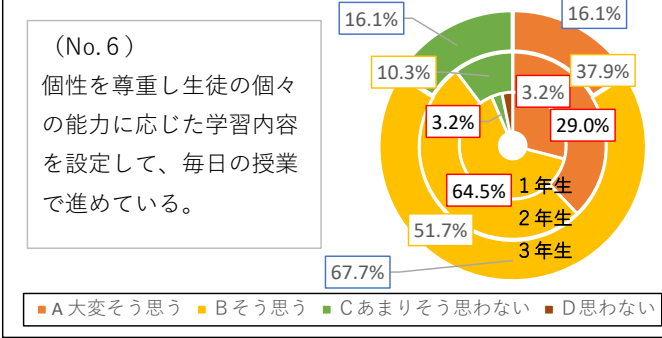


調査結果と考察

8 沖縄高等学校(生徒対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

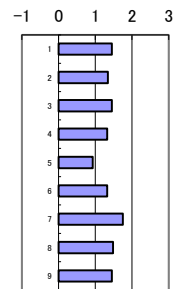
【分析・考察】

○No.6について、「思わない」「あまりそう思わない」が、昨年度1年生14.3%から今年度2年生10.3%と減少した。学習への取組が落ち着き始めたことに加え、科目によって個別最適学習を導入している成果であると推察している。今後も引き続き、個別最適学習の継続・充実を図っていきたい。
○No.8について、「大変そう思う」「そう思う」の合計が3年生で100%となっており、進路達成を見据えた実感がそのまま数字に表れたものと考えられる。一方で、1・2年生において「あまりそう思わない」が一定数見られるのは、自身の進路との関連性がまだ明確になっていないためと推察される。この点からも、進路指導の重要性を改めて認識し、引き続き丁寧かつ段階的な指導を行っていただきたい。

【表A】

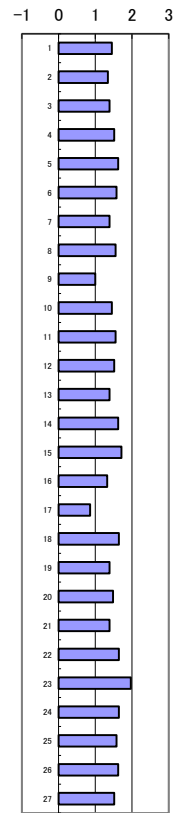
I 授業について

No.	設問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	25.8%	71.0%	3.2%	0.0%	1.5
		2年生	31.0%	55.2%	13.8%	0.0%	1.3
		3年生	25.8%	71.0%	3.2%	0.0%	1.5
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	19.4%	77.4%	3.2%	0.0%	1.3
		2年生	20.7%	62.1%	10.3%	6.9%	0.9
		3年生	25.8%	64.5%	9.7%	0.0%	1.3
3	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	29.0%	58.1%	12.9%	0.0%	1.8
		2年生	34.5%	55.2%	10.3%	0.0%	1.5
		3年生	22.6%	77.4%	0.0%	0.0%	1.5



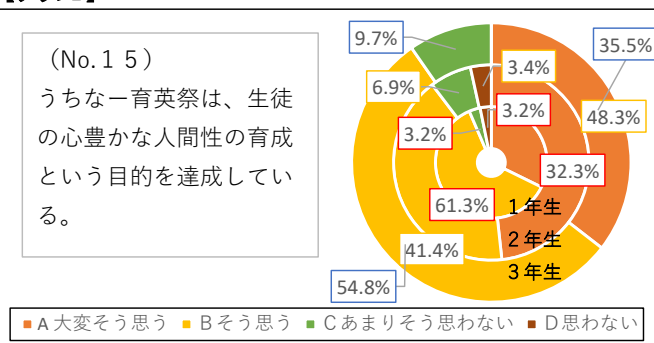
II 教育課程について

No.	設問		A	B	C	D	評価値
4	本学園が実施している定期考査・評価期間・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるように工夫されている。	1年生	29.0%	64.5%	6.5%	0.0%	1.5
		2年生	34.5%	51.7%	10.3%	3.4%	1.3
		3年生	29.0%	61.3%	9.7%	0.0%	1.4
5	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	29.0%	67.7%	3.2%	0.0%	1.5
		2年生	34.5%	62.1%	3.4%	0.0%	1.6
		3年生	32.3%	64.5%	3.2%	0.0%	1.6
6	個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業を進めている。	1年生	29.0%	64.5%	3.2%	3.2%	1.4
		2年生	37.9%	51.7%	10.3%	0.0%	1.6
		3年生	16.1%	67.7%	16.1%	0.0%	1.0
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等)を活用している。	1年生	35.5%	51.6%	12.9%	0.0%	1.5
		2年生	48.3%	37.9%	6.9%	6.9%	1.6
		3年生	29.0%	67.7%	3.2%	0.0%	1.5
8	各種資格・検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	29.0%	61.3%	9.7%	0.0%	1.4
		2年生	41.4%	48.3%	10.3%	0.0%	1.6
		3年生	35.5%	64.5%	0.0%	0.0%	1.7
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後や夏休みの自主学習等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	22.6%	71.0%	6.5%	0.0%	1.3
		2年生	24.1%	51.7%	17.2%	6.9%	0.9
		3年生	35.5%	61.3%	3.2%	0.0%	1.6
10	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	22.6%	74.2%	3.2%	0.0%	1.4
		2年生	34.5%	58.6%	3.4%	3.4%	1.5
		3年生	22.6%	74.2%	3.2%	0.0%	1.4
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	32.3%	67.7%	0.0%	0.0%	1.6
		2年生	55.2%	37.9%	6.9%	0.0%	2.0
		3年生	35.5%	61.3%	3.2%	0.0%	1.6
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	32.3%	64.5%	3.2%	0.0%	1.6
		2年生	41.4%	51.7%	3.4%	3.4%	1.6
		3年生	29.0%	67.7%	3.2%	0.0%	1.5



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

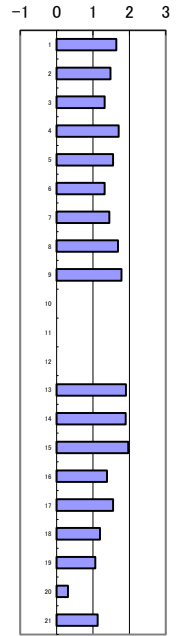


【分析・考察】

○No.15について、1・2年生ともに「思わない」と回答している生徒が一定数存在した。これは、生徒間で仕事分担に偏りがあり、一部の生徒に過度な負担がかかったことが、人間性の育成という目的との乖離として捉えられた可能性がある。次年度は、単に行事を楽しむだけでなく、行事の意義や人間性の育成に焦点を当て、日頃から指導を行っていく必要がある。
○No.14について、1年生における「思わない」「あまり思わない」が0%であったことは、「KOZAROCKS」など商店街のイベントに積極的に参加した経験が肯定的な評価につながっていると考えられる。一方で、地域清掃活動については、天候不順等により実施回数が減少しており、今後は継続的に取り組めるボランティア活動の機会を計画的に確保していく必要性を感じた。

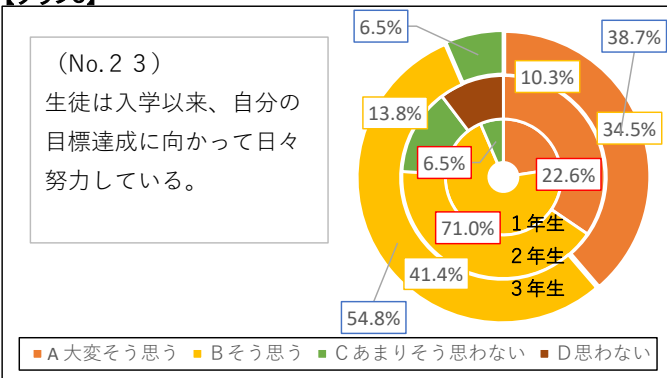
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」「質実剛健」「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	35.5%	61.3%	3.2%	0.0%	1.6
		2年生	34.5%	55.2%	10.3%	0.0%	1.5
		3年生	29.0%	58.1%	12.9%	0.0%	1.3
14	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	35.5%	64.5%	0.0%	0.0%	1.7
		2年生	37.9%	51.7%	10.3%	0.0%	1.6
		3年生	22.6%	71.0%	6.5%	0.0%	1.3
15	うちな一育英祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	32.3%	61.3%	3.2%	3.2%	1.5
		2年生	48.3%	41.4%	6.9%	3.4%	1.7
		3年生	35.5%	54.8%	9.7%	0.0%	1.8
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生					0.0
		2年生					0.0
		3年生					0.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	48.4%	48.4%	3.2%	0.0%	1.9
		2年生	58.6%	31.0%	6.9%	3.4%	1.9
		3年生	48.4%	51.6%	0.0%	0.0%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。	1年生	22.6%	74.2%	3.2%	0.0%	1.4
		2年生	37.9%	51.7%	10.3%	0.0%	1.6
		3年生	22.6%	64.5%	12.9%	0.0%	1.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	22.6%	58.1%	19.4%	0.0%	1.1
		2年生	17.2%	44.8%	24.1%	13.8%	0.3
		3年生	22.6%	64.5%	9.7%	3.2%	1.1



C その他

【グラフ】



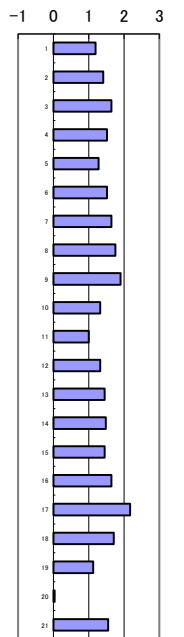
【分析・考察】

○No.23について、「大変そう思う」「そう思う」の回答が1年生93.5%、3年生84.3%となった。ICT教育やアントレプレナーシップ教育を積極的に推進し、IT系資格取得への意識付けを行ってきたことが、結果として反映されていると考えられる。一方で、「思わない」「あまりそう思わない」と回答した生徒も一定数いることを踏まえ、今後も取りこぼしのない指導を心がけていきたい。

○No.22について、「大変そう思う」「そう思う」の回答が100.0%であった。これは、本学園のICT環境の特色を生徒が十分理解し、活用できていることの評価と捉えられる。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎全般・ICT室・体育実習室等)に生徒は満足している。	1年生	29.0%	54.8%	12.9%	3.2%	1.2
		2年生	37.9%	48.3%	10.3%	3.4%	1.4
		3年生	38.7%	54.8%	6.5%	0.0%	1.6
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	29.0%	67.7%	3.2%	0.0%	1.5
		2年生	31.0%	55.2%	10.3%	3.4%	1.3
		3年生	32.3%	61.3%	6.5%	0.0%	1.5
22	本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	35.5%	61.3%	3.2%	0.0%	1.6
		2年生	41.4%	55.2%	3.4%	0.0%	1.8
		3年生	45.2%	54.8%	0.0%	0.0%	1.9
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	22.6%	71.0%	6.5%	0.0%	1.3
		2年生	34.5%	41.4%	13.8%	10.3%	1.0
		3年生	22.6%	71.0%	6.5%	0.0%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	29.0%	64.5%	6.5%	0.0%	1.5
		2年生	31.0%	62.1%	6.9%	0.0%	1.5
		3年生	29.0%	64.5%	6.5%	0.0%	1.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	35.5%	61.3%	3.2%	0.0%	1.6
		2年生	62.1%	34.5%	3.4%	0.0%	2.2
		3年生	38.7%	58.1%	3.2%	0.0%	1.7
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	1年生	22.6%	61.3%	16.1%	0.0%	1.1
		2年生	6.9%	55.2%	20.7%	17.2%	0.0
		3年生	25.8%	67.7%	0.0%	6.5%	1.6



調査結果と考察

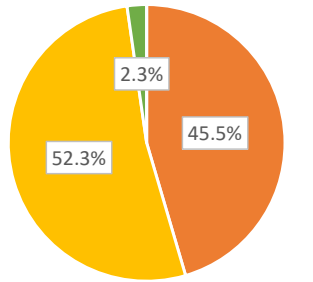
8 沖縄高等学校(保護者対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

(No.8)

各種資格・検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。



■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値=(A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【分析・考察】

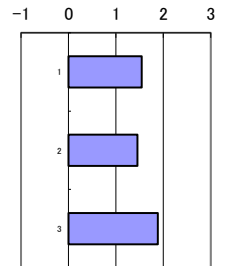
○No.8について、「あまりそう思わない」が2.3%であった。昨年度の10.6%から大きく改善しており、「学年進行で資格取得の実施割合が増加する」という想定通りの結果となった。今後も、資格取得を継続して推進し、「大変そう思う」の割合がさらに高まるよう、支援体制の充実を図っていきたい。

○No.11については、「大変そう思う」「そう思う」が合計で100%となった。担任団のシステムが十分に機能し、情報共有も円滑に行われていることから、教員側の負担感も少なく、適切な対応が行えているものと考えられる。

【表A】

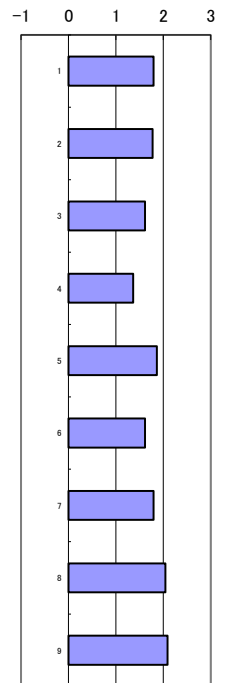
I 授業について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行き、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	33.0%	61.4%	5.7%	0.0%	1.5
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	29.5%	63.6%	6.8%	0.0%	1.5
3	学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	47.7%	48.9%	3.4%	0.0%	1.9



II 教育課程について

No.	設問	A	B	C	D	評価値
4	個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属している本校の学習に満足している。	46.6%	46.6%	6.8%	0.0%	1.8
5	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	43.2%	52.3%	4.5%	0.0%	1.8
6	個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	36.4%	58.0%	5.7%	0.0%	1.6
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等)を活用している。	31.8%	55.7%	11.4%	1.1%	1.4
8	各種資格・検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	45.5%	52.3%	2.3%	0.0%	1.9
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後や夏休みの自主学習等)は、生徒の進路達成に役立っている。	39.8%	52.3%	6.8%	1.1%	1.6
10	本学園が実施している定期考査・評価期間・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるように工夫されている。	40.9%	58.0%	1.1%	0.0%	1.8
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	52.3%	47.7%	0.0%	0.0%	2.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	55.7%	43.2%	1.1%	0.0%	2.1

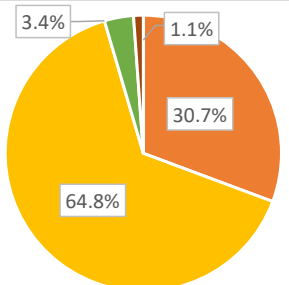


B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

(No.18)

本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。



■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

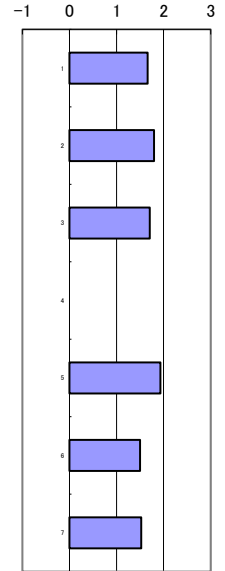
【分析・考察】

○No.18について、「あまりそう思わない」「思わない」が4.5%であった。一昨年度14.7%、昨年度6.1%と比較すると減少しており、英語教育に対する理解が進んでいると考察できる。一方で、ICT教育や起業教育を標榜する本校において、グローバル人材育成に関して一定の理解が得られている点は心強く、引き続き教育内容の充実を図っていきたい。

○No.15について、「あまりそう思わない」「思わない」が昨年度0%から今年度4.4%へと増加した。地域清掃活動が十分に実施できていない状況が背景にあると考えられる。今後も地域に根差した学校づくりを進め、生徒の社会性や人間性の育成につながる活動の充実を図ってきたい。

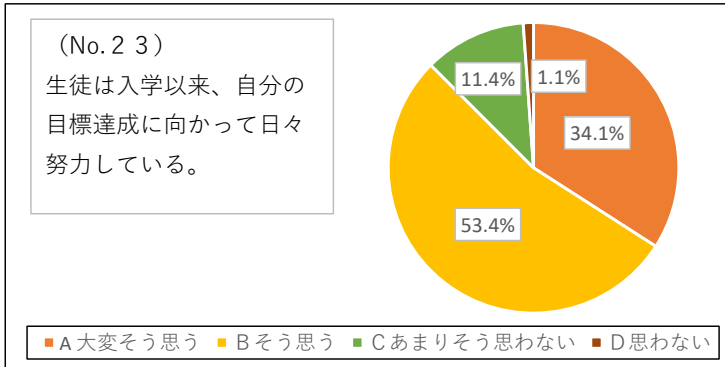
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	37.5%	58.0%	4.5%	0.0%	1.7
14	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	44.3%	52.3%	2.3%	1.1%	1.8
15	うちな一育英祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	38.6%	58.0%	3.4%	0.0%	1.7
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。					0.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	53.4%	42.0%	2.3%	2.3%	1.9
18	本学園の「国際パカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。	30.7%	64.8%	3.4%	1.1%	1.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	31.8%	63.6%	3.4%	1.1%	1.5



C その他

【グラフC】



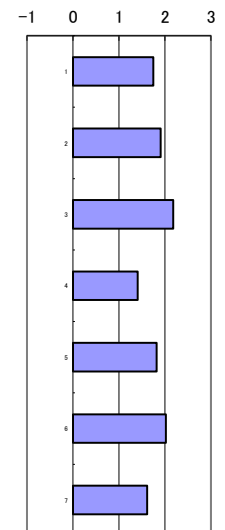
【分析・考察】

○No.23について、「あまりそう思わない」「思わない」が12.1%となった。三者面談での振り返り等から考察すると、そもそも目標が明確に定まっていない生徒が一定数存在することが背景にあると考えられる。進路目標にとどまらず、小目標・中目標の設定を通して段階的に達成感を積み重ね、自己肯定感を高めていく指導の充実が必要である。

○No.22について、「大変そう思う」「そう思う」が100%であった。お知らせ配信に加え、各種申請手続きもデジタル化されていることから、徹底したペーパーレス化と高い利便性が実現していることがうかがえる。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎全般・ICT室・体育実習室等)に生徒は満足している。	40.9%	55.7%	3.4%	0.0%	1.8
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	46.6%	52.3%	1.1%	0.0%	1.9
22	本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%	2.2
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	34.1%	53.4%	11.4%	1.1%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	45.5%	51.1%	2.3%	1.1%	1.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	52.3%	46.6%	1.1%	0.0%	2.0
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	35.2%	61.4%	2.3%	1.1%	1.6



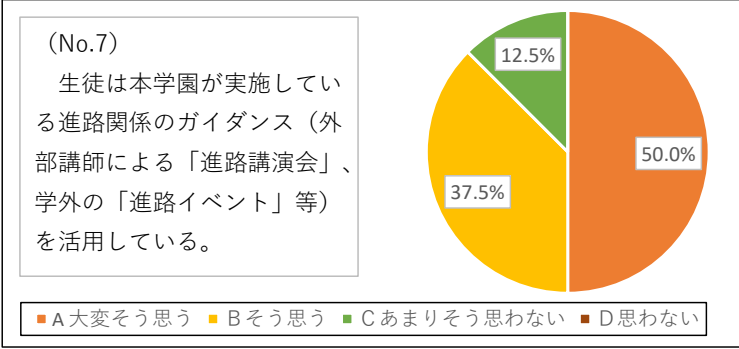
調査結果と考察

8 沖縄高等学校(教職員対象)

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



【分析・考察】

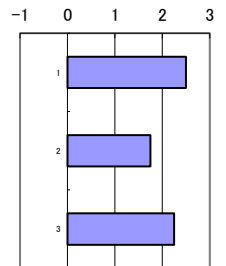
○No.7については、昨年度の「あまりそう思わない」「思わない」が11.9%であったことを踏まえると、今年度も一定数の教職員に十分な理解が浸透していない状況がうかがえる。効果的な進路イベントの企画や参加体制を整備し、より実りある進路指導となるよう、一層の改善と工夫が求められる。

○No.4については、「あまりそう思わない」が前年度の12.5%から本年度は0%となった。本校では、学力レンジの広い生徒が多様な個性を發揮しながら学ぶ集団であることが十分に共有されていると考えられる。今後も、各教科において創意工夫を重ねながら、生徒一人ひとりに寄り添った個別最適な学習の実現を推進していきたい。

【表A】

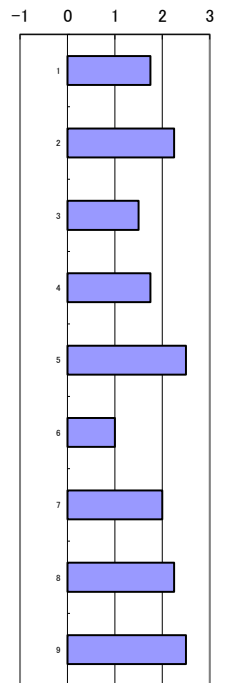
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	1.8
3	学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	2.3



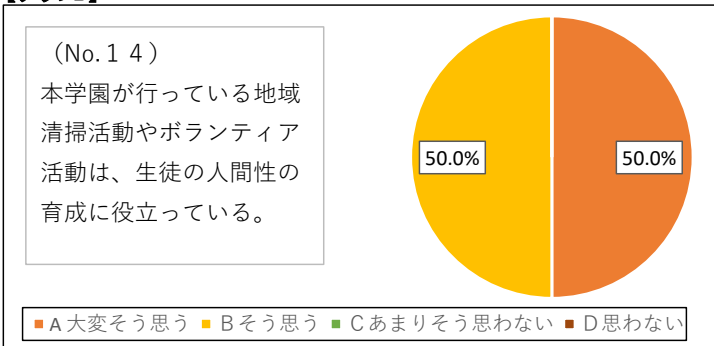
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属している本校の学習に満足している。	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	1.8
5	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	2.3
6	個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	1.5
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等)を活用している。	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	1.8
8	各種資格・検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後や夏休みの自主学習等)は、生徒の進路達成に役立っている。	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	1.0
10	本学園が実施している定期考査・評価期間・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるように工夫されている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	2.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



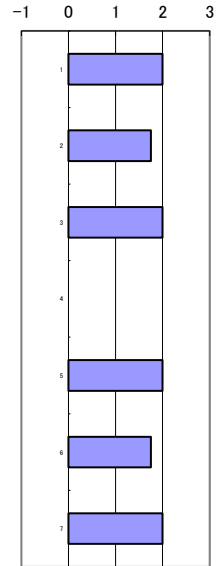
【分析・考察】

○No.14については、「大変そう思う」が50.0%であった。地域清掃活動が生徒主体で運営されることや、生徒自身が課題点を発見できるような仕組みづくりが求められていると感じられる。「大変そう思う」の割合がさらに増加するよう、主体性を促す施策の検討と改善を進めていきたい。

○No.1については、「大変そう思う」で50.0%であった。行事企画については、今年度とは異なる実施形態であったものの、飲酒運転根絶運動に対して丁寧にアプローチできたことと評価できる。今後も地域貢献の意義を理解しやすい企画運営を継続し、活動の質を高めていきたい。

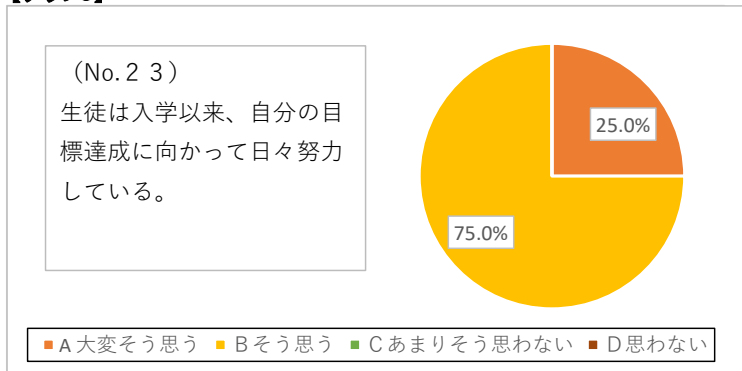
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
14	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	1.8
15	うちな一育英祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。					0.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	1.8
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0



C その他

【グラフC】



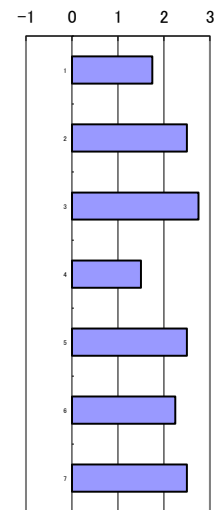
【分析・考察】

○No.23について、「大変そう思う」が昨年度87.5%から今年度は25.0%へと大きく減少した。今年度の新入生の多様な背景が影響していると考えられる。しかしながら、「大変そう思う」「そう思う」が100%である点は、引き続き担任団による質の高い指導が確実に成果を上げている証左である。今後も、生徒の個別状況に寄り添いながら、「大変そう思う」の割合が高まるような指導体制の強化を図っていきたい。

○No.22について、「大変そう思う」が87.5%で、昨年度の50.0%から大きく向上した。本校はICTを先進的に使用する教育機関であることを踏まえると、将来的には100%に近づけていくことが望ましい目標である。引き続き、ICT環境の整備や教員の活用スキル向上を進め、教育効果のさらなる向上を目指したい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎全般・ICT室・体育実習室等)に生徒は満足している。	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	1.8
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
22	本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.8
23	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	1.5
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	2.3
26	本学園は新型コロナウイルスをはじめ、感染症等への対策を適切に行っている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5

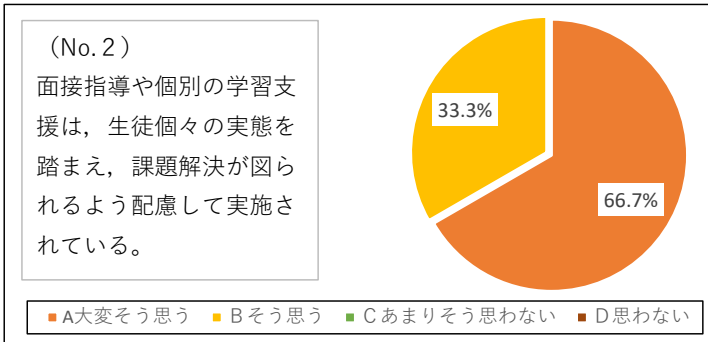


調査結果と考察

9 ILC宮城(教職員対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

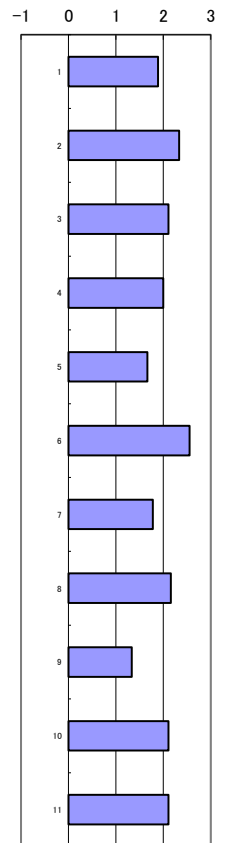
【分析・考察】

○土曜日の面接指導や平日における個別の学習支援体制は、生徒一人ひとりの生活スタイルや実態に柔軟に対応できる本校通信制課程の特長である。これらの取組は、学習意欲の継続と学習習慣の確立につながっており、その効果が昨年度以上に向上している。(No.2)
○添削課題(レポート)へのコメントや記述式問題の工夫など、ILC生徒の実態に応じた配慮・工夫が定着してきている。今後も教員間の情報交換・共有・整合を一層進め、より整合性のある指導・評価の一体化を図っていきたい。(No.3)

【表A】

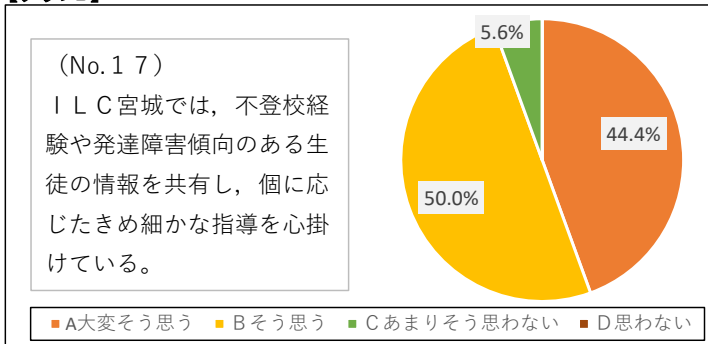
I 学力向上及び就職・進学実績の向上に関すること

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	教育課程の編成と実施は、生徒の実態を考慮したもとなっており、進路選択に適切に生かされている。					
2	面接指導や個別の学習支援は、生徒個々の実態を踏まえ、課題解決が図られるよう配慮して実施されている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3
3	添削課題(レポート)は、教科書や学習書の内容に即し、かつ生徒の実態を考慮したもになっている。	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	2.1
4	生徒が進路選択に積極的に取り組めるように資料や情報を適切に提供している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
5	職員は生徒の個性を尊重し、能力に応じた学習内容を設定するなど、単位修得させるための創意工夫に努めている。	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	1.7
6	ILC宮城では、未履修生徒や単位未修得になりがちな生徒への積極的な働きかけを行っている。	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	2.6
7	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模試は、生徒の学力診断分析や進路達成に有効に活用されている。	44.4%	50.0%	5.6%	0.0%	1.8
8	職員は進路情報を適宜提供し、生徒が進路選択し易いよう配慮しながら進路相談の充実に努めている。	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2
9	Lネットスクーリングは、生徒の学習活動や履修状況の把握などに有効に活用されている。	38.9%	44.4%	11.1%	5.6%	1.3
10	Google Classroomや予約サイト等、積極的にICT教育を推進している。	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	2.1
11	ILC宮城では、生徒・保護者と意思疎通を図るために教育相談を適切に実施している。	61.1%	33.3%	5.6%	0.0%	2.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

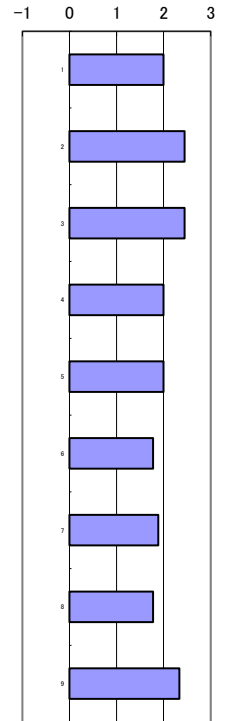


【分析・考察】

○担任を中心として、さまざまな場面において生徒・保護者が抱える事情に寄り添った、きめ細やかな対応がなされている。今後も養護教諭やスクールカウンセラー等との連携を一層強化するとともに、不登校経験や医療面での特性など、特別な配慮を要する生徒の個別情報については、必要に応じて共有の場を設け、共通理解と一貫した対応が図られるよう努めていきたい。(No.17)
○3ILC合同による全国高校駅伝大会の応援を兼ねた研修旅行は、生徒同士の連帯感や所属感を高めるうえで非常に貴重な機会となっている。今後も、この研修が価値ある有意義な時間となるよう、継続して実施していきたい。(No.18)

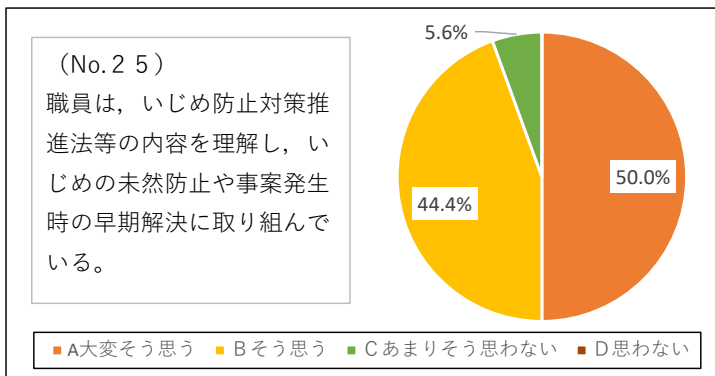
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
12	ILC宮城では、学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	55.6%	38.9%	5.6%	0.0%	2.0
13	ボランティア活動の企画・運営を積極的に推進し、生徒の豊かな人間性づくりに生かしている。	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	2.4
14	ILC宮城における様々な学校行事は、生徒間の交流を図り、望ましい人間関係づくりに役立っている。	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	2.4
15	ILC宮城では、生徒に社会規範や本学園の規則を十分理解させ、規律ある生活をさせている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
16	ILC宮城では、問題行動等、配慮の必要があると思われる生徒に対する情報交換と共通理解を図り、問題行動の未然防止につなげている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
17	ILC宮城では、不登校経験や発達障害傾向のある生徒の情報を共有し、個に応じたきめ細かな指導を心掛けている。	44.4%	50.0%	5.6%	0.0%	1.8
18	生徒は、学園全体の対外的な活躍(硬式野球や駅伝等の応援)を通して、学園に所属感を感じている。	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	1.9
19	生徒は、悩みや困りごとを気軽に先生方に相談している。	44.4%	50.0%	5.6%	0.0%	1.8
20	生徒は、仕事(アルバイト)と学業の両立を図りながら人間的に成長している。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3



C その他

【グラフC】

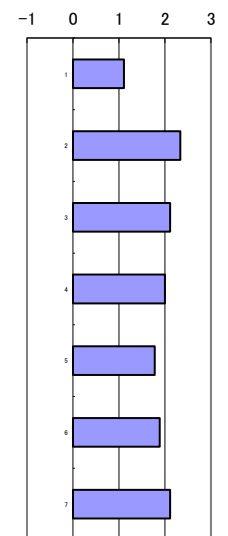


【分析・考察】

○ ILC宮城では、校内の生活向上本部と密に連携し、いじめ防止および早期発見に向けた情報収集と迅速な初期対応が行える体制を整えている。今後は、「ILC宮城いじめアンケート」の実施や、個別面談によるいじめ防止月間の設定を通して、生徒一人ひとりの悩みに寄り添える環境づくりをより一層推進していきたい。(No.25)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	生徒は、ILCの施設設備について不便を感じることなく満足して学校生活を送っている。	38.9%	27.8%	33.3%	0.0%	1.1
21	ILC宮城では、災害時や新型コロナウイルス感染症等の緊急時に生徒へ迅速に連絡ができる体制を構築している。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3
22	ILC宮城では、生徒募集のための広報活動や募集説明会などの開催を積極的に実施している。	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	2.1
23	職員は、書類の整理や進路指導等、教科指導以外の業務を適切に遂行している。	55.6%	38.9%	5.6%	0.0%	2.0
24	職員は、指導力向上のために各自課題を設けて積極的に研修に励んでいる。	50.0%	38.9%	11.1%	0.0%	1.8
25	職員は、いじめ防止対策推進法等の内容を理解し、いじめの未然防止や事案発生時の早期解決に取り組んでいる。	50.0%	44.4%	5.6%	0.0%	1.9
26	職員は、体罰の禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	2.1



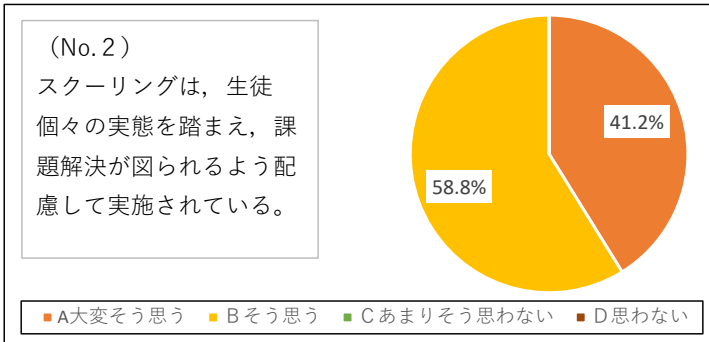
調査結果と考察

10 ILC青森(教職員対象)

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3) ÷ (総度数)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



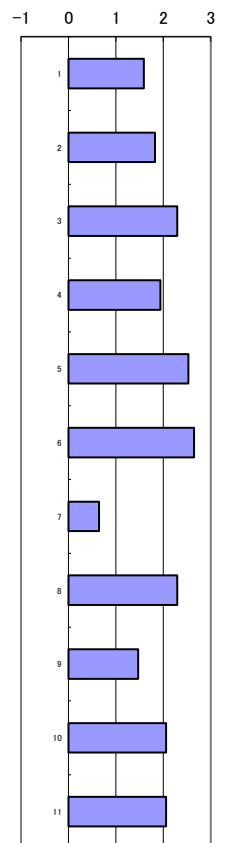
【分析・考察】

○不登校の経験や発達障害に起因する学習特性などから、生徒一人ひとりの学力差は年々拡大しており、一斉授業を効果的に運営することが難しくなっている。そこで、本校では、個々の能力や課題に応じた個別指導を積極的に導入し、生徒の理解を深め、学習内容の定着を図っている。生徒それぞれのペースや理解度に合わせた学習環境を整えることで、安心して学習に取り組めるようになり、学習意欲の向上にもつながっている。(No.2)
 ○一方で、定期考査の結果などを踏まえると、現状に必ずしも満足できるものではない。必要に応じて補修や個別フォローを行い、進路指導とも連携しながら、生徒の力を確実に伸ばすための学校全体での取組に努めていきたい。(No.7)

【表A】

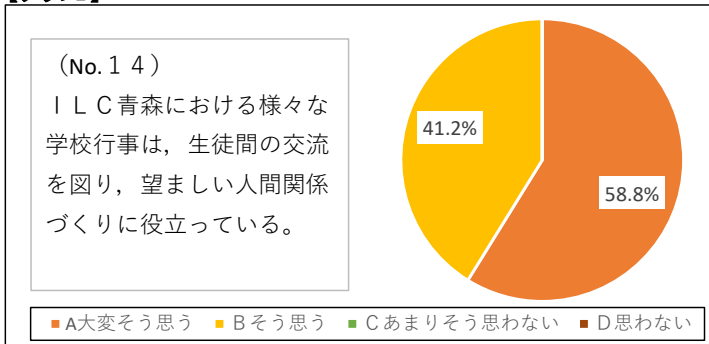
I 学力向上及び就職・進学実績の向上に関すること

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	教育課程の編成と実施は、生徒の実態を考慮したもとなっており、進路選択に適切に生かされている。	29.4%	70.6%	0.0%	0.0%	1.6
2	面接指導や個別の学習支援は、生徒個々の実態を踏まえ、課題解決が図られるよう配慮して実施されている。	41.2%	58.8%	0.0%	0.0%	1.8
3	添削課題(レポート)は、教科書や学習書の内容に即し、かつ生徒の実態を考慮したものになっている。	64.7%	35.3%	0.0%	0.0%	2.3
4	生徒が進路選択に積極的に取り組めるように資料や情報を適切に提供している。	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%	1.9
5	職員は生徒の個性を尊重し、能力に応じた学習内容を設定するなど、単位修得させるための創意工夫に努めている。	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	2.5
6	ILC青森では、未履修生徒や単位未修得になりがちな生徒への積極的な働きかけを行っている。	82.4%	17.6%	0.0%	0.0%	2.6
7	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模試は、生徒の学力診断分析や進路達成に有効に活用されている。	0.0%	82.4%	17.6%	0.0%	0.6
8	職員は、進路情報を適宜提供し、生徒が進路選択し易いように配慮しながら進路相談の充実にも努めている。	64.7%	35.3%	0.0%	0.0%	2.3
9	Lネットスクーリングは、生徒の学習活動や履修状況の把握などに有効に活用されている。	29.4%	64.7%	5.9%	0.0%	1.5
10	Google Class Roomや予約サイト等、積極的にICT教育を推進している。	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	2.1
11	ILC青森では、生徒・保護者と意思疎通を図るために教育相談を適切に実施している。	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	2.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

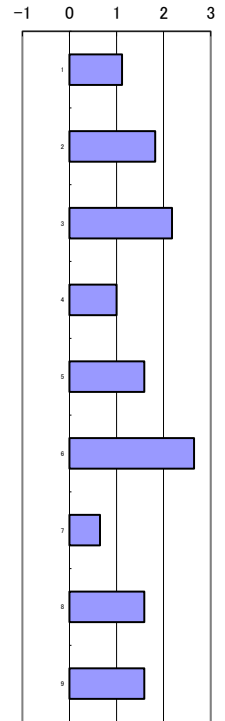


【分析・考察】

○ボウリング教室、ゴルフ体験教室、スケート教室、ウォーキング、ボランティア活動など、多様な学校行事を実施している。これらの体験型の活動は、生徒同士が自然に交流し、互いを理解し合う機会を生み出すことで、良好な人間関係づくりに大きく役立っている。また、多様な体験を共有することで協調性や社会性が育まれ、学校生活全体の充実にもつながっている。(No.14)
 ○通信制の特性上、自由度が高い一方で、時間を守ることや計画的に学習を進めることなど、生活面での規律が身につくにくいという課題がある。そのため、社会のルールやマナーの理解を深めるとともに、時間管理・自己管理の力を育成する取組を一層強化していきたい。(No.15)
 ○生徒が日常的に登校し、集団で活動する機会に限られていることから、学園への一体感や所属感が育ちにくい傾向がある。今後はホームページを通じて学校の取組や生徒の活躍を積極的に発信し、生徒が学園へのつながりや帰属意識を持てるような情報の発信を推進していきたい。

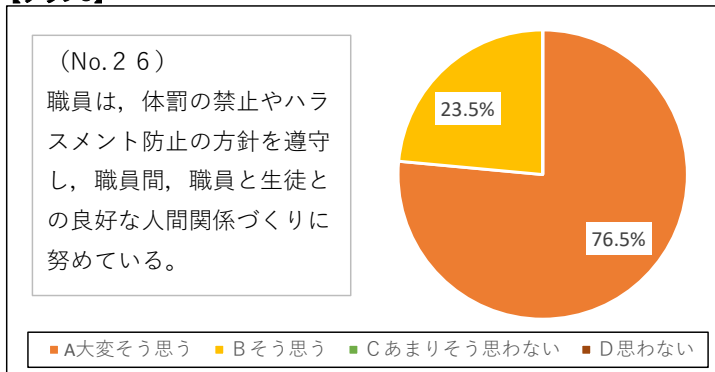
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
12	ILC青森では、学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	11.8%	82.4%	5.9%	0.0%	1.1
13	ボランティア活動の企画・運営を積極的に推進し、生徒の豊かな人間性づくりに生かしている。	41.2%	58.8%	0.0%	0.0%	1.8
14	ILC青森における様々な学校行事は、生徒間の交流を図り、望ましい人間関係づくりに役立っている。	58.8%	41.2%	0.0%	0.0%	2.2
15	ILC青森では、生徒に社会規範や本学園の規則を十分理解させ、規律ある生活をさせている。	17.6%	64.7%	17.6%	0.0%	1.0
16	ILC青森では、問題行動等、配慮の必要があると思われる生徒に対する情報交換と共通理解を図り、問題行動の未然防止につなげている。	29.4%	70.6%	0.0%	0.0%	1.6
17	ILC青森では、不登校経験や発達障害傾向のある生徒の情報を共有し、個に応じたきめ細かな指導を心がけている。	82.4%	17.6%	0.0%	0.0%	2.6
18	生徒は、学園全体の対外的な活躍(硬式野球や駅伝等の応援)を通して、学園に所属感を感じている。	0.0%	82.4%	17.6%	0.0%	0.6
19	生徒は、悩みや困りごとを気軽に先生方に相談している。	29.4%	70.6%	0.0%	0.0%	1.6
20	生徒は、仕事(アルバイト)と学業の両立を図りながら人間的に成長している。	29.4%	70.6%	0.0%	0.0%	1.6



C その他

【グラフC】



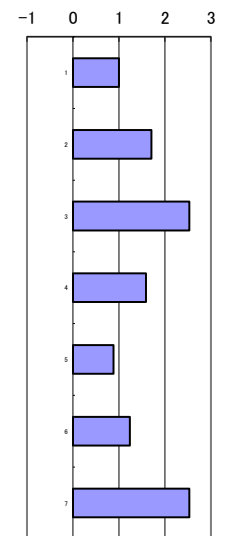
【分析・考察】

○生徒と職員の間関係はもちろん、教職員同士の人間関係も大変良好に保たれている。これは、日頃から職員間でのコミュニケーションが活発であり、互いに協力し合う風土が根づいていることが大きな要因である。また、生徒への対応においては、一人ひとりの悩みや思いに真摯に向き合い、丁寧に寄り添う姿勢を大切にしており、こうした温かい関わりが生徒からの高い信頼につながっている。このように、支え合う職員文化と生徒理解を重視した姿勢が相まって、本校の人間関係は非常に良好なものとなっている。(No.26)

○学力面やさまざまな事情から登校が難しい生徒を支えるためには、オンラインによる学習支援の質を高めることが重要である。今後は、職員のオンライン授業スキルの向上を図るとともに、ICT端末の活用に関する研修をさらに充実させ、より効果的な学習支援体制を整えていく必要がある。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	生徒は、ILCの施設設備について不便を感じることなく満足して学校生活を送っている。	11.8%	76.5%	11.8%	0.0%	1.0
21	ILC青森では、災害時や新型コロナウイルス感染症等の緊急時に生徒へ迅速に連絡ができる体制を構築している。	41.2%	52.9%	5.9%	0.0%	1.7
22	ILC青森では、生徒募集のための広報活動や募集説明会などの開催を積極的に実施している。	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	2.5
23	職員は、書類の整理や進路指導等、教科指導以外の業務を適切に遂行している。	29.4%	70.6%	0.0%	0.0%	1.6
24	職員は、指導力向上のために各自課題を設けて積極的に研修に励んでいる。	17.6%	58.8%	23.5%	0.0%	0.9
25	職員は、いじめ防止対策推進法等の内容を理解し、いじめの未然防止や事案発生時の早期解決に取り組んでいる。	23.5%	64.7%	11.8%	0.0%	1.2
26	職員は、体罰の禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	2.5

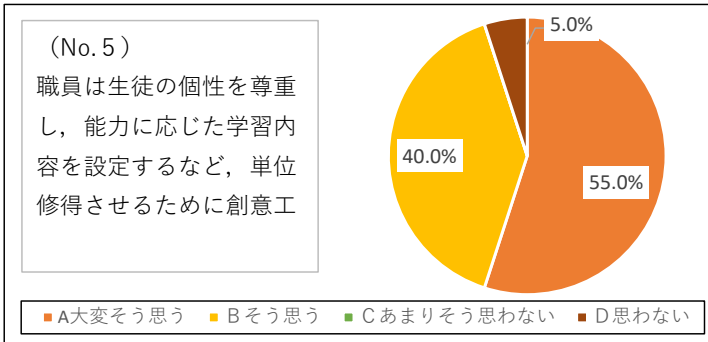


調査結果と考察

11 ILC沖縄(教職員対象)

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値=(A度数×3+B度数×1+C度数×(-1)+D度数×(-3))÷(総度数)

【分析・考察】

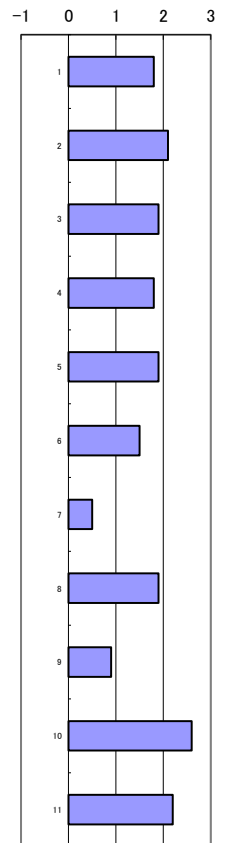
○生徒一人ひとりの個性を尊重し、能力に応じた学習内容を設定するなど、単位修得に向けて創意工夫した指導を行っている。改善に向けては、職員間で該当生徒の情報共有を一層密にし、個別の実態に応じた指導のさらなる充実を図っていききたい。(No.5)

○未履修生徒や単位未修得の生徒への働きかけとして、電話連絡や二者・三者面談を通して支援を行っているが、十分とは言えない。改善に向けては、学期初期から計画的かつ継続的に電話やメールでの連絡を実施し、担任と生徒が協働して学習計画を作成し、その実践を図っていききたい。(No.6)

【表A】

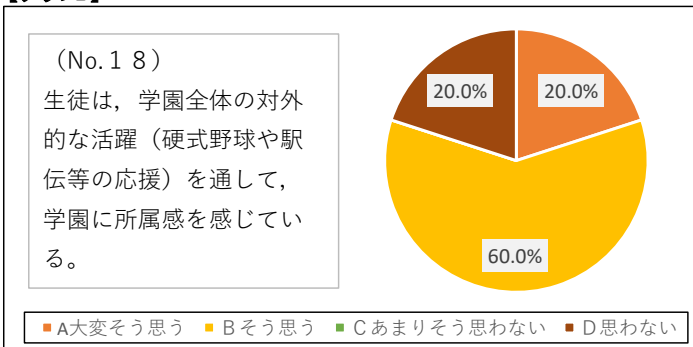
I 学力向上及び就職・進学実績の向上に関すること

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	教育課程の編成と実施は、生徒の実態を考慮したもとなっており、進路選択に適切に生かされている。					
2	スクーリングは、生徒個々の実態を踏まえ、課題解決が図られるよう配慮して実施されている。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
3	添削課題(レポート)は、教科書や学習書の内容に即し、かつ生徒の実態を考慮したものになっている。	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	2.1
4	生徒が進路選択に積極的に取り組めるように資料や情報を適切に提供している。	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%	1.9
5	職員は生徒の個性を尊重し、能力に応じた学習内容を設定するなど、単位修得させるために創意工夫に努めている。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
6	ILC沖縄では、未履修生徒や単位未修得になりがちな生徒への積極的な働きかけを行っている。	55.0%	40.0%	0.0%	5.0%	1.9
7	ILC沖縄では、未履修生徒や単位未修得になりがちな生徒への積極的な働きかけを行っている。	35.0%	60.0%	0.0%	5.0%	1.5
8	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模試は、生徒の学力診断分析や進路達成に有効に活用されている。	15.0%	65.0%	0.0%	20.0%	0.5
9	職員は、進路情報を適宜提供し、生徒が進路選択し易いように配慮しながら進路相談の充実にも努めている。	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%	1.9
10	ネットスクーリングは、生徒の学習活動や履修状況の把握などに有効に活用されている。	25.0%	60.0%	0.0%	15.0%	0.9
11	Google Classroomや予約サイト等、積極的にICT教育を推進している。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6
11	ILC沖縄では、生徒・保護者と意思疎通を図るために教育相談を適切に実施している。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

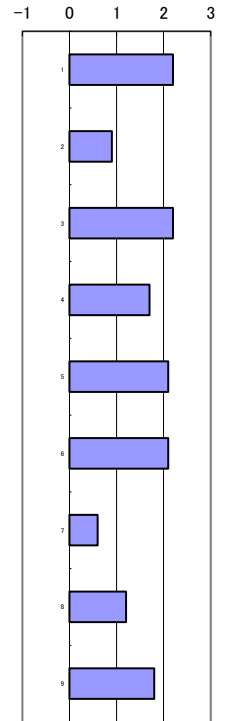


【分析・考察】

○学園全体の対外的な活躍(硬式野球や駅伝等の応援)を通して、生徒の学園への所属意識を高める取組を行っている。一方で、沖縄県と宮城県という距離的な距離の影響により、各部活動の活躍を身近に感じにくい状況がある。改善策として、ILC沖縄の生徒全体への周知を強化し、メール配信や校内掲示物等を活用して情報提供を充実させることで、学園への所属意識のさらなる向上を図っていききたい。(No.18)

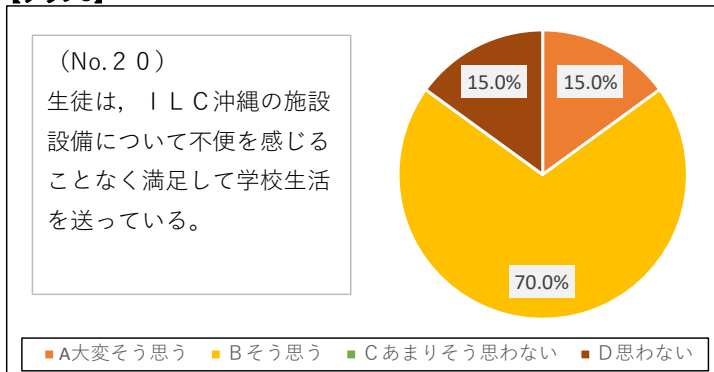
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
12	ILC沖縄では、学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2
13	ボランティア活動の企画・運営を積極的に推進し、生徒の豊かな人間性づくりに生かしている。	25.0%	60.0%	0.0%	15.0%	0.9
14	ILC沖縄における様々な学校行事は、生徒間の交流を図り、望ましい人間関係づくりに役立っている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2
15	ILC沖縄では、生徒に社会規範や本学園の規則を十分理解させ、規律ある生活をさせている。	35.0%	65.0%	0.0%	0.0%	1.7
16	ILC沖縄では、問題行動等、配慮の必要があると思われる生徒に対する情報交換と共通理解を図り、問題行動の未然防止につなげている。	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	2.1
17	ILC沖縄では、不登校経験や発達障害傾向のある生徒の情報を共有し、個に応じたきめ細かな指導を心がけている。	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	2.1
18	生徒は、学園全体の対外的な活躍(硬式野球や駅伝等の応援)を通して、学園に所属感を感じている。	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.6
19	生徒は、悩みや困りごとを気軽に先生方に相談している。	30.0%	60.0%	0.0%	10.0%	1.2
20	生徒は、仕事(アルバイト)と学業の両立を図りながら人間的に成長している。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

○施設設備については、通信制課程と全日制課程が各種行事や授業等に応じて、事前に調整を行いながら臨機応変に活用し、共通理解のもとで使用している。特に、土曜日に体育実習室で実施しているスクーリングは有効に機能している。課題として、今後在籍生徒が増加した場合の受け入れ体制の整備・推進が挙げられる。今後も、スクーリングにおける受け入れ可能人数を正確に把握し、施設のキャパシティと在籍生徒数とのバランスを考慮しながら、非常勤講師の勤務日(勤務回数・勤務曜日)の調整等を進めることで、受け入れ体制の改善を図っていきたい。(No.20)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	生徒は、ILC沖縄の施設設備について不便を感じることなく満足して学校生活を送っている。	15.0%	70.0%	0.0%	15.0%	0.7
21	ILC沖縄では、災害時や新型コロナウイルス感染症等の緊急時に生徒へ迅速に連絡ができる体制を構築している。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
22	ILC沖縄では、生徒募集のための広報活動や募集説明会などの開催を積極的に実施している。	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	2.1
23	職員は、書類の整理や進路指導等、教科指導以外の業務を適切に遂行している。	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	1.6
24	職員は、指導力向上のために各自課題を設けて積極的に研修に励んでいる。	25.0%	70.0%	0.0%	5.0%	1.3
25	職員は、いじめ防止対策推進法等の内容を理解し、いじめの未然防止や事案発生時の早期解決に取り組んでいる。	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	1.6
26	職員は、体罰の禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	2.1

